

大分県最低生計費試算報告書

大分県労働組合総連合（大分県労連）

2023 年 7 月

大分県最低生計費試算報告

—目次—

I	「大分県最低生計費試算調査」の概要	1
II	大分県最低生計費試算調査で明らかになったこと	3
1	地方圏（大分県）と都市圏の最低生計費は同じ	3
1)	最低生計費とは	
2)	一ヶ月の最低生計費は大分も東京もほぼ同じ	
2	最低生計費に届かない収入がもたらす問題	5
1)	若年層（25歳単身）－家族形成ができない問題	
2)	中高年層（50歳単身）－高齢化への備えができず不安、時給2000円以上は必要	
3)	子育て世帯（30代世帯、40代世帯、50代世帯）－教育費負担の軽減と女性の賃金向上	
4)	高齢世帯（70歳単身・夫婦） －高齢前の生計費不足が高齢単身化リスクを高める？コロナ禍で家族等高齢前世代への補填も？	
3	コロナ禍の生計費の変化	9
III	大分県最低生計費試算の結果	
1	単身若年層	10
2	単身中高年層	27
3	子育て世帯	36
4	高齢（年金）世帯	70
	資料	88
	単純集計および調査票	88
	記者会見資料（2021年7月）	121

I 「大分県最低生計費試算調査」の概要

1. 「生活実態調査」、「手持ち財調査」の概要

1) 調査の目的

生活実態―最低生計費を算定するための基礎資料を得るためのものである。また、今日の生活様式や社会活動を知ること、生活課題を明らかにすること、さらに、コロナ禍における消費行動の変容についても明らかにすることを目的とした。

手持ち財―最低生計費を算定するための基礎資料を得るためのものである。生活財貨の所有状況を把握することを目的とした。

2) 調査時期

2020年11月～2021年2月

3) 調査対象

大分県の県労連加盟各単産の労働者や、その知人など。

4) 調査方法

1,000ケース以上を目標に、調査票4,500枚を配布し、回収

5) 有効回答数

1,483ケース

6) 調査主体

大分県労働組合連合会、大分大学経済学部・石井研究室

7) 調査項目

・生活実態調査

I 仕事内容

(就業形態、業種、内容、賃金額、世帯収入)

II 基本属性

(居住地、性別、年齢、世帯構成、住宅費)

III 日常生活について

(昼食、外食、休日の過ごし方、外出、旅行、交通手段。自動車・バイクの必要性、自動車・バイク費用、家庭雑貨費、電化製品購入先、下着購入先、冠婚葬祭費、交際費、中元・歳暮費、プレゼント費、医療・介護費、負担に思う家計支出、暮らし向き)

IV 地域での生活(近所づきあい、参加している社会活動)

・手持ち財調査

設備機器1項目、家事用耐久財13項目、冷暖房用機器10項目、居間・寝室用家具6項目、応接・書斎用家具4項目、食道用家具2項目、室内装飾品9項目、寝具類8項目、家事雑貨68項目、家事用消耗品13項目、被服・履物68項目、身の回り用品16項目、教養娯楽用耐久財12項目、書籍・他の刊行物2項目、教養娯楽品7項目、交通用具8項目、理美容品14項目、保健医療用具・器具8項目計269項目。

2. 「価格調査」の概要

1) 調査の目的

「手持ち財調査」にある財・サービスを調査地域である大分市内で購入するといくらになるのかを価格調査を行い、試算の基礎資料とする。

2) 調査期間

単身者用の手持ち財の価格調査を 2021 年 5 ～ 6 月に実施し、家族世帯の価格は、2022 年 6 月に実施した。

3) 調査対象

大分市内の量販店や専門店など。

4) 調査方法

量販店や専門店などで販売している商品の価格を記録。同一商品について、2 箇所調査した結果を記録した。原則として、低い方の価格を生計費試算として採用する。

Ⅱ 大分県最低生計費試算調査で明らかになったこと

1. 地方圏（大分県）と都市圏の最低生計費は同じ

1) 最低生計費とは

現在の県で「普通の暮らし」に必要な最低の経費はいくらなのか。このことを明らかにするために今回調査を行った。「最低」となっているが、あくまでも「普通の暮らし」の下限である。憲法 25 条の「健康で文化的な最低限度の生活」を送るための費用が「最低生計費」と考えてよい。これを下回っても生活は可能であるが、個人での経費節約が、生活や社会の維持に支障となる社会問題が生じてしまう。医療費、教育費、交際費など、さまざまな社会サービスが市場で提供され、生計費が不足すると租税の支払いも滞ることになる。こうした経費が支出できないと、健康や能力維持を害し、社会保険のセーフティーネットからも排除されてしまうことにもなり、社会から孤立しやすくなる。この意味で、最低生計費の基準は重要である。

最低生計費の算出方法は複数ある。このなかで、金澤誠一と中澤秀一による最低生計調査（金澤 2012、中澤 2011 など）は、2022 年 9 月までに 27 都道府県の地域別最低生計費が出されている。本調査は他の都道府県と比較可能にするため、金澤・中澤の調査方法を踏襲し、実施した。調査の概要は前述の通りである。

この最低生計費は若年単身世帯、子育て世帯、高齢者世帯など、様々な世帯類型ごとで変化する。これに単身者の世代別変化を明らかにするために、中高年単身世帯も加えた 4 類型について分析を行う。

2) 一ヶ月の最低生計費は大分も東京もほぼ同じ

今回調査で試算された若年単身世帯（男性）について、同じ調査方法を使って調査された他の都道府県と比較すると、東京都のような都市圏も大分県のような地方圏も、ほぼ導水準であることが明らかになる。

今回、大分県大分市の男性 25 歳単身で試算した場合、税金等の支払に込みで 258,814 円、年収では約 311 万円を超えないと「普通の暮らし」には到達しない。仮に国が基準とする労働時間年 1800 時間、月 150 時間で計算すると時給ベースで 1,700 円を超えないと「普通の暮らし」には達しない。労基法違反にならない週 40 時間で最大労働時間は月 173.8 時間であり、これで計算しても 1,500 円程度になる。実際の最低賃金は大分県の 854 円から東京都の 1,071 円と大きな開きがある。

他の都道府県の最低生計費は下記の通りである。

<調査地>	<25 歳男性単身の最低生計費（調査年月）>
大分県大分市	258,814 円（2021 年 2 月）
東京都北区	249,642 円（2019 年 9 月）
長野県長野市	254,812 円（2020 年 7 月）
京都府京都市	245,785 円（2019 年 4 月）
沖縄県那覇市	246,316 円（2020 年 7 月）

公共料金、家電製品、自動車関係費など全国どこに行っても価格は変わらないことから当然の結果と言える。住宅費が安い地方圏の「イメージ」が強いが、地方圏は公共交通インフラが乏しく、車は必需品であり、その維持費用は都市圏の住宅費の高さと相殺関係にある。車関係の費用は地方圏の隠れた費用であり、少ない所得であれば、生活を圧迫することになる。下記に東京都北区と大

分県大分市を比較すると、最低生計費はほぼ同じであるが、大分市では住宅費が低い一方。東京都北区では交通・通信費は低くなり、結果として最低生計費は同程度になっている。

(単位：円)

地域	東京都北区	大分市
消費支出	179,804	187,077
食費	44,361	42,755
住居費	57,292	39,000
光熱・水道	6,955	7,560
家具・家事用品	2,540	4,226
被服・履物	6,806	4,478
保健医療	1,009	2,248
交通・通信	12,075	36,302
教養娯楽	25,577	28,635
その他	23,189	23,873
非消費支出	51,938	53,037
予備費	17,900	18,700
最低生計費	197,704	205,777
税込み月額	246,642	258,814
税込み年額	2,995,704	3,105,768
月 150 時間生計費時給 (月 173.8 時間税込み)	1644 (1,419)	1,725 (1,489)

2 最低生計費に届かない収入がもたらす問題

1) 若年層（25 歳単身）－家族形成ができない問題

今回の調査により、大分市内で 25 歳単身世帯の最低生計費は、26 万円程度であることが明らかになった。他の地域でも 25 万円程度であり、1 万円程度高くなっているが、誤差の範囲であり、大分調査が特に高いわけではない。

この最低生計費を確保できない若年層、年収ベース 300 万円未満の若年層は増加傾向にあり、かつ地方圏ほどワーキングプア率が高い傾向にある、今回明らかになっているように、大分市の 25 歳単身層と東京都の同世帯の最低生計費がほぼ等しく、全国的にライフスタイルは「標準化」されていることが改めて確認できた。生活に必要な財・サービスを市場で調達すれば、必要な生活費は全国どこでも大きな違いはなくなっていく。このなかで、賃金の低さは、「標準」生活を目指せば、何等かの節約が必要になる。それが、親との同居による、住居費や食費などの節約が挙げられる。

石井・宮本・阿部編（2017）の研究によれば、月手取り 15 万円と 20 万円の 2 つの壁があることを指摘している。税・社会保険料を除いた手取り 15 万円を超えると、親元を離れた一人暮らしの生活を始めることが可能になる。さらに、手取り 20 万円を超えると、家族形成に向けた結婚や子育てが現実味を帯びることがインタビュー調査から仮説として導き出している。

今回の 25 歳単身層が男女平均で約 26 万円という水準との関係でみると、家族形成を視野に入れられる水準である。一方で、手取り 15 万円に満たない就労者が増えており、地方圏の少子高齢化は加速化し、今後の社会保障体制維持が困難になっていく。

また、税・社会保険料の非消費支出は、今回の試算でわかるように最低生計費の 2 割程度を占めている。雇用者になれば、企業の法定福利費として、法人による支出はなされるが、単発の仕事や、現在増えつつある雇用によらないギグワークで働くと、社会保険料は個人責任になって、低い収入の場合は、この部分が節約されることは想像に難くない。

以上のように、ますます社会保障は必要になることが予測される地方圏において、その負担はますます大きなものと感じられるようになっている。

まずは、稼得賃金を引き上げ、一人暮らしや家族形成が先送りされないように、現在、家族任せになっている、住宅、教育訓練にかかる必要な経費を捻出するためにも、賃上げに加えて、社会的に支援する仕組みが必要である。

2017 年の「就業構造基調調査」によれば、大分県内で最低生計費まで到達できない若年者を単身年収 200 万円未満とすると 4.01 万人（40 歳未満）いる。内訳は、単身世帯 1.74 万人に、親等と同居して年収 200 万円未満層が 2.27 万人、あわせて 4.01 万人の低所得若年層が存在している。仮に、これら層が最低生計費を獲得できるように 1 人 100 万円を配分するための費用は 401 億円となる。その配分の結果は、4.01 万人の半数の約 2 万人に婚姻行動が生まれ、この夫婦世帯のうち約 8 割程度が出産へとつながると推測すると、少子化傾向を抑制させることが期待できる（資料に提示した「2021 年 7 月 16 日」大分県庁での記者会見資料を参照）。

そのために、最低賃金引上げはもとより、仕事・所得の地方への分配や県内での経済循環を整備すべきであろう。

<参考文献>

・石井まこと・宮本みち子・阿部誠編（2017）『地方に生きる若者たち』旬報社

2) 中高年層（50 歳単身）－高齢化への備えができず不安、時給 2000 円以上は必要

今回、最低生計費調査として初めて中高年（50 歳単身層）の最低生計費を試算した。今回、男女とも約 30.8 万円と 25 歳単身生計費よりも 5 万円弱増加することが試算され、最低生計費に年齢比例制が確認できた。その算出方法は本報告書で後述する。なお、中高年の就労形態による生活困窮の現れ方などの詳しい分析は、石井（2023）にまとめている。

現代の中高年層は、「就職氷河期世代」であり、2019 年からは政府も中高年の正社員化を進める「就職氷河期世代支援プロジェクト」を立ち上げている。コロナ禍や企業経営の不透明感もあり、公務セクターの臨時採用が若干増えた程度であった。企業は市場原理で動かざるを得ないところがあり、仮に正社員で採用されても、最低生計費を確保できるかは、労使関係による企業内での所得再分配の仕組みが動くかによる。しかし、地方圏は労働組合の組織率も低く、労使関係による是正がなされにくい傾向にあるなかで、正社員といえども最低生計費を超える賃上げは困難である。

このとき、最低生計費を確保するには、所得再分配の仕組みを工夫することにある。最低賃金を引き上げることも所得再分配の 1 つのあり方である。50 歳単身 30.6 万円の賃金を国の労働時間基準 1,800 時間で考え、月 150 時間で割ると、時給は 2,040 円となる。

今回、中高年層の生活実態調査で明らかになったのは、非正規層において医療費や贈り物などの費用を節約する傾向が見られた。特に、中高年層のワーキングプア化が地方圏ほど進んでいる。下記の図 1 は、2017 年の「就労構造基本調査」から導出された 40 代後半就労層における年収 300 万円未満割合を示したものである。色が濃いほどワーキングプア率が高く、北東北や南・東九州の地方圏に多い。

図 1 40 代後半層ワーキングプア率（年収 300 万円未満層割合）



実は、図の分布は最低賃金の目安制度による 4 ランク分けと符合する。こうなる理由は、市場価格である需給関係要因だけではなく、最低賃金制度や人事院の標準賃金にあわせてワーキングプア率が左右されている。

ここで強調しておかなければならないのは、最低賃金は都道府県別に出されているが、上記のように地方圏貧困者を増加させており、年齢比例的な賃金が必要である。

<参考文献>

・石井まこと（2023）「最低生計費からみた地方圏賃金の低さと『地方消滅』」『大分大学経済論集』第 74 巻第 5・6 合併号

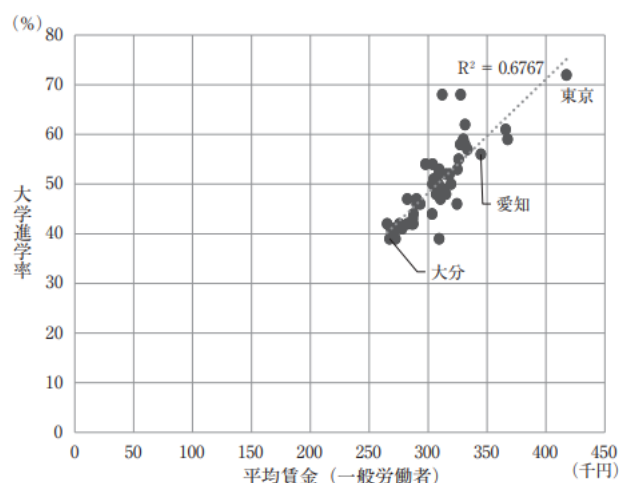
3) 子育て世帯（30代世帯、40代世帯、50代世帯）－教育費負担の軽減と女性の賃金向上

子育て世帯について試算すると30代夫婦と子ども2人（幼児・小学）で46.7万円、40代夫婦と子ども2人（中学・小学）で54.7万円、そして50代夫婦と2人（大学・高校）で月77.6万円必要なことが分かった。

これから言えることは、1つ目は、子育て期は年齢とともに生計費の上がり方が急なことである。その主要な要因は、教育費であり、50代世帯は月80万円程度も必要とされるのは、仕送りも含む大学進学費用が私的な対応にせざるを得ないためである。

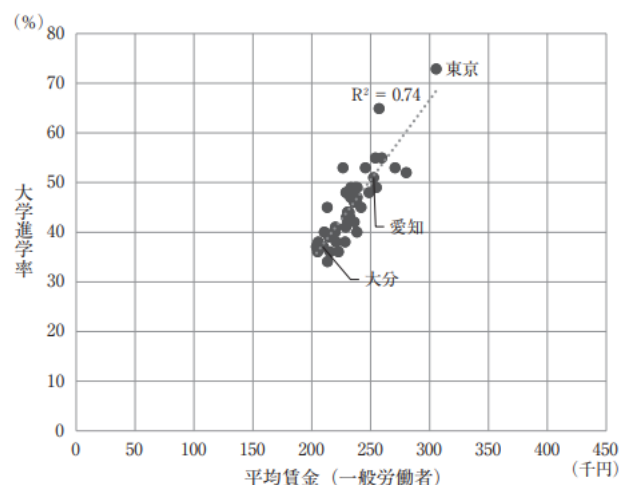
石井（2021）で示したように、日本はOECD加盟国中チリについて2番目に高等教育に占める家計負担割合の高い国である。その結果、進学率の高まりは教育に関する最低生計費を押し上げることになっていく。平均賃金が低く、年功賃金が普及している規模の大きな企業が少ない地方圏では、これら費用を捻出するのは困難である。その結果、下記の図2、図3のように、4年生の大学進学率と都道府県別の平均賃金は高い相関を示す。特に女性ほど相関性が高く、地方における女性の賃金が低いことが進学率をより低めている。地方でもっと大卒が活躍して地方で働く女性の平均賃金が上がれば女性大学進学率も上がることが想定される。

図2 都道府県別男性の大学進学率と男性平均賃金



出所：文部科学省「学校基本調査」、厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

図3 都道府県別女性の大学進学率と女性平均賃金



出所：図表1に同じ。

2つ目は、最低生計費は40代世帯でも54.7万円と地域の平均賃金を大きく上回っており、4人の家族を維持することは、何らかの支援なくしては、もはや困難になっている。つまり、4人家族は標準ではなくなっている。この条件をクリアするには、正社員とともに働き続けることで、ようやく最低生計費を越すことができる。地方圏での三世代同居や、同居でなくても近隣に住むことで夫婦共働きの支援にもなる。しかし、これも家族対応任せであり、最低生計費を稼得しても子育てに振り向けられる時間が自由にならないことになれば、単なる所得向上だけでは解決しない。

以上のように、地方において教育費の問題を解決し、女性の就労環境整備、特に賃金増加と労働時間短縮により、子育ての選択が取りやすくなっていくと考えられる。

<参考文献>

- ・石井まこと（2021）「地方圏の暮らしをどう構想するか？－最低生計費調査と「暮らし志向」を支える社会政策－」『月刊全労連』No. 292

4) 高齢世帯（70 歳単身・夫婦）

－高齢前の生計費不足が高齢単身化リスクを高める？コロナ禍で家族等高齢前世代への補填も？

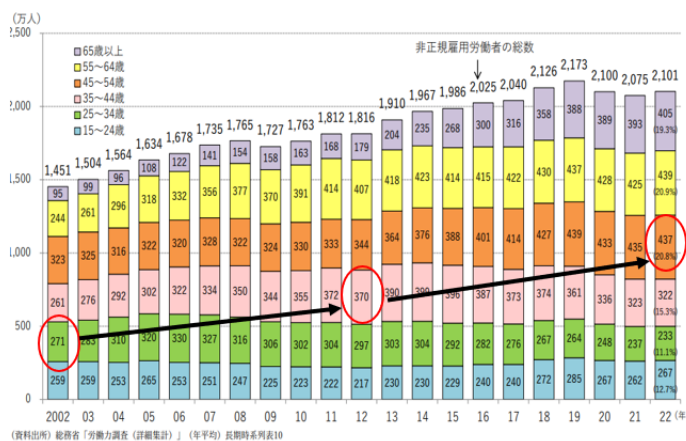
高齢単身世帯（ひとり暮らしの 70 歳女性）および高齢夫婦世帯（73 歳男性・70 歳女性の夫婦のみ）の最低生計費は、月額に換算するとそれぞれ 17 万円および 30.7 万円であった。

高齢単身世帯の平均年金受給額月当たり 14.4 万円ほど、高齢夫婦世帯の平均年金受給額は 20.1 万円と仮定している。もし、公的年金しか収入がなかったとすると、どちらの世帯でも不足が生じていることになる。この不足分は、蓄えを切り崩して補うか、自ら働いて賃金を得るか、もしくは生活を切り詰めて対応することになる。現在の年金給付水準では、とても健康で文化的な生活を送ることができない。

高齢期は現在、急速に単身化が進んでいる。孤立・孤独のリスクも高まる。生計費が食費や水光熱費などに優先的に充当されるため、交際関係の費用が切り詰められる。さらに、高齢者が賃貸物件に入居できない「入居拒否」問題が起きており、入居を断られた経験が 4 人に 1 人まで増加しているとされる（「60 代、仕事あっても入居拒否 貸し渋り深刻化『10 年後は悲惨』『朝日新聞』2023 年 7 月 4 日オンライン版）。厚生労働省の予測では、2040 年には 65 歳以上の単身世帯は 6 世帯に 1 世帯となると推計され、年齢に関係なくみると 2040 年には 5 世帯に 2 世帯にもなる。先にみたように子育て世帯の最低生計費が高く、結婚や子育てが先送りされた結果、中高年単身層が増加し、ひいては高齢期の単身層も増加することになる。

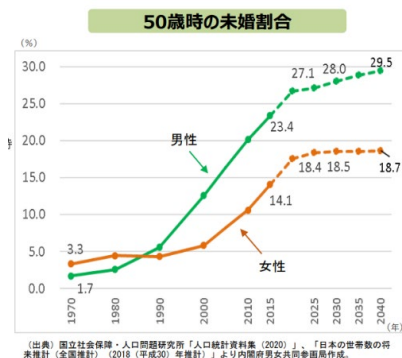
1990 年代から進む労働市場「改革」は仕事の保障を多様な雇用形態を通じて行うことに舵をきった。その結果、GDP は増加したものの、非正規労働は増え、図 4 のようにコーホートで見て 10 年経過後（25 歳～34 歳→35 歳～44 歳）をみると非正規が増えていることかわかる。また、単身世帯であれば、子育て世帯で要請される最低生計費を稼得しなくてもよいから、図 5 にように 50 歳の未婚率は急速に高まっている。この結果、高齢期の単身化も加速化していくと考えられる。

図 4 非正規労働者の推移



出所：厚生労働省「「非正規雇用」の現状と課題」

図 5 50 歳時の未婚割合の推移



（出典）国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集（2020）」、「日本の世帯数の将来推計（全国推計）（2018（平成30）年推計）」より内閣府男女共同参画局作成。

出所：内閣府「結婚と家族をめぐる基礎データ」

なお、調査当初、医療費にかかる費用に重きを置いていると推察していた。しかし、実際は医療費にかかる費用が重きを置かれていなかった。元気な年金生活者が多いとも考えられる一方で、受診を受けたくても我慢するか、なんらかの理由で医療受診を受けることができない状況があると想定できる。また、外出やプレゼント、食事、旅行費用に投じられる消費支出が大きく、生活に潤いや向上を目的としていると考えられる。一方で、コロナ禍で家族、親族が職を失うことから収入源を絶たれ、年金生活者が生活費の一部を補填している状況も推察できる。年金生活者の所得が若年世代の生活を支える補完構造があるかもしれない。

3 コロナ禍の生計費の変化

最後に、本調査はコロナ禍の2021年に実施したため、一部質問について、コロナ禍前の2019年とコロナ禍入っての2020年調査の変化も聞いた。調査結果は、巻末の資料に掲載している。

まず、「プライベートで、お酒、お茶、食事」の回数は、2019年では「月に1～2回」が40.1%から、「ほとんど行かない」は67.5%であった。1回あたりの費用も有額回答のみを単純平均すると、2019年は3,912円から2020年は3,120円と若干下がっている。コロナ禍で時間や場所が制限された結果、1回あたりの交際費用が下がった形になった。

次に、「休日（余暇）をどのように過ごしていますか」について、2019年は「家で休養」が62.0%、「ショッピング」は50.8%、その次に「映画鑑賞等」22.5%であった。コロナ禍の2020年は「家で休養」が79.0%と上がり、「ショッピング」は28.3%、そして「特に何もしない」が23.2%となっている。

日帰り旅行も2019年には0回と行かなかった割合は25.5%であり、2020年には53.7%に増加した。また、1回の行楽代も有額回答の平均は2019年に7,352円が2020年には5,465円に下がっている。1泊以上の旅行も2019年は0回であった割合が42.1%から77.4%になり、1回あたりの平均費用も52,340円から39,484円と下がっている。

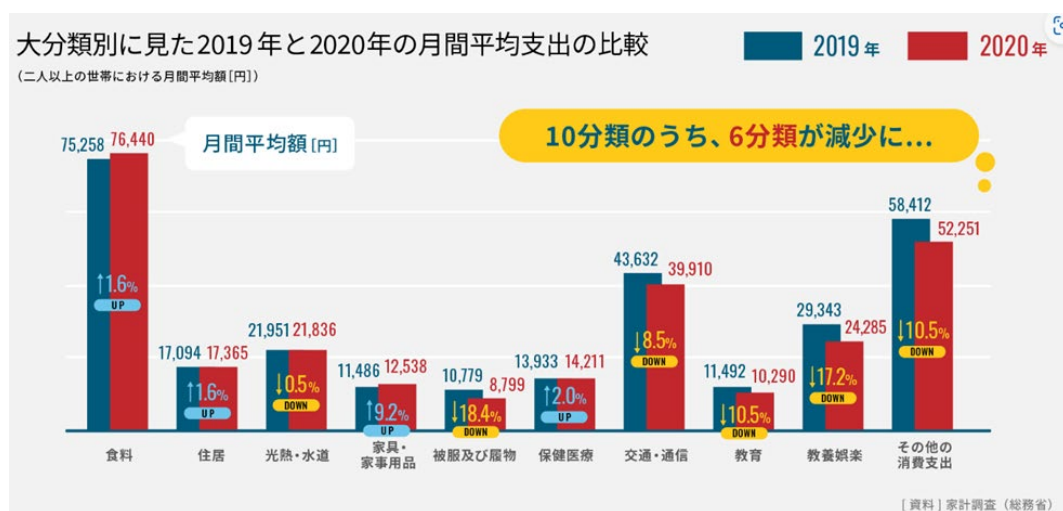
友人や親戚の結婚式やお葬式・法事も、2019年は「ほとんど参加している」が66.2%から2020年には31.8%と下がり、「ほとんど呼ばれることがない」36.7%と2019年の17.3%から伸び、コロナ禍で人が集まる機会が制限されていることが明らかになった。その際に使用した金額は、2019年でも使っていない0円が21.0%となっていたが、2020年には40.0%が0円になった。また、忘年会や新年会などは、2019年も0円が27.0%だったが、結婚式やお葬式以上に0円の割合は高くなり66.1%になっている。

以上の結果は総務省「家計調査」においても裏付けられる。

同調査によれば、2人以上の世帯で、2019年から2020年の消費支出の低下は2000年代に入って最大の下げ幅になった。また、2019年から2020年にかけて消費が落ち込んだものとして、光熱・水道、被服及び履物、交通・通信、教育、教養娯楽、その他の消費支出がある。特に被服及び履物や教養娯楽の下げ幅が大きい。外出が減ったことが影響した結果である。一方で、ゲーム機器等の需要が拡大している。

図6 大分類別に見た2019年と2020年の月間平均支出の比較

(二人以上の世帯における月間平均額[円])



出所：経済産業省「消費動向に見る、with コロナのトレンド」

(https://www.meti.go.jp/statistics/pr/rikatuyou_20210219/rikatuyou_20210219.html)

Ⅲ 大分県最低生計費試算の結果

大分県最低生計費調査をもとに、対象モデル世帯ごとに最低生計費を算定する。

- ①若年単身世帯（25 歳男女）
- ②中高年単身世帯（40・50 代男女）
- ③子育て世帯（30 代夫婦と小学生・幼稚園児の 4 人、40 代夫婦と中学生・小学生の 4 人、50 代夫婦と大学生・高校生の 4 人）
- ④高齢者世帯（年金受給単身男女および夫婦）

なお、上記①～④で試算対象とした回答は、全体 1483 部のうち、①若年者が 109 部（女性 72 部、男性 37 部）、②中高年者（40・50 代）が 88 部（女性が 54 部、男性 34 部）、③が 30 代夫婦と未婚子からなる世帯（以下、30 代世帯と略）の回答数は 58 部、40 代夫婦と未婚子からなる世帯（以下、40 代世帯と略）の回答数は 131 部、50 代夫婦と未婚子からなる世帯（以下、50 代世帯と略）の回答数は 101 部であった。なお、夫婦の世代は、回答者（夫または妻）の年齢で区別した。最後に、④高齢者単身は 56 部（女性が 44 部、男性が 12 部）、夫婦は 89 部を対象としている。

1 若年単身層（25 歳男女）

1) 対象となるモデルと地域

①対象モデル

最低賃金の引き上げ要求運動につなげるため、若年単身世帯を第一に分析することとした。具体的には、「年齢は 25 歳で、大学卒業後就職し、勤続年数が 3 年である労働者を想定」した。

ちなみに、「令和元年賃金構造基本統計調査」によると、大分県における大学卒業者初任給の平均額は、19 万 1400 円である。また、毎月きまって支給する所定内給与額（産業規模別計、男女計）は、25～29 歳で 21 万 9300 円となっている。これらのことを踏まえ、月額賃金が 21 万円、一時金が年 50 万円で年収 302 万円の対象モデルを設定した。ちなみに生活実態調査の結果では、若年単身世帯の世帯年収については「350～400 万円未満」の割合が最も高かった（15.6%）が、中央値は「300～350 万円未満」であった。なお、今回の試算結果は、本来は 2020 年 11 月時点で試算すべきだが、コロナ禍をふまえて、それ以前の 2019 年 11 月時点の消費を想定している。ただし、2020 年時点にいかなる変化が起きたかわかるように適宜分析は行う。

②居住地域

はじめに、今回集計した若年単身世帯のデータでは、大分地区（大分市、由布市）在住の割合が 59.6%と高かった。このことから県庁所在地である大分市在住を想定した。

また、インターネットで大分市内の物件を調査したところ（25 m²以上のワンルームマンション・アパート）、大分駅・賀来・南大分あたりで物件が多く、比較的家賃が安い南大分ないしは萩原あたりに住んでいることを想定した。

2) 算定の方法と結果

今回の最低生計費試算調査を含めて、静岡県立大学の中澤秀一が 2015 年からこれまでに全国 22 都道府県で実施されている諸調査は、佛教大学の金澤誠一の監修のもとで行われた「首都圏最低生計費試算調査」（2008 年 4 月～6 月実施、2039 ケース集約）および「東北地方最低生計費試算調査」

(2009 年 5 月～6 月実施、1615 ケース集約)、「愛知県最低生計費試算調査」(2010 年 5 月～6 月実施、518 ケース集約)などの調査方法を、若干の修正を加えながらも基本的には踏襲している。調査方法を大幅に変えてしまうと、従前の調査との比較が困難となり、労働運動がかねてより求めている全国一律最低賃金の実現に結びつかなくなるからである。

「手持ち財調査」にもとづいて、原則 7 割以上の所持率の物を「最低限度の生活」のために必要な物＝必需品と判断し、「価格調査」を行った。「手持ち財調査」、「価格調査」をもとに、一般労働者の生活を反映させるために、青年労働組合員を中心に「合意形成会議」を行い、合意価格を決定した。なお、所持数(消費数)については所持数の「下から 3 割」の目安にして決定している。

ただし、所持率が 7 割を下回るものについても、多くの世帯で必需品になっている可能性が高いと思われる品目については、「合意形成会議」にて必要と判断し場合には所持するものとした。例えば、男女ともノートパソコンは 7 割を下回っていたが、同会議で所持していて当然となり必需品に入れている。

所有したものの価格については、標準価格帯のなかで原則最低価格(100 円ショップは調査対象から外している)で試算した。

使用年数については、国税庁「減価償却資産の使用年数等に関する政令」およびクリーニング事故賠償問題協議会「クリーニング事故賠償基準」を参考にした。

3) 最低生計費の試算

①食費：男性 42,755 円、女性 35,762 円

食費については、2020 年の総務省「家計調査」の品目分類にもとづいて、二人以上世帯の全国での平均および最も年間収入の低い第 1 五分位階層の 100g 当たりの消費単価を 4 つの食品群に分けてそれぞれ計算した。具体的には、「2020 年家計調査年報」の品目別分類の各費目の購入数量および 100 グラム当たりの平均価格から加重平均を求めた(ただし、嗜好品については飲料・酒類で代表させ、100 k カロリー当たりの価格で算出)。同様に大分市における 4 つの食品群の 100g 当たりの消費単価の平均値も求めて、同市における第 I 五分位階層の消費単価を推計している。

次に、女子栄養大学出版部『食品成分表 2021 資料編』にもとづき、1 日当たりの必要なカロリーを算出した(25 歳男性 1 日当たり 2650 k カロリー、25 歳女性 1 日当たり 2000 k カロリー)。また、「4 つの食品群の年齢別・性別・身体活動レベル別食品構成(1 人 1 日当たりの重量=g)」(香川芳子：女子栄養大学教授案)にもとづいて必要な栄養を満たすように、食費を試算。香川氏の試算にもとづきエネルギー必要量の 1 割は嗜好品でまかなうようにした。なお、家での食事の場合、食べ残しの廃棄率を 5%と想定している。なお、昼食や仕事の帰りや休日のお酒や会食については、生活実態調査の結果から、その回数や費用を算定している。

大分市内に住む 20 代単身者の食費は以下のように算定した。

朝食については、合意形成会議において、女性は朝食及び夕食は基本的に家で食べるが、男性は朝週 2 回程度コンビニなど利用し、夕食も週 1 回は外食する結果となり、これを採用した。

昼食についての実態調査の結果を、男女別にみると、男性は「弁当やパンなどを買って職場で食べる」が 48.6%で最も多く、次いで「食堂や喫茶店、出前」が 32.4%、女性は「家から弁当持参」が 55.6%、次いで「弁当やパンなどを買って職場で食べる」が 31.9%で最も多かった。ここから昼食は、男性については、月の 15 日間はコンビニなどで「弁当やパンを買う」ものとし、残り 5 日間は家から持参、女性は月の 15 日間は「家から弁当」を持参し、残りの 5 日間はコンビニなどで「弁当やパンを買う」ものとした。なお、「弁当やパンを買う」費用については 500 円と設定した。

プライベートで休日にお酒、お茶、会食をする回数は、実態調査では、最も多いのが「月 1～2 回程度」で 33.9%、次いで「月 3～4 回程度」の 33.0%、「週に 1～2 回」の 21.1%と続いていた。この結果を踏まえて、飲み会については、月に 2 回とした。その費用は、2 次会に行く場合もあり、平均額 3,606 円より少し高めの 4,000 円とした。

1 日あたりの推定エネルギー必要量は、18～29 歳の男性、身体活動レベルⅡ（低い、ふつう、高いの 3 段階のふつう）で 2650k カロリー、18～29 歳の女性、身体活動レベルⅡで 2000k カロリー、とされている（香川明夫監修「食品成分表 2021 資料編」、女子栄養大学出版部、2021 年）。

表 1 は、4 つの食品群別に必要な食品構成と 100g あたりの消費単価をまとめたものである。消費単価については、「2020 年家計調査年報」の品目別分類の各費目の購入数量および 100 グラム当たりの平均価格から加重平均を求めた。なお、嗜好品（飲料・酒類）は 100k カロリーあたりの金額である。

表 1－1 4 つの食品群別食品と嗜好品の消費単価大分市第 I 五分位階層（推計）

食品群	第 1 群	乳・乳製品	27.55	円
		卵	27.40	円
	第 2 群	魚介・肉	165.03	円
		豆・豆製品	18.44	円
	第 3 群	野菜・海藻	40.82	円
		いも類	33.09	円
		果物	41.15	円
	第 4 群	穀類	50.95	円
		砂糖	23.75	円
		油脂	37.30	円
嗜好品（飲料・酒類）			69.75	円

注) 4 つの食品群は 100 g 当たり、嗜好品は 100kcal あたりの消費単価である。

a) 25 歳男性 1 日当たり 2,650k カロリー (30 日 = 79,500k カロリー) の場合

表 1-2 においては、25 歳男性にとって 1 日に必要な熱量 2650k カロリーのうちの 95% (= 2517.5k カロリー) の熱量を摂取するためにかかる金額は 884.94 円である。

表 1-2 25 歳、男性、身体活動レベルⅡ、4 つの栄養群別、必要な食品構成と金額 (大分市)

第1群			第2群		
乳・乳製品			魚介・肉		
必要量	300	g	必要量	180	g
金額	82.64	円	金額	297.06	円
卵			豆・豆製品		
必要量	55	g	必要量	80	g
金額	15.07	円	金額	14.75	円
第3群			第4群		
野菜・海藻			穀類		
必要量	350	g	必要量	440	g
金額	142.87	円	金額	224.18	円
いも類			砂糖		
必要量	100	g	必要量	10	g
金額	33.09	円	金額	2.37	円
果物			油脂		
必要量	150	g	必要量	30	g
金額	61.72	円	金額	11.19	円

(参考) : 香川明夫監修『食品成分表 2021 資料編』(女子栄養大学出版部、2021 年)、p. 86。

(注) 推定エネルギー必要量の 95% で構成

1 日エネルギー必要量の 90% とその他の栄養必要量を満たし、それに嗜好品を加えた金額で計算すると下記の通りとなる。

90% 栄養量	2,385	k カロリー	796.45	円
嗜好品	265	k カロリー	184.83	円
合計			981.28	円

従って、1 カ月、すべて家で食事したと仮定すると、981.3 円 × 30 日 = 29439 円の食費となる。また、昼食のとり方や会食については、「生活実態調査」および「合意形成会議」をふまえて、以下の通り算定した。

コンビニ弁当	1 食	730k カロリー	500 円
1 カ月 23 食 (朝 8 食含む)		16,790k カロリー	計 11,500 円

25 歳男性の会食 (外食) の内容と 1 回のエネルギー量は、枝豆 (100)、刺身盛り合わせ (220)、とり天 (450)、日田やきそば (360)、ビール (中ジョッキ 2 杯 : 160 × 2) で 1,450kcal。月 2 回 2,900k カロリーで計 8,000 円。

以上すべて加えると、総計は下記の通りである。

⑤家で食事	59,810	k カロリー	22,147	円
朝食昼食	16,790	k カロリー	11,500	円
会食	2,900	k カロリー	8,000	円
廃棄 (5%)	2,991	k カロリー	1,108	円
	79,341	k カロリー	42,755	円

b) 25 歳女性 1 日当たり 2,000 k カロリー (30 日=60,000k カロリー) の場合

表 1-3 においては、25 歳女性にとって 1 日に必要な熱量 2000k カロリーのうちの 95% (=1900k カロリー) の熱量を摂取するためにかかる金額は 705.41 円である。

表 1-3 25 歳、女性、身体活動レベルⅡ、4 つの栄養群別、必要な食品構成と金額 (大分市)

第1群			第2群		
乳・乳製品			魚介・肉		
必要量	250	g	必要量	120	g
金額	68.86	円	金額	198.04	円
卵			豆・豆製品		
必要量	55	g	必要量	80	g
金額	15.07	円	金額	14.75	円
第3群			第4群		
野菜・海藻			穀類		
必要量	350	g	必要量	320	g
金額	142.87	円	金額	163.04	円
いも類			砂糖		
必要量	100	g	必要量	10	g
金額	33.09	円	金額	2.37	円
果物			油脂		
必要量	150	g	必要量	15	g
金額	61.72	円	金額	5.60	円

(参考) (注) とともに表 1-2 と同じ。

男性同様に、1 日エネルギー必要量の 90% とその他の栄養必要量を満たし、それに嗜好品を加えた金額は、下記の通りである。

90%栄養量	1,800	k カロリー	668.29	円
嗜好品	200	k カロリー	139.49	円
合計			807.78	円

従って、1 カ月、すべて家で食事したと仮定すると、807.78 円×30 日≒24,233 円の食費となる。昼食のとり方や会食については、「生活実態調査」と「合意形成会議」により、下の通り算定した。

コンビニ弁当	1 食	730k カロリー	500 円
1 カ月 5 食		3,650k カロリー	計 2,500 円

25 歳女性の会食（外食）の内容と 1 回のエネルギー量は男性と同じで計算する。

以上すべて加えると、総計は下記のとおりである。

家での食事	52,070	k カロリー	24,233	円
昼食	3,650	k カロリー	2,500	円
会食	2,780	k カロリー	8,000	円
廃棄（5%）	2,604	k カロリー	1,052	円
合計	60,921	k カロリー	35,762	円

②住居費：39,000 円

住居費については、公営住宅は少なく、現実に入ることが困難なため、民間借家を想定した。居住面積については、国土交通省「住生活基本計画」（平成 28 年度から平成 37 年度）による「最低居住面積水準」にもとづき、単身世帯 25 m²に設定し、「最低限度の生活」として最低価格帯（下から 3 割程度の物件）の物件を採用することにした。

市場調査の結果、大分市で単身用住宅として、25 m²の民間賃貸アパート・マンション（間取りワンルーム or 1 K）では 64 件中、最低で 33,000 円、最高が 57500 円であった。調査対象者の平均は共益費込みで 48117 円、中央値は 50000 円、下から 3 割が 44000 円であるが、南大分付近の実際の物件の価格相場から、家賃は実際に物件も豊富で、下から 3 割の対象者が利用できる 39,000 円とした。

③水道・光熱費：男性 7,560 円、女性 7,877 円

水道・光熱費については、総務省「2019 年全国家計構造調査」の単身世帯のうち、全国版の男女別の全年齢平均および 30 歳未満のデータをもとに、按分計算して大分県における 30 歳未満の男女別に推計し、さらに 2019 年から 2020 年の物価上昇率を加味して判断した。物価指数は、水道・光熱費の場合、2019 年に比して 0.8%減になっており男性は 7621 円×0.992≒7,560 円、女性は 7,940 円×0.992≒7,877 円とした。

④家具・家事用品費：男性 4,226 円、女性 5,394 円

所持率が 7 割に達しているものと合意形成会議で 7 割以下ではあるが所有が望ましいものを選定し、おおよそ所有者の「下から 3 割」を目安として所有数を算出した。そのうえで、実際の県大分の販売価格を調査し、それを耐用月数で割り、月額費用を算出した。結果は以下の通りになった。手持ち材調査の結果は、本節の最後に掲載している。

- ・家事用耐久財 : 男 1494 円、女 1557 円
- ・冷暖房機器 : 男 0 円、女 139 円
- ・居間・寝室用家具 : 男 25 円、女 215 円
- ・応接・書斎用家具 : 男 0 円、女 37 円
- ・室内装飾品 : 男 353 円、女 548 円
- ・寝具類 : 男 703 円、女 703 円
- ・家事雑貨 : 男 862 円、女 1421 円
- ・家事用消耗品 : 男 789 円、女 774 円

⑤被服および履物：男性 4,478 円、女性 8,896 円

被服・履物の数量については個人差が大きい。そこで少ない方から数えて合計 3 割の人が保有する数を算定基準とした。男性は 3836 円、女性は 8438 円となり、手持ち材調査の結果は、本節の最後に掲載している。また、クリーニング代は月あたり、男性 642 円、女性 458 円とした。算出根拠は下記の通りである。

a) 男性＝背広 2 着・礼服 1 着・オーバーコート 1 着・シャツ 6 着・スラックス 2 着のクリーニング代を想定した（1 着＝1,100 円、シャツ 3 着 1100 円、スラックス 2 着 1100 円）。 $1,100 \text{ 円} \times 7 / 12 = \text{月額 } 642 \text{ 円}$ 。

b) 女性＝ワンピース 2 着・フォーマドレス 1 着・オーバーコート 2 着分のクリーニング代を想定した（1 着＝1,100 円）。 $1 \text{ 着 } 1,100 \text{ 円} \times 5 / 12 = \text{月額 } 458 \text{ 円}$ 。

⑥保健医療費：男性 2,248 円、女性 3,574 円

保健医療費については、総務省「2019 年全国計構造調査」における全国版の男女別の全年齢平均および 30 歳未満のデータをもとに、按分計算して大分県における 30 歳未満の男女別に推計し、さらに 2019 年から 2020 年の物価上昇率を加味して判断した。物価指数は、保健医療費の場合、2019 年に比して 0.4%増になっており、男性は $2239 \text{ 円} \times 1.004 \div 2248 \text{ 円}$ 、女性は $3559 \text{ 円} \times 1.004 \div 3574 \text{ 円}$ となった（ちなみに、生活実態調査では男性平均が 2042.8 円、女性平均が 1567.1 円であった）。

⑦交通・通信費：男性 36,302 円、女性 36,142 円（軽自動車を所有時）

a) 交通用具（自動車）・諸経費（ガソリン代、駐車場代）：月あたり 27,589 円（軽自動車を所有時）

生活実態調査において職場までの交通手段を質問したところ、70.6%が「自家用車」と回答した。手持ち財調査においては、所持率は「普通自動車」＝29.7%、「小型自動車」＝7.9%、「軽自動車」＝53.5%となっていた。以上をふまえて、移動手段として「自家用車」を所有させることとした。自家用車の種別については、合意形成会議では、多数を占める「軽自動車」所有で試算することとした。

具体的な価格の算定にあたっては、7 年落ち(2014 年式、5～7 万km走行)の中古車を購入後 6 年使用し、車検直前に廃車し手放すことを想定し、6 年間にかかる諸経費を合わせて 1 か月あたりにかかる費用を計算し、18,589 円となった。なお、消費税については 10%で変わらないとしている(2021 年 2 月時点の試算)。

諸経費を計算するにあたって、生活実態調査では、1 か月に支出するガソリン代の平均は 9,101.1 円（有額回答者の平均）であった。中央値は 9000 円程度で下から 3 割は 6000 円であった。大分市内在住であれば職場に比較的に近い場所に居住することを考えて、1 か月のガソリン代は、各種別の燃費を考慮して、軽自動車＝6,000 円を計上することとした。

駐車場代については、生活実態調査では 1 台あたりの平均額は約 4,531 円（有額回答）であった。下から 3 割で 3,000 円となっており、駐車場代は 1 箇所、3,000 円かかるものと判断した。

表 1－5 軽自動車所有ケース

大分市在住 20 代単身者：6 年間の走行距離＝6835km×6＝41010km

費 目	金 額 (円)	備考	6 年間の 金 額 (円)	1 カ月当り の額(円)
車両価格（車検基本料込み）	598,000		598,000	8,306
税・保険料（①～⑥）の計	134,185		506,110	7,029
①消費税（10%、取得時）	59,800		59,800	—
②軽自動車税（毎年）	7,200		43,200	—
③重量税（1 年分）	3,300	2 年分 6,600 円の 1/2	19,800	—
④自賠責保険料（1 年分）	12,535	2 年分 25,070 円の 1/2	75,210	—
⑤任意保険料（年額）	51,350		308,100	—
整備費用（⑥～⑩）の計			234,284	3,254
⑥車検（2 年ごと）	15,000	6 年間で 2 回	30,000	—
⑦上記の消費税（10%）	1,500	同上	3,000	—
⑧印紙代	1,400	同上	2,800	—
⑨部品・消耗品の交換費用	詳細は下表を参照		180,440	—
⑩⑨の消費税（10%）			18,044	—
合 計				18,589

注 1) 7 年落ち（2013 年に初回登録、7 万 km 走行）の中古軽乗用車（660cc）を購入後 6 年使用する（車検直前に手放す）

2) Web サイトで条件に合った 61 台で、価格（消費税と車検基本料金込み）の最低が 29 万円、最高が 114 万円、安い方から 3 割程度の価格は 59.8 万円（消費税抜き）。2021 年 6 月調査。

3) 消費税率は 10% で不変とした。

4) 任意保険の契約内容は、対人賠償無制限、対物賠償無制限、免責金額＝車対車免ゼロ、搭乗者傷害＝1,000 万円で 16 等級とした。

表 1－6 部品・消耗品の交換費用

費 目	交換時期	部品代 (円)	工賃 (円)	交換回 数/6 年	6 年間の金額 (円)
エンジンオイル	5,000 km ごと	3,500	1,360	8	38,880
オイルフィルター	10,000 km ごと	1,500	1,190	4	10,760
バッテリー交換	4 年間に 1 回	14,900	0	1	14,900
冷却水交換	10 万 km ごと	3,000	1,900	1	4,900
ヘッドライトバルブ	切れたら	2,000	1,000	1	3,000
タイヤ交換	4 万 km ごと	40,000	4,000	1	44,000
エアコンフィルター	車検時	4,700	800	2	11,000
ブレーキフルード	車検時	1,000	4,000	2	10,000
補機駆動ベルト	5 万 km ごと	4,000	6,500	1	10,500
フロントブレーキパッド	40,000 km ごと	7,000	7,500	1	14,500
リアブレーキシュー	40,000 km ごと	5,000	5,500	1	101500
ワイパーブレードラバー	年 1 回	1,500	0	5	7,500
計					180,440

注 1) 部品・消耗品の交換費用については、ディーラー工場に問い合わせ設定した。2021 年 6 月調査。

2) 部品交換時に 12 カ月点検を含むものとした。

3) 購入後 6 年間の走行距離を 41010km とし、以下のようにして算定した。

上表(自動車関係費)の月額ガソリン代(6,000 円)を 2021 年 6 月時点のガソリン価格(158 円/ℓ)で除したものに、燃費(軽乗用車: 15km/ℓ)を乗じ、それを 12 倍することによって 1 年間の走行距離(6,835km)を算定し、これを 6 倍した。

b) 通信費: 男性 8,713 円、女性 8,553 円

通信費については、総務省「2019 年全国家計構造調査」における全国版の男女別の全年齢平均および 30 歳未満のデータをもとに、按分計算して大分県における 30 歳未満の男女別に推計し、さらに 2019 年から 2020 年の物価上昇率を加味して判断した。

2020 年時点での通信費の物価上昇率は、2019 年に比べ 0.3%増であることから、年間で男性は $8687 \text{ 円} \times 1.003 \div 8713 \text{ 円}$ 、女性は $8527 \text{ 円} \times 1.003 \div 8553 \text{ 円}$ とした。

⑧教育費: 0 円

教育費については、若年単身世帯のため、今回は算定に含めない。

⑨教養娯楽費: 26,635 円

a) 教養娯楽用品: 男性 2,577 円 女性 2,577 円

教養娯楽用品として、テレビ・ノートパソコン・USB メモリーの 3 点、男女とも月 2577 円となった。手持ち材調査の結果は、本節の最後に掲載している。

b) 教養娯楽サービス：日帰り行楽 8,000 円、1 泊以上の旅行 5,833 円、余暇費用 8,000 円

教養娯楽サービスについては、生活実態調査の結果から、日帰り行楽の回数、費用、1 泊以上の旅行の回数、費用にもとづいて算定する。その他、余暇・休日の過ごし方を調査し、その結果にもとづいて算定した。

ハイキング、ドライブ、遊園地に行くなどの日帰り行楽についての生活実態調査の結果は、コロナ禍以前の 2019 年で「2 回」が 25.7%、「1 回」が 16.5%、「月 3 回」が 15.6%の順番になっていた。「1 ヶ月に 1 回」は福岡などへ遠出し、1 回は県内の行楽地に行くことにした。1 回の行楽代は福岡には 6,000 円、大分県内は 2,000 円とし、あわせて 8,000 円とした。

1 泊以上の旅行についての生活実態調査の結果は、年「2 回」が 32.1%、「1 回」が 22.0%、「0 回」が 12.8%の順番になっていた。このことから帰省を含めて年に 2 回は 1 泊以上の旅行に行くものとして（1 回あたり 35,000 円の費用）、年間の費用を 70,000 円とした（1 ヶ月あたり 5,833 円）。

生活実態調査で休日（余暇）の過ごし方を 3 つまでの複数回答で聞いたところ、「自宅で休養」＝71.6%、「ショッピング」＝57.8%、「映画などの鑑賞」45.9%などと続いた。これらのことから、上記の行楽や旅行を除いて、恋人や友人などと一緒にショッピングや映画・観劇・音楽・絵画などの鑑賞、スポーツを楽しむのを週 1 回（月に 4 回）程度とし、その余暇費用を月 8,000 円とした。

c) NHK 受信料：1,225 円

テレビはほとんどの人が所有しており、NHK 受信料を年間契約しているものとして年 14700 円を 12 か月で割ると、月 1225 円となる。

d) 定額制コンテンツ（サブスクリプション）会費 1000 円

アマゾンプライムやNetflix等の映像コンテンツの配信サービスは多くの若者が利用しており、月額 1000 円を計上した。

⑩理美容費の算定：男性 4,557 円、女性 8,716 円

a) 理美容品：男性 2,057 円、女性 3,716 円

所持率が 7 割に達しているものと合意形成会議で 7 割以下ではあるが所有が望ましいものを選定し、月額の費用を算出した。結果は男性が 2,057 円、女性が 3,716 円となった。

b) 理美容サービス：男性 1 ヶ月あたり 2,500 円、女性 1 ヶ月あたり 5,000 円

理髪（美容）料としては、聞き取り調査により男性は月に 1 回で 1 回 2,500 円、女性は 3 ヶ月に 1 回 15,000 円とした。

⑪身の回り用品の算定：男性 1,017 円、女性 1,530 円

所持率が 7 割に達しているものと合意形成会議で 7 割以下ではあるが所有が望ましいものを選定し、月額の費用を算出した。結果は男性が 1,017 円、女性が 1,530 円となった。手持ち材調査の結果は、本節の最後に掲載している。

⑫その他の消費支出費用：18,299 円

a) 自由裁量費：6,000 円

自由裁量費（こづかい）については、これまでの算定では計上しなかった自動販売機などでのコ

ーヒー代、スマートフォンの有料アプリへの課金などを、こづかいとして一括してここに計上した。これは、手持ち財調査では保有率が分散していて 7 割には満たないが、個々人の趣味など、価値の多様性を考慮したものである。その額は、1 人 1 日 200 円として月 6,000 円とした。

b) 冠婚葬祭費：5,000 円

生活実態調査では、冠婚葬祭の参加状況は「ほとんど参加している」が 64.2%であった。合意形成会議では、25 歳は結婚式が多い時期であることを考慮して、年間に 2 回結婚式に参加するものとして、その 1 回あたりの費用は 30,000 円とした（年間合計 60,000 円で月あたり 5,000 円）。

c) お中元・お歳暮：0 円

生活実態調査では、「贈らないことにしている」が 86.2%であり、贈らないと判断した。

d) プレゼント費用：3,333 円

見舞金やお年玉・クリスマスや誕生日等のプレゼント費用については、平均額は約 36,853 円/年間であった。合意形成会議の結果、平均額に近い金額年間 40,000 円（月あたり 3333 円）を計上した。

e) 忘年会等：1,667 円

昨年、忘年会や新年会、歓送迎会に使った費用で、「1 万円」が最も多く 25.7%で、次いで「2 万円」が 20.2%、「0 円」が 17.4%と続いた。忘・新年会、歓送迎会のうち年 4 回は出席し、1 回 5,000 円支出することにした（月あたり 1,667 円）。

f) 自治会費（町内会費）：200 円

合意形成会議での聞き取りの結果、自治会費を毎月 200 円支払うものとした。

g) 組合費：2,100 円

現役の労働者・サラリーマンの場合には、労働組合費として月 2,100 円を想定（月収の 1%を目安）して計上した。

⑬予備費：男性 18,700 円、女性 19,200 円（軽自動車を所有時）

その他、予備費として、消費支出の 1 割を計上する。これは、個々人の多様性を考慮したものである。たとえば、エネルギー消費量は、同じ年齢層でも身長や体重によって違いが生じるし、消費支出の内容や額も、心身の健康状態や障害の有無・程度により異なるからである。

⑭非消費支出：53,037 円

モデルの月収・賞与をもとに所得税，市県民税，社会保険料の支出を算定すると、所得税は月 5,434 円，県民税は月 9,600 円，健康保険、厚生年金、雇用保険の社会保険費用を合算すると月 38,003 円と算出され、あわせると 53,037 円になる。

以上の生計費を表にまとめたものが下記の表となる。

表 1－7：大分県大分市在住 25 歳単身世帯（男女）の最低生計費試算の結果

生計費結果	大分市在住	
	25歳男性単身	25歳温女性単身
A消費支出（1～10）	187,077	191,848
1食費	42,755	35,785
2住居費	39,000	39,000
3光熱・水道	7,560	7,560
4家具・家事用品	4,226	5,384
5被服・履物	4,478	8,896
6保健医療	2,248	3,574
7交通・通信	36,302	36,142
8教育・仕送り	0	0
9教養娯楽	28,635	26,635
10その他（交際関係）	23,873	28,545
B非消費支出	53,037	53,037
C予備費	18,700	19,200
最低生計費（税抜き）A＋C	205,777	211,048
D同上（税込み）A＋B＋C	258,814	264,085
同上（税込み）D×12	3,105,768	3,169,020

（注 1）消費支出＝食費、住居費、光熱・水道、家具・家事用品、被服・履物、保健医療、交通・通信、教育、教養娯楽、その他の総和、予備費＝消費支出×10%（100 円未満切り捨て）、最低生計費（税抜き）＝消費支出＋予備費

（注 2）一般的に正規労働者には「通勤手当」が支給されるケースが多い。たとえば、企業から通勤手当が支給されたとすると、そのぶん最低生計費は減る。

（注 3）非消費支出には、「所得税」＝5,434 円、「住民税」＝9,600 円、「社会保険料（厚生年金＋協会けんぽ＋雇用保険）」＝38,003 円を含む。

（注 4）非消費支出の算出方法は、以下の通り。

1）所得税

4 月分の給与を 210,000 円とすると、国税庁『令和 2(2020)年分 源泉徴収税額表』より、3980 円。これにボーナスに対する分（月額 1454 円）を加算すると、5434 円

2）住民税

①住民税の所得割額の求め方（県民税＝4%、市民税＝6%）

住民税が課税される所得金額は以下のように求める。

給与所得＝302 万円×70%－18 万円＝1,934,000 円

給与所得－（社会保険料控除＋基礎控除）＝1,934,000 円－（456,039 円＋33 万円）＝1,147,961 円

市民税（税率 6%）は、

1,147,961 円×6%≒68,877 円

県民税（同 4%）は、

1,147,961 円×4%≒45,918 円

ここからそれぞれ調整控除額を差し引き、100 円未満を切り捨てると、

市民税は、 $68,877 \text{ 円} - 3,000 \text{ 円} \approx 65,800 \text{ 円}$

県民税は、 $45,918 \text{ 円} - 2,000 \text{ 円} \approx 43,900 \text{ 円}$

②住民税の均等割額の求め方

住民税の均等割額は、下表のように定められている。

市民税	3,500 円
県民税	2,000 円

したがって、住民税額（年額）は、 $65,800 \text{ 円} + 43,900 \text{ 円} + 3,500 \text{ 円} + 2,000 \text{ 円} = 115,200 \text{ 円}$ となり、1 か月当たりでは9600 円となる。

3）社会保険料

① 厚生年金保険料率＝18.3%（うち労働者分＝9.15%）

→標準報酬月額 220,000 円では、20130 円が本人負担分

① 協会けんぽ（大分県）保険料率＝10.17%（うち労働者分＝5.085%）

→標準報酬月額 220,000 円では、11,187 円が本人負担分

② 雇用保険料率（失業給付分）＝0.9%（うち労働者分＝0.3%）

→月収を 210,000 円とすると、630 円が本人負担分

したがって、1 ヶ月の給与に対する社会保険料負担は、 $20,130 \text{ 円} + 11,187 \text{ 円} + 630 \text{ 円} = 31,947 \text{ 円}$ となり、 $\times 12$ ヶ月分＝383364 円となる。これにボーナス分 72675 円を加えると 456039 円となる（月あたり 38003 円）。

・家庭用耐久財・家庭用消耗品費

女性	所有率	消費量	価格	耐用年数	月価格
家事用耐久財					
電子・ガスレンジ	97.1%	1	10000	6	139
電気・ガス炊飯器	94.2%	1	7470	6	104
冷蔵庫	100.0%	1	28300	6	393
掃除機	87.0%	1	14000	6	194
洗濯機	98.6%	1	47800	6	664
電気ポット	92.8%	1	4500	6	63
冷暖房用機器					
電気こたつ	40.6%	1	9980	6	139
居間・寝室用家具					
シングルベッド	76.8%	1	18231	8	190
カラーボックス（ラック）	75.4%	1	912	3	25
応接・書斎用家具					
座り机（ちゃぶ台）	73.9%	1	3590	8	37
室内装飾品					
目覚まし時計	53.6%	1	2444	10	20
照明器具（天井・机等の外付け照明）	84.1%	1	3990	8	42
カーペット	76.8%	1	14158	5	236
カーテン	98.6%	1	8990	3	250
寝具類					
敷き布団	85.5%	1	4990	4	104
掛け布団	95.7%	1	3045	4	63
タオルケット	76.8%	1	2990	2	125
毛布	95.7%	1	3251	3	90
シーツ	95.7%	1	1990	2	83
まくら	97.1%	1	4990	3	139
布団カバー	92.8%	1	1990	2	83
まくらカバー	94.2%	1	399	2	17
家事雑貨					
ごはん茶碗	98.6%	2	390	2	33
どんぶり	91.3%	1	628	2	26
コーヒー・ティーカップ、マグカップ	100.0%	3	304	2	38
スープ、ケーキ、果物、グラタン等の皿合わせ	92.8%	3	1121	2	140
大きな和皿・鉢	55.1%	2	599	2	50
コップ	79.7%	2	99	2	8
スプーン	82.6%	3	299	5	15
フォーク	88.4%	2	299	5	10
水筒	87.0%	1	1314	5	22
弁当箱（ランチジャー）	85.5%	1	1017	5	17
タッパー	82.6%	5	66	5	6
なべ	95.7%	1	1097	5	18
フライパン	95.7%	1	1097	5	18
水切りかご・ざる	87.0%	1	610	4	13
ボール	94.2%	2	588	5	20
包丁・ナイフ	97.1%	1	2027	5	34
まな板	97.1%	1	547	5	9
たわし・スポンジ	97.1%	2	99	1	17
はし・菜ばし	82.6%	2	99	5	3
しゃもじ	92.8%	1	299	5	5
ふきん	79.7%	2	41	1	7
フライ返し	91.3%	1	508	5	8
物干しざお	85.5%	1	999	5	17
くずかご	84.1%	2	508	5	17
洗濯用バケツ・かご	84.1%	1	610	5	10
タオル	94.2%	10	590	1	492
バスタオル	84.1%	3	799	1	200
電球（非LED）	39.1%	4	950	3	106
LED電球	46.4%	3	690	8	22
ドライバー	69.6%	1	523	15	3
懐中電灯	49.3%	1	600	5	10
バスマット	89.9%	1	598	2	25
洗面器	89.9%	1	304	5	5
家事用消耗品					
ゴミ袋（45L・枚／月）	94.2%	3	9		27
ラップ（20m・本／月）	94.2%	0.33	162		53
ウェットティッシュ（80枚入・個／月）	76.8%	0.5	218		109
ティッシュペーパー（箱／月）	95.7%	1	57		57
トイレトペーパー（ロール／月）	98.6%	2	21		42
台所用洗剤（本／月）	97.1%	0.33	108		36
トイレ用洗剤（本／月）	91.3%	0.25	304		76
住宅・ふろ用洗剤（本／月）	94.2%	0.33	304		100
洗濯用洗剤（本・個／月）	97.1%	0.5	548		274

・被服・履物（男性）

男性		所有率	消費量	価格	耐用年数	月価格
被服履物						
	背広	84.4%	1	43890	4	914
	オーバーコート	62.5%	1	14900	4	310
	ジャケット（替上着）	78.1%	2	2980	4	124
	チノパン・ジーンズ	75.0%	3	623	4	39
	半ズボン	68.8%	3	490	2	61
	パーカー	71.9%	2	563	2	47
	ワイシャツ	81.3%	4	663	2	111
	長袖シャツ	84.4%	3	663	2	83
	半袖シャツ	75.0%	5	498	2	104
	ポロシャツ	65.6%	3	745	2	93
	セーター・カーディガン	75.0%	2	563	3	31
	シャツ（合・冬）	78.1%	4	495	1	165
	シャツ（夏）	78.2%	4	212	1	71
	Tシャツ	84.6%	3	330	2	41
	ジャージ	90.6%	2	2990	2	249
	パンツ・ブリーフ	84.4%	6	198	1	99
	靴	90.6%	2	11000	2	917
	運動靴・スニーカー	87.5%	1	2600	2	108
	靴下	93.8%	6	78	2	20
	ネクタイ	90.7%	3	995	2	124
	バンド・ベルト	90.6%	2	1495	2	125

・被服・履物（女性）

女性		所有率	消費量	価格	耐用年数	月価格
被服履物						
	フォーマルドレス	59.4%	1	21780	5	363
	ワンピース	63.8%	3	3990	4	249
	オーバーコート	63.8%	2	9800	4	408
	ジャケット	73.9%	2	6990	4	291
	スカート	53.6%	6	2990	3	498
	スラックス（ジーンズ含む）	58.0%	6	2990	4	374
	ジャンパー・ブルゾン	87.0%	2	8800	4	367
	ブラウス	89.9%	2	1990	3	111
	Tシャツ・ポロシャツ	94.2%	5	1000	2	208
	長袖・半袖シャツ	85.5%	6	2990	2	748
	セーター・カーディガン	92.8%	4	1990	2	332
	ショーツ	94.2%	7	590	1	344
	ブラジャー	95.7%	6	1990	2	498
	シャツ（肌着）	95.7%	5	990	1	413
	パジャマ（夏）	85.5%	3	2990	2	374
	パジャマ（冬）	88.4%	2	2790	2	233
	ジャージ	75.4%	2	12100	2	1008
	トレーナー・スエット	79.7%	2	1990	2	166
	スリッパ	82.6%	1	599	1	50
	サンダル	84.1%	2	2990	2	249
	靴・ブーツ	98.6%	2	2990	2	249
	運動靴・スニーカー	97.1%	2	5390	2	449
	パンティストッキング	87.0%	3	256	1	64
	ソックス	95.7%	8	230	1	153
	手袋	62.3%	1	1380	1	115
	ベルト	76.8%	2	1499	2	125

・教養娯楽用品費

	所有率	消費量	価格	耐用年数	月価格
教養娯楽用品					
テレビ	93.8%	1	26800	5	447
パソコン（ノート）	59.4%	1	100900	4	2102
USBメモリー	46.9%	1	680	2	28

・理美容品費（男性）

男性	所有率	消費量	価格	耐用年数	月価格
理美容用品					
ヘアドライヤー	78.1%	1	3280	6	46
歯ブラシ（本／月）	87.5%	0.5	188		94
カミソリ（個／月）	40.6%	1	838		838
シャンプー（本／月）	90.6%	1	711		711
ボディシャンプー（本／月）	75.0%	0.5	499		249.5
歯磨き粉（本／月）	90.6%	0.5	238		119

・理美容品費（女性）

女性	所有率	消費量	価格	耐用年数	月価格
理美容用品					
ヘアドライヤー	97.1%	1	3280	6	46
歯ブラシ（本／月）	97.1%	1	188		188
カミソリ（個／月）	62.3%	1	838		838
石けん（個／月）	34.8%	1	149		149
シャンプー（本／月）	95.7%	0.5	711		356
リンス・コンディショナー（本／月）	94.2%	0.5	713		357
ボディシャンプー（本／月）	94.2%	0.5	499		250
歯磨き粉（本／月）	94.2%	0.5	238		119
化粧水（個／月）	94.2%	0.33	699		231
口紅（本／月）	72.5%	0.33	2530		835
乳液（本／月）	84.1%	0.5	699		350
ファンデーション（個／月）	81.2%	0.33	3300		1089

・身の回り用品費（男性）

男性	所有率	消費量	価格	耐用年数	月価格
身の回り用品					
傘	93.8%	1	2200	2	92
ショッピングバッグ(エコバック)	50.0%	2	1000	5	33
財布	90.6%	1	16500	5	275
腕時計（男性用）	81.3%	1	32780	10	273
帽子	46.9%	3	990	1	248
ハンカチ	75.0%	4	290	1	97

・身の回り用品費（女性）

女性		所有率	消費量	価格	耐用年数	月価格
身の回り用品						
	傘	98.6%	2	2200	2	183
	旅行用スーツケース	81.2%	1	14900	5	248
	ショルダーバッグ（女性）	87.0%	3	1990	5	100
	ハンドバッグ	75.4%	2	3990	5	133
	ショッピングバッグ(エコバック)	91.3%	2	1000	5	33
	リュックサック・デイパック	82.6%	1	2999	5	50
	財布	98.6%	1	16500	5	275
	腕時計（女性用）	78.3%	1	18150	10	151
	ネックレス	79.7%	2	990	10	17
	イヤリング・ピアス	88.4%	5	1290	10	54
	帽子	65.2%	2	990	1	165
	ハンカチ	92.8%	5	290	1	121

2 中高年単身世帯（50 歳男女）

1) 対象となるモデルと地域

①対象モデル

大分県大分市在住で、月収 29 万円、一時金年 58 万円年収 406 万円をモデル賃金とした。具体的には、「年齢は 50 歳で、高校卒業後就職し、勤続年数が 30 年程度である労働者を想定」した。

その参考数値として、厚労省「賃金構造基本統計調査」大分県 2021 年の「毎月きまって支給する所定内給与額」（産業規模別および男女計、50-54 歳）で月 32.0 万円、賞与年 88.4 万円がある。試算モデルが単身者であること、非正規雇用である可能性もあることを踏まえて、年収を平均よりも低い 400 万円程度と想定し、月収を 1 割程度減らし 29 万円とし、賞与は年 2 ヶ月とした。

②居住地域：大分市

居住地域は、若年単身世帯と同じく、比較的家賃が安い南大分ないしは萩原あたりに住んでいることを想定した。

2) 算定の方法と結果

①食費：男性 44,870 円、女性 36,083 円

「日本人の食事摂取基準」（2020 年版）の策定検討報告書から 30～49 歳の推定エネルギー必要量は男性 2,650kcal で女性 2,000kcal となる。これらを 30 日間分のカロリーを担保する食品群の購入価格を算出する。若年単身層と同様の方法で、2019 年「家計調査」から大分県の食品群ごとの下から 20%層の消費量・価格を参考に、栄養バランスの取れた食事をする時にかかる費用を出し、朝昼のコンビニ等での弁当で摂取するカロリーや、外での会食費用の摂取カロリーを加えて 1 日摂取カロリーが獲得できる生計費を試算する。なお、朝は週 2 回月 8 回をコンビニ等で購入し、夕は週 1 回月 4 回を外食で試算することを「合意形成会議」で確認した。昼は男性も弁当を持参することもあり男性は月 5 回、女性は月 10 回弁当持参とし、残りの日（男性 15 回、女性 10 回）を購入するものとし、以上をふまえて、1 ヶ月で男性は 44,870 円、女性は 36,083 円と算出した。

②住居費：45,000 円

単身者の居住面積は国土交通省の「最低居住面水準」から 25 m²以上を算出し、大分市内でワンルーム 25～30 m²をインターネットで調査をすると下は 3 万円台から、上は 5 万円台の物件が多く紹介される。今回の生活実態調査で、中高年単身者の家賃は（N=40）、平均 43,915 円、中央値 50,000 円、下から 3 割 40,000 円であった。また、共益費（N=44）は平均 4,981 円であった。よって、これら平均値は相場と大きく乖離しておらず、共益費込みの 45,000 円を住居費とした。

③光熱・水道費：男性 9,271 円、女性 9,412 円

総務省「2019 年全国家計構造調査」の大分県、単身世帯（45-54 歳）の光熱・水道費は月 9,418 円（上下水道料込み：上下水道料 918 円）であった。都道府県については、性別数値がないため、2019 年の全国平均の光熱・水道費の男女の按分割合を算出し、2019 年から 2020 年への水道・光熱費の物価指数 0.8%減で算定した。男性では月 9,271 円、女性では同様の方法で月 9,412 円となった。

④家具・家事用品費：男性 5,422 円、女性 6,053 円

アンケート回答者の中高年単身者の手持ち財として 7 割程度が所有するか、合意形成会議で必需

品とされた家具・家事用品の月当たりの費用（減価償却費）は男性 5,422 円で、女性は 6,053 円となった。

内訳は、電子レンジなど家事用耐久財が男女とも 1,615 円、クーラーなどの冷暖房機器が男女とも 139 円、ベッドなどの居間寝室用家具が男女とも 215 円になっている。この他に、蛍光灯を含む室内装飾品が月当たり男性 844 円、女性が 802 円、布団などの寝具類が男性 703 円、女性が 886 円、家事雑貨品が男性 1,027 円、女性が 1,628 円、ラップや洗剤など家事用消耗品が男性 879 円、女性 768 円と算出した。

手持ち財調査の結果は、本節の最後に掲載している。

⑤被服および履物費

家具・家事用品と同じく所有率 7 割程度か、合意形成会議で所有するのが一般的な被服や履物の月当たりの中高年単身者層の月当たりの購入費用（減価償却費）を算出した。男性が 4,319 円、女性が 5,753 円となった。

これに加えて、クリーニング代として、合意会議の意見をふまえて、男性は年に 1 度、背広 2 着、礼服 1 着、オーバーコート 1 着を、女性はワンピース 2 着、フォーマルドレス 1 着、オーバーコート 2 着の計 5 着を自宅で洗濯できないために計上する。1 着あたり 1,100 円とし、男性の 4,400 円を月当たりになると 367 円、女性は年 5,500 円で月になると 458 円となり、被服・履物と合わせると、男性は 4,686 円、女性は 6,211 円と算出される。

⑥保健医療費

総務省「2019 年全国家計構造調査」の大分県単身世帯（45－54 歳）の保健医療費は月 9,963 円であった。都道府県については、性別数値がないため、2019 年の全国平均の保健医療費の全年齢平均で男女の按分割合を算出し、2019 年から 2020 年への保健医療費の物価指数 0.4%増で算定した。月当たり男性は 9,982 円、女性は 10,022 円となった。なお、生活実態調査では男性中高年単身では月平均 4,551 円、同女性では 3,635 円と低めの数値となっている。

⑦交通・通信費

生活実態調査において「自家用車が必要だと思う」と回答した中高年単身層は 81.8%であり、所有状況を「手持ち財調査」でみると、軽自動車は 38.6%、小型自動車以上は 44.3%であった。よって、小型自動車を所有している場合で試算を行った。7 年落ち小型自動車を購入し、税・保険料、整備費用、駐車場代、ガソリン代を計上すると月 33,805 円とした。車両価格は月 10,417 円、税・保険料が月 10,168 円、整備費用が月 2,720 円、駐車場代が月 3,000 円、ガソリン代が月 7,500 円と試算した。これは後述する大分県の 50 代子育て世代の自家用車経費と同じものを使った。

総務省「2019 年全国家計構造調査」の大分県、単身世帯（45－54 歳）の通信費は月 10,567 円であった。都道府県については、性別数値がないため、2019 年の全国平均の通信費の全年齢平均で男女の按分割合を算出し、2019 年から 2020 年への通信費の物価指数 0.3%増で算定した。男性は月 10,516 円、女性は月 10,678 円となった。

この自動車関連経費と通信費をあわせると、月当たり男性で 44,732 円、女性で 44,483 円となる。

⑧教養娯楽

教養娯楽費は、「生活実態調査」、「手持ち財調査」、および合意形成会議での意見を踏まえて、下

記の通りとした。

テレビやパソコンなどの教養娯楽用品費として月 2,686 円（手持ち財調査）、日帰り行楽費として大分県内を月 2 回、1 回 6,000 円で月 12,000 円（生活実態調査）、1 泊以上の旅行経費として九州外に年 1 回 50,000 円で月 4,167 円（生活実態調査）、映画やスポーツ鑑賞などの余暇経費として月 2 回程度で 1 回 4,000 円、月 8,000 円（合意形成会議）を計上した。また、NHK 受信料として年契約月 1,138 円にネット配信のサブスクリプション契約月 1,100 円も合意形成会議で確認して計上した。

手持ち材調査の結果は、本節の最後に掲載している。

⑨その他

その他経費には、衛生用品代や散髪代も含む理美容費として月当たり男性 3,389 円（理美容サービス月 1,100 円）、女性 7,525 円（同 5,000 円）、傘など身の回り用品費として男性 749 円、女性 2,536 円とした。

また、その他消費支出として、お小遣いは月 6,000 円（1 日 200 円）、冠婚葬祭費は年 2 回計 20,000 円で月 1667 円、お中元・お歳暮は 5,000 円を 2 回で月 833 円、お見舞い・プレゼント代は「生活実態調査」の中央値年 30,000 円とし月 2500 円、忘新年会はコロナ禍前の基準で年 2 回計 10,000 円の月 833 円、自治会の月 200 円、組合費は収入の 1%で 2,900 円を計上する。これら、その他消費支出を全て加算すると男女ともに 14,933 円となる。

その他消費支出に上述の理美容費、身の回り品を加算して、月当たり男性は 19,071 円、女性は 24,994 円と算出される。

手持ち材調査の結果は、本節の最後に掲載している。

⑩非消費支出

モデルの月収・賞与をもとに所得税，市県民税，社会保険料の支出を算定する。先に算出した若年単身者の計算式もとに計算すると、所得税は月 8,293 円，市県民税は月 14,191 円，健康保険・厚生年金・雇用保険の費用を合算すると月 52,802 円と算出され，あわせると 75,286 円にもなる。これら非消費支出は収入の 2 割弱を占めており，必要経費とはいえ，大きな負担であり，所得が低いほど可処分所得への影響は大きい。賃金はこうした非消費支出を十分支払える水準でなければならない。そうでなければ社会保険負担が貧困を惹起する逆機能が起きる。

以上の生計費を表にまとめたものが下記の表 2-1 となる。

表 2-1 大分県大分市中高年 50 歳単身者（男女）の最低生計費試算

(単位：円)

生計費結果	大分市在住	
	50歳男性単身	50歳女性単身
A 消費支出（1～10）	211,758	211,349
1 食費	44,870	36,083
2 住居費	45,000	45,000
3 光熱・水道	9,271	9,412
4 家具・家事用品	5,422	6,053
5 被服・履物	4,319	6,211
6 保健医療	9,982	10,022
7 交通・通信	44,732	44,483
8 教育・仕送り	0	0
9 教養娯楽	29,091	29,091
10 その他	19,071	24,994
B 非消費支出	75,286	75,286
C 予備費	21,200	21,100
最低生計費（税抜き）A+C	232,958	232,449
D 同上（税込み）A+B+C	308,244	307,735
同上（税込み）D×12	3,698,928	3,692,820

（注）非消費支出の算出方法は、以下の通り。

1）所得税

4 月分の給与を 290,000 円とすると、国税庁『令和 2(2020) 年分 源泉徴収税額表』より、6320 円。これにボーナスに対する分 $11843 \text{ 円} \times 2 \text{ 回} = 23686$ （月額 1973 円）を加算すると、月当たり 8293 円である。

2）住民税

①住民税の所得割額の求め方（県民税＝4%、市民税＝6%）

住民税が課税される所得金額は以下のように求める。

給与所得＝406 万円×70%－18 万円＝2662000 円

給与所得－（社会保険料控除＋基礎控除）＝2662000 円－（633634 円＋33 万円）＝1698366 円

市民税（税率 6%）は、

$1698366 \text{ 円} \times 6\% \approx 101901 \text{ 円}$

県民税（同 4%）は、

$1698366 \text{ 円} \times 4\% \approx 67934 \text{ 円}$

ここからそれぞれ調整控除額を差し引き、100 円未満を切り捨てると、

市民税は、 $101901 \text{ 円} - 3,000 \text{ 円} \approx 98,900 \text{ 円}$

県民税は、 $67934 \text{ 円} - 2,000 \text{ 円} \approx 65,900 \text{ 円}$

②住民税の均等割額の求め方

住民税の均等割額は、下表のように定められている。

住民税の均等割額は、下表のように定められている。

市民税	3,500 円
県民税	2,000 円

したがって、住民税額（年額）は、98900 円+65900 円+3,500 円+2,000 円=170300 円となり、1 か月当たりでは 14191 円となる。

3) 社会保険料

① 厚生年金保険料率=18.3%（うち労働者分=9.15%）

→標準報酬月額 290,000 円では、26535 円が本人負担分

58 万×0.0915 53070 円

① 協会けんぽ（大分県）保険料率=11.96%（うち労働者分=5.98%、介護保険料を含む）

→標準報酬月額 290,000 円では、17940 円が本人負担分

58 万×0.0598=34684 円

② 雇用保険料率（失業給付分）=0.9%（うち労働者分=0.3%）

→月収を 290,000 円とすると、870 円が本人負担分

58 万×0.003=1740 円

したがって、1 ヶ月の給与に対する社会保険料負担は、26535 円+17940 円+870 円=45345 円となり、×12 ヶ月分=544140 円となる。これにボーナス分 89494 円を加えると 633634 円となる（月あたり 52802 円）。

これら税・社会保険料を加算すると 75,286 円となる。

参照表：家庭用耐久財・家事用消耗品費

	40歳以上 60歳未満・独居(女) N=54	消費 量	価 格	使用 年 数	月 価 格	40歳以上 60歳未満・独居(男) N=34	消費 量	価 格	使用 年 数	月 価 格
電子・ガスレンジ	90.4%	1	10000	6	¥139	84.4%	1	10000	6	¥139
電気・ガス炊飯器	86.5%	1	7470	6	¥104	78.1%	1	7470	6	¥104
冷蔵庫	96.2%	1	28300	6	¥393	100.0%	1	28300	6	¥393
掃除機	98.1%	1	14000	6	¥194	84.4%	1	14000	6	¥194
洗濯機	94.2%	1	47800	6	¥664	96.9%	1	47800	6	¥664
トースター	63.5%	1	4179	6	¥58	59.4%	1	4179	6	¥58
電気ポット	46.2%	1	4500	6	¥63	56.3%	1	4500	6	¥63
家庭用耐久財・小計					¥1,615					¥1,615
電気こたつ	41.2%	1	9980	6	¥139	41.9%	1	9980	6	¥139
冷暖房機器・小計					¥139					¥139
シングルベッド	56.9%	1	18231	8	¥190	40.6%	1	18231	8	¥190
カラーボックス(ラック)	72.5%	1	912	3	¥25	59.4%	1	912	3	¥25
居間・寝室用家具・小計					¥215					¥215
目覚まし時計	55.8%	1	2444	8	¥25	59.4%	1	2444	8	¥25
照明器具(天井・机等の外付け照明)	78.8%	1	3990	8	¥42	78.1%	2	3990	8	¥83
カーペット	53.8%	1	14158	5	¥236	43.8%	1	14158	5	¥236
カーテン	92.3%	2	8990	3	¥499	90.6%	2	8990	3	¥499
室内装飾品・小計					¥802					¥844
敷き布団	86.3%	1	4990	4	¥104	90.6%	1	4990	4	¥104
掛け布団	98.0%	1	3045	4	¥63	100.0%	1	3045	4	¥63
タオルケット	78.4%	1	2990	2	¥125	78.1%	1	2990	2	¥125
毛布	92.2%	1	3251	3	¥90	90.6%	1	3251	3	¥90
シーツ	98.0%	2	1990	2	¥166	81.3%	1	1990	2	¥83
まくら	98.0%	1	4990	3	¥139	93.8%	1	4990	3	¥139
布団カバー	94.1%	2	1990	2	¥166	81.3%	1	1990	2	¥83
まくらカバー	90.2%	2	399	2	¥33	87.5%	1	399	2	¥17
寝具類・小計					¥886					¥703
ごはん茶わん	98.0%	2	390	2	¥33	87.5%	1	390	2	¥18
どんぶり	92.2%	2	628	2	¥52	84.4%	1	628	2	¥26
コーヒー・ティーカップ、マグカップ	98.0%	3	304	2	¥38	93.8%	2	304	2	¥25
スプーン、フォーク、箸、グラス等の皿合わせて	92.2%	4	1121	2	¥187	75.0%	2	1121	2	¥93
大きな和皿・鉢	70.6%	1	599	2	¥25	53.1%	0	599	2	¥0
小さな和皿・鉢	84.3%	2	149	2	¥12	62.5%	1	149	2	¥6
コップ	96.1%	3	99	2	¥12	90.6%	1	99	2	¥4
スプーン	96.1%	3	299	5	¥15	93.8%	1	299	5	¥5
フォーク	92.2%	2	299	5	¥10	84.4%	1	299	5	¥5
ナイフ	74.5%	1	250	5	¥4	78.1%	1	250	5	¥4
水筒	78.4%	1	1314	3	¥37	71.9%	1	1314	3	¥37
弁当箱(ランチジャー)	62.7%	1	1017	5	¥17	40.6%	1	1017	5	¥17
タッパー	94.1%	5	66	5	¥6	84.4%	2	66	5	¥2
なべ	98.0%	2	1097	5	¥37	81.3%	1	1097	5	¥18
フライパン	98.0%	1	1097	5	¥18	93.8%	1	1097	5	¥18
やかん	76.5%	1	2329	5	¥39	75.0%	1	2329	5	¥39
水切りかご・ざる	80.4%	1	610	4	¥13	78.1%	1	610	4	¥13
ボール	90.2%	2	588	5	¥20	68.8%	1	588	5	¥10
包丁・ナイフ	98.0%	2	2027	5	¥68	84.4%	1	2027	5	¥34
まな板	98.0%	1	547	5	¥9	90.6%	1	547	5	¥9
たわし・スポンジ	98.0%	2	99	1	¥17	93.8%	1	99	1	¥8
はし・菜ばし	96.1%	2	99	5	¥3	90.6%	2	99	5	¥3
しゃもじ	96.1%	1	299	5	¥5	84.4%	1	299	5	¥5
ふきん	90.2%	2	41	1	¥7	71.9%	1	41	1	¥3
フライ返し	96.1%	1	508	5	¥8	59.4%	1	508	5	¥8
物干しざお	94.1%	1	999	5	¥17	75.0%	1	999	5	¥17
ポリバケツ	64.7%	1	394	5	¥7	56.3%	1	394	5	¥7
くずかご	94.1%	2	508	5	¥17	81.3%	1	508	5	¥8
洗濯用バケツ・かご	94.1%	1	610	5	¥10	87.5%	1	610	5	¥10
タオル	96.1%	10	590	1	¥492	100.0%	5	590	1	¥246
バスタオル	96.1%	4	799	1	¥266	93.8%	2	799	1	¥133
電球(非LED)	56.9%	4	950	3	¥106	59.4%	4	950	3	¥106
LED電球	56.0%	3	690	8	¥22	56.3%	3	690	8	¥22
ドライバー	82.4%	1	523	15	¥3	84.4%	10	523	15	¥29
懐中電灯	76.5%	1	600	5	¥10	56.3%	1	600	5	¥10
バスマット	94.1%	1	598	2	¥25	81.3%	1	598	2	¥25
洗面器	90.2%	1	304	5	¥5	84.4%	1	304	5	¥5
家事雑貨・小計					¥1,668					¥1,027
ゴミ袋(45L・枚/月)	88.0%	3.33	9		¥30	93.8%	3	9		¥27
ラップ(20m・本/月)	98.0%	0.33	162		¥53	78.1%	0.3	162		¥53
ウエットティッシュ(80枚入・個/月)	70.0%	0.25	218		¥55	46.9%	0	218		¥0
ティッシュペーパー(箱/月)	96.0%	1	57		¥57	96.9%	1	57		¥57
トイレトペーパー(ロール/月)	100.0%	3	21		¥63	96.9%	2	21		¥42
台所用洗剤(本/月)	92.0%	0.33	108		¥36	93.8%	0.5	108		¥54
トイレ用洗剤(本/月)	92.0%	0.33	304		¥100	84.4%	0.3	304		¥100
住宅・ふろ用洗剤(本/月)	84.0%	0.33	304		¥100	71.9%	0.1	304		¥24
洗濯用洗剤(本・個/月)	94.0%	0.5	548		¥274	90.6%	1	548		¥548
家事用消耗品・小計					¥768					¥879

・被服・履物（男性）

	40歳以上 60歳未満・独居 (男) N=34	消費 量	価 格	使用 年 数	月 価 格
背広	78.1%	1	43890	4	¥914
礼服	75.0%	1	26290	5	¥438
オーバーコート	56.3%	1	14900	4	¥310
ジャケット(替上着)	71.9%	1	2980	4	¥62
チノパン・ジーンズ	78.1%	1	623	4	¥13
パーカー	75.0%	1	563	2	¥23
ワイシャツ	96.9%	3	663	2	¥83
長袖シャツ	96.9%	3	663	2	¥83
半袖シャツ	81.3%	2	498	2	¥42
ポロシャツ	78.1%	2	745	2	¥62
セーター・カーディガン	56.3%	1	563	3	¥16
シャツ(合・冬)	75.0%	1	495	1	¥41
シャツ(夏)	78.1%	1	212	1	¥18
Tシャツ	93.8%	5	330	2	¥69
ジャージ	81.3%	1	2990	2	¥125
トレーナー	71.9%	1	3229	2	¥135
パンツ・ブリーフ	93.8%	6	198	1	¥99
スリッパ	18.8%	1	599	1	¥50
サンダル	84.4%	1	3109	2	¥130
靴	96.9%	2	11000	2	¥917
長靴	43.8%	1	2990	2	¥125
運動靴・スニーカー	81.3%	1	2600	2	¥108
靴下	100.0%	6	78	2	¥20
手袋	71.9%	1	2277	1	¥190
ネクタイ	93.8%	3	995	2	¥124
バンド・ベルト	96.9%	2	1495	2	¥125
男性被服・履物小計					¥4,319

・被服・履物（女性）

	40歳以上60歳未満・独居(女) N=54	消費 量	価 格	使 用 年 数	月 価 格
フォーマルドレス	56.0%	1	21780	5	¥363
オーバーコート	84.0%	2	9800	4	¥408
ジャケット	76.0%	1	6990	4	¥146
スカート	84.0%	2	2990	3	¥166
スラックス(ジーンズ含む)	94.0%	5	2990	4	¥311
ジャンパー・ブルゾン	82.0%	2	8800	4	¥367
ブラウス	78.0%	2	1990	3	¥111
Tシャツ・ポロシャツ	96.0%	5	1000	2	¥208
長袖・半袖シャツ	90.0%	5	2990	2	¥623
セーター・カーディガン	90.0%	3	1990	3	¥166
ショーツ	96.0%	8	590	1	¥393
ブラジャー	94.0%	5	1990	2	¥415
シャツ(肌着)	84.0%	5	990	1	¥413
パジャマ(夏)	70.0%	1	2990	2	¥125
パジャマ(冬)	76.0%	1	2790	2	¥116
トレーナー・スエット	70.0%	1	1990	2	¥83
スリッパ	76.0%	1	599	2	¥25
サンダル	82.0%	1	2990	2	¥125
靴・ブーツ	92.0%	2	2990	2	¥249
長靴	58.0%	1	3190	2	¥133
運動靴・スニーカー	92.0%	2	5390	2	¥449
パンティストッキング	58.0%	1	256	1	¥21
ソックス	94.0%	6	230	2	¥58
手袋	86.0%	1	1380	1	¥115
ベルト	70.0%	1	1499	2	¥62
エプロン	70.0%	1	2480	2	¥103
女性被服・履物小計					¥5,753

・教養娯楽用品費

	40歳以上60歳未満・独居(女) N=54	消費 量	価 格	使 用 年 数	月 価 格	40歳以上60歳未満・独居(男) N=34	消費 量	価 格	使 用 年 数	月 価 格
テレビ	90.0%	1	26800	5	¥447	84.4%	1	26800	5	¥447
DVD(BD)プレイヤー	46.0%	1	8229	5	¥137	59.4%	1	8229	5	¥137
パソコン(ノート)	40.0%	1	100900	4	¥2,102	40.6%	1	100900	4	¥2,102
USBメモリー	40.0%	1	680	2	¥28	50.0%	1	680	2	¥28
教養娯楽用品費・小計					¥2,714					¥2,714

・理美容品費

	40歳以上60歳未満・独居(女) N=54	消費 量	価 格	使 用 年 数	月 価 格	40歳以上60歳未満・独居(男) N=34	消費 量	価 格	使 用 年 数	月 価 格
ヘアドライヤー	90.0%	1	3280	6	¥46	68.8%	1	3280	6	¥46
電気カミソリ	14.0%	0	6303	6	¥0	62.5%	1	6303	6	¥88
歯ブラシ(本/月)	98.0%	1	188		¥188	100.0%	1	188		¥188
カミソリ(個/月)	30.0%	0	838		¥0	65.6%	1	838		¥838
石けん(個/月)	68.0%	0.33	149		¥49	71.9%	0.3	149		¥49
シャンプー(本/月)	96.0%	0.5	711		¥356	96.9%	0.5	711		¥356
リンス・コンディショナー(本/月)	86.0%	0.5	713		¥357	59.4%	0.5	713		¥357
ボディシャンプー(本/月)	64.0%	0.5	551		¥276	65.6%	0.5	499		¥250
歯磨き粉(本/月)	96.0%	0.5	261		¥131	96.9%	0.5	238		¥119
化粧水(個/月)	96.0%	0.5	756		¥378	15.6%	0	378		¥0
乳液(本/月)	78.0%	0.33	756		¥249	15.6%	0	249		¥0
ファンデーション(個/月)	76.0%	0.14	3550		¥497	3.1%	0	3550		¥0
理美容品費・小計					¥2,525					¥2,289

・身の回り用品費

	40歳以上60歳未満・独居(女) N=54	消費 量	価 格	使 用 年 数	月 価 格	40歳以上60歳未満・独居(男) N=34	消費 量	価 格	使 用 年 数	月 価 格
傘	98.0%	2	2200	2	¥183	96.9%	1	2350	2	¥98
旅行用スーツケース	72.0%	1	14900	5	¥248	56.3%	0	14900	5	¥0
ショルダーバッグ(男性)	2.0%	0				81.3%	1	3999	5	¥67
ショルダーバッグ(女性)	78.0%	1	9245	5	¥154	3.1%	0			
ハンドバッグ	74.0%	1	10245	5	¥171	12.5%	0			
ショッピングバッグ(エコバック)	88.0%	2	1490	5	¥50	53.1%	1	1490	5	¥25
リュックサック・デイバック	56.0%	1	3700	5	¥62	43.8%	1	3700	5	¥62
財布	98.0%	1	18700	5	¥312	96.9%	1	18700	5	¥312
腕時計(男性用)	2.0%	0				65.6%	0	35640	10	¥0
腕時計(女性用)	68.0%	1	22275	10	¥186	3.1%	0			
指輪	40.0%	1	107250	10	¥894	12.5%	0			
ネックレス	66.0%	1	1990	10	¥17	9.4%	0			
イヤリング・ピアス	62.0%	1	1640	10	¥14	6.3%	0			
帽子	76.0%	1	1140	1	¥95	59.4%	1	1140	1	¥95
ハンカチ	92.0%	5	365	1	¥152	87.5%	3	365	1	¥91
身の回り用品費・小計					¥2,536					¥749

3 子育て世帯（30 代、40 代、50 代）

1）対象となる世帯モデル

①30 代世帯（30 代夫婦、小学生と幼稚園児の 4 人家族）

夫は 30 代で正規従業員として勤務、妻は 30 代で非正規勤務（夫の扶養家族）、子どもは小学生（公立）と保育園児（私立）と想定する。なお、食料費などを試算する際の子どもの年齢と性は、小学 3・4 年生女性（8～9 歳）、幼稚園児男性（3～5 歳）とした。未就学児を公立幼稚園児としたのは、大分市では、3～5 歳児の幼稚園（1 号認定）と保育園（2 号認定）の定員数は、1 号 8571 人に対し 2 号 6016 人と 1 号認定が多くなっている。また、1 号認定のうち公立が 28 施設に対し、私立が 20 施設となっていることを参考とした（「平成 29 年度第 2 回大分市子ども・子育て会議」（2018 年 1 月 31 日開催）資料より）。

②40 代世帯（40 代夫婦、中学生と小学生の 4 人家族）

夫は 40 代で正規従業員として勤務、妻は 40 代で無職ないしパートタイマーとして勤務（夫の扶養家族）、子どもは中学生（公立）と小学生（公立）と想定する。なお、食料費などを試算する際の子どもの年齢と性は、これまでに実施された調査の家族モデルと推定エネルギー必要量の年齢区分を考慮して、中学 1～3 年生男性（12～14 歳）、小学 3・4 年生女性（8～9 歳）とした。

③50 代世帯（50 代夫婦、大学生と高校生の 4 人家族）

夫は 50 代で正規従業員として勤務、妻は 50 代で無職ないしパートタイマーとして勤務（夫の扶養家族）、子どもは大学生（県内の私立大学昼間部に通う）と高校生（公立）と想定する。進学先を県内の大学としたのは、文部科学省『令和元年度学校基本調査』によると、県内高校の卒業生のうち大学進学者の 26.1%が県内大学に進学したからである。なお、食料費などを試算する際の子どもの年齢と性は、これまでに実施された調査の家族モデルと推定エネルギー必要量の年齢区分を考慮して、大学生男性（18～21 歳）、高校 1～3 年生女性（15～17 歳）とした。

2）居住地域

上記 3 つの世帯モデルの居住地域は、合意形成会議において子育ての環境が整っている意見が多かった大分市大在・高城・鶴崎近辺を想定した。

3）算定の方法と結果

①食料費

食料費については、総務省「家計調査 2019 年」（品目分類、全国、二人以上世帯の年間収入が最も低い第 I 五分位階層）の各費目の購入数量及び 100g 当たりの平均価格から、4 つの食品群の食品ごとに各構成品目の加重平均によって消費単価を計算した（表 3-1、ただし、嗜好品については、100kcal 当たりの価格で算出。消費者物価指数の変動を加味して 2020 年 2 月時点の数字）¹。

¹ 年間収入階層が高くなるほど、より高級な食材を使ったり贅沢品を食べたりするために、消費単価が高くなると思われる。食料費の最低限を、最も安価に必要な栄養を摂取できるところで決めるべきとするならば、年間収入の最も低い第 I 五分位階層により消費単価を算出することが妥当であろう。

表 3-1 4つの食品群別食品と嗜好品の消費単価
大分市第Ⅰ五分位階層（推計）

食品群	第 1 群	乳・乳製品	25.09	円
		卵	24.85	円
	第 2 群	魚介・肉	160.26	円
		豆・豆製品	20.26	円
	第 3 群	野菜・海藻	42.26	円
		いも類	27.87	円
		果物	48.36	円
	第 4 群	穀類	52.66	円
		砂糖	23.70	円
		油脂	41.93	円
嗜好品（飲料・酒類）			99.88	円

注）4つの食品群は100g当たり、嗜好品は100kcalあたりの消費単価である。表2も同じ。

次に、香川芳子監修『食品成分表2018 資料編』（女子栄養大学出版部、2018年）にもとづき、試算対象世帯モデルに対応する年齢層と性別に1日当たりと1カ月（30日）当たりの推定エネルギー必要量（カロリー）を求め（表3-2）、「4つの食品群の年齢別・性別・身体活動レベル別食品構成（1人1日当たりの重量＝g）」（香川芳子・女子栄養大学教授案）にもとづいて必要な栄養を満たすように、食料費を試算した。すなわち、年齢別・性別・食品群別の食品構成量（身体活動レベルⅡの重量）に表1の消費単価を掛けて、1日当たりの推定エネルギー必要量（「日本人の食事摂取基準」（2015年版）の参考表）の95%を摂取するためにかかる金額を計算した。

表 3-2 年齢別・性別の推定エネルギー必要量

	1日当たり必要量	30日当たり必要量
3～5歳男性	1,300 kcal	39,000 Kcal
8～9歳女性	1,700 kcal	51,000 Kcal
12～14歳男性	2,600 kcal	78,000 Kcal
15～17歳女性	2,300 kcal	69,000 Kcal
18～29歳男性	2,650 kcal	79,500 Kcal
18～29歳女性	1,950 kcal	58,500 Kcal
30～49歳男性	2,650 kcal	79,500 Kcal
30～49歳女性	2,000 kcal	60,000 Kcal
50～69歳男性	2,450 kcal	73,500 Kcal
50～69歳女性	1,900 kcal	57,000 Kcal

注）エネルギー必要量は、身体活動レベルⅡ（ふつう）の数値である。

また、各人がすべて家で食事をしているのではなく、実際には、食事の一部に外食（会食や学校給食など）が含まれているし、食べ残しもあるので、このことを考慮しなければならない。そこで、朝食・昼食・夕食について、生活実態調査の結果、それぞれどこでどのような食事の仕方をしているのかにもとづいて食料費を計算した。昼食に自宅から弁当を持参する場合は家で食事をしたものとし、外食（職場の食堂利用や弁当購入などを含む）については、コンビニ弁当を購入するものとしてエネルギー量と費用を設定した（表3-3）。また、仕事の帰りや休日のお酒や会食については、その典型的な内容とエネルギー量を設定し（表3-4）、生活実態調査の結果から、その回数と費用にもとづいて算定した。給食についても、幼稚園・小学校・中学校における給食のエネルギー量と費用を調べて計算した（表3-5）。なお、家での食事の場合、食べ残しの廃棄率を5%と想定した。こうして、最終的に1カ月（30日分）の食料費を求めた。

表 3-3 コンビニ（スーパー）弁当および各種給食等のエネルギー量と金額

	エネルギー量 (1食)	金額 (1食又は月 額)	備 考
コンビニ・ スーパー弁 当	730kcal	30～50 代男性 1食=500円	月に10日購入 (月当たり 5,000円)
幼稚園給食	500kcal	1食=280円	年間実施日数 180日
小学校給食	625kcal	1食 265円	年間実施日数 196日 (月当たり=4,759円)
中学校給食	830 kcal	1食 317円	年間実施日数 169日 (月当たり=4,464円)
大学生学食	900kcal	1食 540円	日替わり定食 年間 180日 (月当たり 8,100円)

注 1) 幼児の給食費用は、「学校給食摂取基準の策定について (報告)」学校給食における児童生徒の食事摂取基準策定に関する調査研究協力者会議、大分市子育て支援サイト naana より。

2) 小中学校給食の費用は、「令和 2 年度 大分県学校給食の現状」大分県教育委員会、「平成 31 年度 事業計画書」大分県学校給食会、大分市ホームページ等による。

表 3-4 会食（外食）の内容と 1 回のエネルギー量（夫婦と子ども）

	内容 () 内の数値は各品目のエネルギー量 (kcal)	エ ネ ル ギ ー 量 (計)
30～50 代男性 1回 4,000 円 (月に 1 回)	枝豆 (100)、刺身盛り合わせ (220)、とり天 (450)、日田やきそば (360)、ビール (中ジョッキ 3 杯: 160×3)	1,661kcal
大学生男性 1回 3,000 円 (月に 2 回)	枝豆 (100)、刺身盛り合わせ (220)、鶏から揚げ (400)、おでん (230)、ビール (中ジョッキ 2 杯: 160×2)	1,450kcal
30～50 代女性 1回 1,500 円 (月に 2 回)	ランチセット (ハンバーグステーキ、ライス、スープ、コーヒー、デザート)	1,252kcal
高校生・中学生 1回 1,000 円 (月に 1 回)	ハンバーグステーキランチ (712)、レモンティー (140)	852kcal
小学生・幼児 1回 500 円 (月に 1 回)	キッズカレープレート (600)、オレンジジュース (102)	702kcal

注 1) 頻度および 1 回当たりの費用は、生活実態調査の結果と合意形成会議での議論を踏まえて決定

表 3-5 幼児、男性、身体活動レベルⅡ、4つの栄養群別、必要な食品構成と金額

第1群			第2群		
乳・乳製品			魚介・肉		
必要量	250	g	必要量	60	g
金額	68.86	円	金額	99.02	円
卵			豆・豆製品		
必要量	30	g	必要量	60	g
金額	8.22	円	金額	11.06	円
第3群			第4群		
野菜・海藻			穀類		
必要量	240	g	必要量	190	g
金額	97.97	円	金額	96.81	円
いも類			砂糖		
必要量	50	g	必要量	5	g
金額	16.54	円	金額	1.19	円
果物			油脂		
必要量	120	g	必要量	10	g
金額	49.38	円	金額	3.73	円

(参考)：香川明夫監修『食品成分表 2020 資料編』(女子栄養大学出版部、2020 年)

(注) 厚生労働省「日本人の食事摂取基準」(2020 年版)の参考表にある推定エネルギー必要量の 95%で構成

つまり、5 歳男児の 1 日エネルギー必要量=1,300 kcal の消費単価は、表 5 の食品群の合計額=464.09 円となる。1 日エネルギー必要量の 90%(=1,170kcal)とその他の栄養必要量を満たし、それに嗜好品(エネルギー必要量の残り 10%=130kcal を満たす)を加えた金額は、下記ようになる。

	1,170	k カロリー	428.948	円
嗜好品	130	k カロリー	90.670	円
合計			519.619	円

ここから給食や会食、さらに廃棄分を考慮して、幼児男の 1 か月分の食費を算定すると、17,626 円となる。下記参照。

家での食事	30,798	kcal	12,310	円
給食	7,500	kcal	4,200	円
会食	702	kcal	500	円
廃棄分 (5%)	1,540	kcal	616	円
合計	40,540	kcal	17,626	円

表 3-6 小学生、女性、身体活動レベルⅡ、4つの栄養群別、必要な食品構成と金額

第1群			第2群		
乳・乳製品			魚介・肉		
必要量	300	g	必要量	80	g
金額	82.64	円	金額	132.03	円
卵			豆・豆製品		
必要量	55	g	必要量	80	g
金額	15.07	円	金額	14.75	円
第3群			第4群		
野菜・海藻			穀類		
必要量	300	g	必要量	240	g
金額	122.46	円	金額	122.28	円
いも類			砂糖		
必要量	60	g	必要量	10	g
金額	19.85	円	金額	2.37	円
果物			油脂		
必要量	150	g	必要量	15	g
金額	61.72	円	金額	5.60	円

つまり、9歳女児の1日エネルギー必要量=1,700 kcalの消費単価は、表6の食品群の合計額=464.09円となる。1日エネルギー必要量の90%(=1,570kcal)とその他の栄養必要量を満たし、それに嗜好品(エネルギー必要量の残り10%=130kcalを満たす)を加えた金額は、下記ようになる。

	1,530	kカロリー	548.307	円
嗜好品	170	kカロリー	118.569	円
合計			666.876	円

ここから給食や会食、さらに廃棄分を考慮して、小学生女児の1か月分の食費を算定すると、21,772円となる。下記参照。

家での食事	40,090	kcal	15,726	円
給食	10,208	kcal	4,759	円
会食	702	kcal	500	円
廃棄分(5%)	2,005	kcal	786	円
合計	53,005	kcal	21,772	円

表 3-7 30 代、女性、身体活動レベルⅡ、4 つの栄養群別、必要な食品構成と金額

第1群			第2群		
乳・乳製品			魚介・肉		
必要量	250	g	必要量	120	g
金額	68.86	円	金額	198.04	円
卵			豆・豆製品		
必要量	55	g	必要量	80	g
金額	15.07	円	金額	14.75	円
第3群			第4群		
野菜・海藻			穀類		
必要量	350	g	必要量	330	g
金額	142.87	円	金額	168.14	円
いも類			砂糖		
必要量	100	g	必要量	10	g
金額	33.09	円	金額	2.37	円
果物			油脂		
必要量	150	g	必要量	15	g
金額	61.72	円	金額	5.60	円

ここから給食や会食、さらに廃棄分を考慮して、30 代女性の 1 か月分の食費を算定すると、28,391 円となる。下記参照。

家での食事	57,496	kcal	24,182	円
会食	2,504	kcal	3,000	円
廃棄 (5%)	2,875	kcal	1,209	円
合計	62,875	kcal	28,391	円

表 3-8 30 代、男性、身体活動レベルⅡ、4 つの栄養群別、必要な食品構成と金額

第1群			第2群		
乳・乳製品			魚介・肉		
必要量	250	g	必要量	180	g
金額	68.86	円	金額	297.06	円
卵			豆・豆製品		
必要量	55	g	必要量	80	g
金額	15.07	円	金額	14.75	円
第3群			第4群		
野菜・海藻			穀類		
必要量	350	g	必要量	450	g
金額	142.87	円	金額	229.28	円
いも類			砂糖		
必要量	100	g	必要量	10	g
金額	33.09	円	金額	2.37	円
果物			油脂		
必要量	150	g	必要量	30	g
金額	61.72	円	金額	11.19	円

ここから給食や会食、さらに廃棄分を考慮して、30 歳代男性の 1 か月分の食費を算定すると、41,042 円となる。下記参照。

家での食事	70,800	kcal	26,706	円
昼食	7,300	kcal	5,000	円
会食	2,900	kcal	8,000	円
廃棄分（5%）	3,540	kcal	1,335	円
合計	84,540	kcal	41,042	円

よって、大分市在住モデル 30 代世帯の総食費は、すべて足し合わせて 108,831 円となる。

表 3-9 13 歳、男性、身体活動レベルⅡ、4 つの栄養群別、必要な食品構成と金額

第1群			第2群		
乳・乳製品			魚介・肉		
必要量	380	g	必要量	170	g
金額	104.67	円	金額	280.55	円
卵			豆・豆製品		
必要量	55	g	必要量	80	g
金額	15.07	円	金額	14.75	円
第3群			第4群		
野菜・海藻			穀類		
必要量	350	g	必要量	430	g
金額	142.87	円	金額	219.09	円
いも類			砂糖		
必要量	100	g	必要量	10	g
金額	33.09	円	金額	2.37	円
果物			油脂		
必要量	150	g	必要量	25	g
金額	61.72	円	金額	9.33	円

ここから給食や会食、さらに廃棄分を考慮して、中学生男性の 1 か月分の食費を算定すると、32,536 円となる。

家での食事	64,767 kcal	25,368 円
給食	12,381 kcal	4,900 円
会食	852 kcal	1,000 円
廃棄 (5%)	3,238 kcal	1,268 円
合計	81,238 kcal	32,536 円

40 代女性については、30 代女性と同じ。40 代男性については、30 代男性と同じ。以上で加算すると、大分市在住モデル 40 代世帯の総食費は、これらすべて足し合わせて合計で 123,741 円となる。

表 3-10 高校生、女性、身体活動レベルⅡ、4つの栄養群別、必要な食品構成と金額

第1群			第2群		
乳・乳製品			魚介・肉		
必要量	320	g	必要量	120	g
金額	88.15	円	金額	198.04	円
卵			豆・豆製品		
必要量	55	g	必要量	80	g
金額	15.07	円	金額	14.75	円
第3群			第4群		
野菜・海藻			穀類		
必要量	350	g	必要量	380	g
金額	142.87	円	金額	193.61	円
いも類			砂糖		
必要量	100	g	必要量	10	g
金額	33.09	円	金額	2.37	円
果物			油脂		
必要量	150	g	必要量	20	g
金額	61.72	円	金額	7.46	円

ここから会食や廃棄分を考慮して、高校生女性の1か月分の食費を算定すると、28,306円となる。
下記参照。

家での食事	68,148 Kcal	26,006 円
会食	852 Kcal	1,000 円
廃棄（5%）	3,407 Kcal	1,300 円
合計	72,407 Kcal	28,306 円

表 3-11 大学生、男性、身体活動レベルⅡ、4つの栄養群別、必要な食品構成と金額

第1群			第2群		
乳・乳製品			魚介・肉		
必要量	300	g	必要量	180	g
金額	82.64	円	金額	297.06	円
卵			豆・豆製品		
必要量	55	g	必要量	80	g
金額	15.07	円	金額	14.75	円
第3群			第4群		
野菜・海藻			穀類		
必要量	350	g	必要量	440	g
金額	142.87	円	金額	224.18	円
いも類			砂糖		
必要量	100	g	必要量	10	g
金額	33.09	円	金額	2.37	円
果物			油脂		
必要量	150	g	必要量	30	g
金額	61.72	円	金額	11.19	円

ここから会食や廃棄分を考慮して、大学生男性の1か月分の食費を算定すると、39,262円となる。
下記参照。

家での食事	63,298	kカロリー	24,440	円
昼食	13,500	kカロリー	8,100	円
会食	2,702	kカロリー	5,500	円
廃棄分（5%）	3,165	kカロリー	1,222	円
合計	82,665	kカロリー	39,262	円

表 3-12 50 代、女性、身体活動レベルⅡ、4 つの栄養群別、必要な食品構成と金額

第1群			第2群		
乳・乳製品			魚介・肉		
必要量	250	g	必要量	120	g
金額	68.86	円	金額	198.04	円
卵			豆・豆製品		
必要量	55	g	必要量	80	g
金額	15.07	円	金額	14.75	円
第3群			第4群		
野菜・海藻			穀類		
必要量	350	g	必要量	300	g
金額	142.87	円	金額	152.85	円
いも類			砂糖		
必要量	100	g	必要量	10	g
金額	33.09	円	金額	2.37	円
果物			油脂		
必要量	150	g	必要量	15	g
金額	61.72	円	金額	5.60	円

ここから会食や廃棄分を考慮して、50 代女性の 1 か月分の食費を算定すると、29,375 円となる。
下記参照。

家での食事	55,798 Kcal	22,738 円
会食	2,702 Kcal	5,500 円
廃棄（5%）	2,790 Kcal	1,137 円
合計	61,290 Kcal	29,375 円

表 3-13 50 代、男性、身体活動レベルⅡ、4 つの栄養群別、必要な食品構成と金額

第1群			第2群		
乳・乳製品			魚介・肉		
必要量	250	g	必要量	180	g
金額	68.86	円	金額	297.06	円
卵			豆・豆製品		
必要量	55	g	必要量	80	g
金額	15.07	円	金額	14.75	円
第3群			第4群		
野菜・海藻			穀類		
必要量	350	g	必要量	440	g
金額	142.87	円	金額	224.18	円
いも類			砂糖		
必要量	100	g	必要量	10	g
金額	33.09	円	金額	2.37	円
果物			油脂		
必要量	150	g	必要量	25	g
金額	61.72	円	金額	9.33	円

ここから昼食や会食、さらに廃棄分を考慮して、50 代男性の 1 か月分の食費を算定すると、40,515 円となる。下記参照。

家での食事	67,800 Kcal	26,204 円
昼食	7,300 Kcal	5,000 円
会食	2,900 Kcal	8,000 円
廃棄（5%）	3,390 Kcal	1,310 円
合計	81,390 Kcal	40,515 円

50 代世帯の食費は、夫婦と高校生を足し合わせた合計で 98,196 円となる。なお、大学生は県外の大学に行っているとし、ここでの食費は省いている。

②住居費

夫婦と未婚子世帯の場合、持家が大半を占めるが、その費用算出条件の多様さからこれまで試算がなされていないこと、公営賃貸住宅も少ないことから、民間借家を想定して試算した。居住面積については、国土交通省「住生活基本計画（全国計画）」（2011年3月15日閣議決定、計画期間は2010年度から2020年度）による「最低居住面積水準」にもとづき、30代家族42.5㎡超、40代家族47.5㎡超、50代家族50㎡超とした。家賃については、大分市内にある民間賃貸住宅の家賃をインターネットの「いい部屋ネット」（<https://www.eheya.net/oita/>）により調査する。なお、「築34年以下」にしたのは、建築基準法による現在の耐震基準が1981年6月1日に導入されたことを考慮したためである。

・30代世帯の住居費 合計 43,000円

大分市内40㎡～50㎡（間取り2K以上）の民間賃貸アパート・マンション（間取り2K以上で103件該当）では、家賃の最低が3.7万円、最高が6.7万円で、大半は4万円台であった。下から3割を目安として1ヶ月の家賃を4,3000円とした。更新料はないものとしている。

・40代世帯の住居費 合計 46,000円

大分市内40㎡～60㎡の民間賃貸アパート・マンション（間取り2K以上で379件該当）では、家賃の最低3.7万円、最高が8.8万円で、大半は4万円台であった。下から3割を目安にして1ヶ月の家賃を4,6000円とした。更新料はないものとしている。

・50代世帯の住居費 合計 49,500円

50㎡～60㎡の民間賃貸アパート・マンション（間取り2LDK以上で267件該当）では、家賃の最低4.0万円、最高が8.8万円で、大半は4万円～5万円台であった。下から3割を目安にして1ヶ月の家賃を49,500円とした。更新料はないものとしている。

なお、共益費（管理費）は、「その他」の「交際費・その他」に計上している。

③光熱・水道費

光熱・水道費については、総務省「2019年全国家計構造調査」（5年に1回の調査）を用い、2019年9月時点における「大分市消費者物価指数」を考慮して算定する。

30代～50代世帯モデルの場合には、「2019年全国家計構造調査」（二人以上世帯のうち勤労者世帯）より、世帯類型別・年間収入階級別の1世帯当たり1カ月間の光熱・水道費（全国）および大分県県の同じ世帯類型別1世帯当たり1カ月間の当該支出額を用いて年収別に推計した（表3-14）。

表 3-14 1 世帯当たり 1 か月間の光熱・水道費の推計（大分市）

全国（夫婦と子供のいる勤労者世帯）				
世帯の年間収入階級	平均	400 万円以上 500 万円未満（30 代世代）	500 万円以上 600 万円未満（40 代世代）	600 万円以上 700 万円未満（50 代世代）
光熱水道費（円） 子 2 人	21,265	20,148	19,775	20,398
大分県（夫婦と子供のいる勤労者世帯）				
世帯の年間収入階級	平均	400 万円以上 500 万円未満（推計）	500 万円以上 600 万円未満（推計）	600 万円以上 700 万円未満（推計）
光熱水道費（円） 子 2 人	15,647	14,825	14,551	15,009
同上物価上昇率を加えた光熱水道費（円）		14,706	14,434	14,889

注）30 代世帯モデルは 400～500 万円未満、40 代世帯モデルは 500～600 万円未満、50 代世帯モデルは 600～800 万円未満層で光熱・水道費を推計した。なお、2019 年（年平均指数=1）に比べた光熱・水道費の物価指数を 1.004 として計算した。

④家具・家事用品費

家具・家事用品、被服及び履物、教育娯楽耐久財、書籍・他の刊行物、教養娯楽用品、理美容用品、身の回り用品などは、手持ち財調査にもとづいて、原則 7 割以上の保有率の物を最低限必要な必需品と考え、それぞれの費目ごとに積み上げて算定した。7 割以上を原則とする。保有率が 7 割に達しない場合でも、当該世帯モデルで当然保有していると考えられるものは、必需品としてみなして算定している。

手持ち財の使用年数については、国税庁「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」の別表（耐用年数表）およびクリーニング事故賠償問題協議会「クリーニング事故賠償基準」（2015 年 4 月 1 日改訂、10 月 1 日施行、以下、「基準」と略記）の「平均使用年数」を参考にした。なお、「平均使用年数」は、同じ品目でも品種や用途等が異なる場合、原則として長い年数を、素材が異なる場合、「その他」の年数を用いた。

手持ち財のうち、被服・電化製品・家庭雑貨等の主な購入先について、生活実態調査に基づき想定した。これによれば、世帯類型により多少の違いは認められるが、最も多いのが、「大手スーパー・量販店」（40%～50%）。次いで「専門店」や「近くの商店街」等であった。したがって、大分市内の「大手スーパー・量販店」で2021年6月および2022年4月に価格調査を実施した。

価格調査は、各必需品についてその店の最多・標準価格について2店舗調べ、安価な方を採用した。当該品目が調査対象の店で販売されていない場合は、ネット通販等で価格を調査した。被服・履物・自転車など大人用と子ども（幼児と小学生）用で異なる品目については、子ども用品の価格を調べた。

手持ち財の数量（消費量）については、原則として、少ないほうから数えて合計3割の人が保有する数を算定基準とした²。ただし、データの30代～50代世帯の人数は、当該世帯モデルの人数（4人）

² 30 代～50 代世帯（回答者）のほとんどが「正規職員・従業員」であり、非正規従業員に比べて平均収入が高いため、手持ち財の数量も多いと思われる。このことを修正するために、「下から 3 割」の数量を算定基準とした。また、貧困率の指標の一つである相対的貧困率も等価可処分所得の中央値の半分を貧困線としており、この点からも「下から 3 割」を算定基準とすることに妥当性がある。なお、回答者の多数が非正規従業員の場合には、「下から

より少ない場合も含まれているため、この算定基準では数量が過少となることがある（たとえば、4人分の掛け布団が必要なのに3人分と算定されてしまう）。したがって、明らかに数量が過少な品目については、世帯モデルに照らして修正した。手持ち材調査の結果は、本節の最後に掲載している。

30 代世帯の家具・家事用品費	合計	20,562 円
40 代世帯の家具・家事用品費	合計	21,712 円
50 代世帯の家具・家事用品費	合計	22,572 円

⑤被服および履物費

次に、被服および履物の所有状況から、1月の必要経費を算出する。被服・履物・身の回り用品のうち、礼服・背広・オーバーコート・ジャケット・フォーマルドレス・ワンピース・靴・ブーツ・ネクタイ・財布・腕時計（大人用のみ）・イヤリング・ピアスなどの外出用品目の価格については、「人前に出て恥をかかないように」最低価格を避けて、最多・標準価格を、それ以外の品目については、最低価格を用いて試算した。なお、年1回、クリーニングに出す被服を、男性用の背広・オーバーコート、女性用のフォーマルドレス・ワンピース・オーバーコートとし、料金は1,100円とした。

また、手持ち財の品目によっては、大人用と子ども用で価格にかなり差がある。しかし、手持ち財調査では、大人用と子ども用に区別して数量を調べていないので、当該品目の数について、世帯モデルの家族構成も考慮しつつ、大人と子ども（幼児と小学生）の人数を案分比例してそれぞれの数量を求めた（整数にならない場合は、原則として、大人用の数を切り捨て、子ども用の数を切り上げた）。

結果は、30代世帯の被服・履物費は合計15,832円、40代世帯の被服・履物費は合計14,435円、50代世帯の被服・履物費は合計17,412円となった。手持ち材調査の結果は、本節の最後に掲載している。

また、この他にクリーニング代がかかる。男性は、背広2着・礼服1着・オーバーコート1着分のクリーニング代を想定した（1着＝1,100円）。1着1,100円×4/12＝月額367円となる。女性は、ワンピース2着・フォーマルドレス1着・オーバーコート2着分（1着＝1,100円）のクリーニング代を想定した。1着1,100円×5/12＝月額458円となる。

これらは各世代で大きく異なるものではないと想定し、成人男女をあわせた月825円を被服・履物費に計上する。その結果は、下記の通りとなる。

30 代世帯の被服・履物費（クリーニング代含む）	合計	16,657 円（税込）
40 代世帯の被服・履物費（同上）	合計	15,260 円（税込）
50 代世帯の被服・履物費（同上）	合計	18,237 円（税込）

「3割」でなく、たとえば、平均値や最頻値などを基準に算定すべきと考える。

⑤保険医療費

保健医療費については、今回行った生活実態調査で医療費（病院での窓口負担や医薬品の購入費、年額）を訪ねており、各年代の平均額（月額）は、30 代世帯＝4,549 円、40 代世帯＝5,989 円、50 代世帯＝7,048 円であった。ここで平均額を用いたのは、「下から 3 割」のルールを適用することによって、医療におけるナショナル・ミニマムを達成することが困難になる可能性があるからである。また手持ち財調査で体重計や救急箱などの「保健医療用品」の保有の有無・数量を尋ねており、その結果も加える。保険医療用品は、30 代世帯では 839 円、40 代世帯では 705 円、50 代世帯では 750 円となっており、その調査結果は、本節の最後に掲載している。

30 代世帯の保健医療費	合計	5,388 円
40 代世帯の保健医療費	合計	6,694 円
50 代世帯の保健医療費	合計	7,798 円

⑥交通・通信費

交通費のうち、自宅から勤務先までの費用は通勤手段によって大きな違いが生ずる。手持ち財調査では、30～50 代世帯のいずれの世代でも自家用車の所有率（軽自動車+小型自動車+普通自動車+バイクの合計）が 200%超であった（つまり、1 世帯に 2 台以上所有）。また、生活実態調査では、いずれの世代でも自家用車を「生活の必需品」とする回答が 9 割を占めていた。これらの結果をふまえて、自動車 2 台の保有を想定した。その車種としては 1 台を「小型自動車」（1,500cc クラス）とし、もう 1 台を「軽自動車」（660cc クラス）とした。なお、若年単身世帯の最低生計費試算と同様に、自動車関係費の試算に際しては、中古自動車を取得するものとし、購入時点の使用済み年数は 7 年、購入後の使用年数を 6 年（ただし、購入後 3 回目の車検直前に手放す）とした。「使用済み年数を 7 年、使用年数を 6 年」としたのは、一般社団法人自動車検査登録情報協会「車種別の平均使用年数推移表」と軽自動車検査協会「軽自動車の平均使用年数推移表」によれば、普通自動車の平均使用年数が 12.53 年（2015 年 3 月末）、軽自動車の平均使用年数が 14.03 年（2015 年）であること、自動車の場合、新車登録から初回車検の有効期間が 3 年間、2 回目以降の車検有効期間が 2 年間であることを考慮したためである。

中古自動車の取得価格については、インターネットの Web サイトで上記の条件を満たすと思われる岡山市内で購入できる車の販売価格を調べた。

自動車を購入すれば、消費税をはじめ取得税、重量税や自動車税・軽自動車税、自賠責保険料がかかるし、車検料金などの整備費用も必要となる。整備費用については、Web サイトや自動車整備工場に対する価格調査等にもとづき算定した。自動車保険（任意保険）についても、契約内容を想定して、Web サイトの調査結果にもとづき設定した。

ガソリン代については、生活実態調査によると支出者の 1 カ月支出額の分布の下から 3 割は「10,000 円」であった。よって、各年代共通で世帯の 1 カ月のガソリン代を 10,000 円と想定した。ここから、2020 年 2 月時点でのガソリン価格 142 円/ℓや自動車の燃費などを考慮して、主に夫の通勤や日帰り行楽には小型自動車を使用し（1 か月の走行距離約 580km）、それ以外に軽自動車を使用する（1 か月の走行距離約 250km）設定とした。

駐車場代については、大分市郊外ではアパート・マンションの家賃に駐車場代が含まれることも多いが、職場での駐車場代の個人負担分などが考えられるため、1 カ月あたり 3,000 円を計上している。

以下は、各年代の自動車関係費の試算内容である。

30 代世帯の自動車関係費 小計 49,679 円

i) 30 代世帯の自動車関係費

6 年間の走行距離：夫＝42,000km、妻＝18,000km（各年代共通）とした。

表 3-15 軽乗用車

費 目	金額(円)	備考	6 年間の 金 額 (円)	1 カ月当 たりの額 (円)
車両価格（車検基本料込み）	550,000		550,000	7,639
税・保険料（①～⑥）の計	105,535		358,210	4,975
① 消費税（10%、取得時）	55,000		55,000	—
② 軽自動車税（毎年）	7,200		43,200	—
③ 重量税（1 年分）	3,300	2 年分 6,600 円の 1/2	19,800	—
④ 自賠責保険料（1 年分）	12,535	2 年分 25,070 円の 1/2	75,210	—
⑤ 任意保険料（年額）	27,500		165,000	—
整備費用（⑥～⑩）の計			150,750	2,094
⑥ 車検（2 年ごと）	15,000	6 年間で 2 回	30,000	—
⑦ 上記の消費税（10%）	1,500	同上	3,000	—
⑧ 印紙代	1,400	同上	2,800	—
⑨ 部品・消耗品の交換費用	*詳細は下表を参照		104,500	—
⑩ 上記の消費税（10%）			10,450	—
駐車場代（月額）	0		—	0
ガソリン代（月額）	2,500		—	2,500
合 計				17,208

注 1) 7 年落ち（2013 年に初回登録、7 万 km 走行）の中古軽乗用車（660cc）を購入後 6 年使用する（車検直前に手放す）。

2) Web サイトで条件に合った中古車は 130 台で、価格（消費税と車検基本料金込み）の最低が 23.8 万円、最高が 128 万円、平均が 68 万円、安い方から 3 割程度の価格は約 55 万円（消費税抜き）。2020 年 6 月調査。

3) 消費税率は 10% で不変とした。

4) 任意保険の契約内容は、車両保険あり、対人賠償無制限、対物賠償無制限、免責金額＝車対車免ゼロ、搭乗者傷害＝1,000 万円で 16 等級とした。

5) 車検と印紙代については、Web サイトで調べた最低価格を採用した。2020 年 6 月調査。

表 3-16

部品・消耗品の交換費用

費 目	交換時期	部 品 代 (円)	工 賃 (円)	交 換 回 数 /6 年	6 年間の 金 額 (円)
エンジンオイル	10,000 km ごと	3,500	500	1	4,000
オイルフィルター	10,000 km ごと	1,500	1,000	1	2,500
バッテリー交換	4 年間に 1 回	6,000	1,500	2	15,000
冷却水交換	10 万 km ごと	6,000	2,000	1	8,000
スパークプラグ	5 万 km ごと	3,000	4,000	1	7,000
ヘッドライトバルブ	切れたら	2,000	1,000	1	3,000
タイヤ交換	4 万 km ごと	20,000	1,500	1	21,500
ブレーキフルード	車検時	2,000	2,500	2	9,000
フロントブレーキパッド	40,000 km ごと	7,000	7,000	1	14,000
リアブレーキシュー	40,000 km ごと	6,000	8,000	1	14,000
ワイパーブレードラバー	年 1 回	1,000	300	5	6,500
合 計					104,500

注 1) 部品・消耗品の交換費用については、整備工場 2 社に問い合わせ設定した。2020 年 6 月調査。

2) 部品交換時に 12 カ月点検を含むものとした。

3) 購入後 6 年間の走行距離を 18,000km として算定した。

表 3-17 小型自動車

費 目	金額(円)	備考	6 年間の 金 額 (円)	1 カ月当 たりの額 (円)
車両価格（車検基本料込み）	750,000		750,000	10,417
税・保険料（①～⑥）の計	181,015		636,090	8,835
① 消費税（10%、取得時）	75,000		75,000	—
② 環境性能割（2%、取得時）	15,000		15,000	—
③ 自動車税（毎年）	34,500		207,000	—
④ 重量税（1 年分）	12,300	2 年分 24,600 円の 1/2	73,800	—
⑤ 自賠責保険料（1 年分）	12,915	2 年分 25,830 円の 1/2	77,490	—
⑥ 任意保険料（年額）	31,300		187,800	—
整備費用（⑦～⑩）の計			195,850	2,720
⑦ 車検（2 年ごと）	15,000	6 年間で 2 回	30,000	—
⑧ 上記の消費税（10%）	1,500	同上	3,000	—
⑨ 印紙代	1,400	同上	2,800	—
⑩ 部品・消耗品の交換費用	*詳細は下表を参照		145,500	—
⑩ 上記の消費税（10%）			14,550	—
駐車場代（月額）	3,000		—	3,000
ガソリン代（月額）	7,500		—	7,500
合 計				32,471

注 1) 7 年落ち（2013 年に初回登録）の中古小型乗用車（1500cc）を購入後 6 年使用する（車検直前に手放す）。

2) その他は、軽自動車と同様。

表 3-18

部品・消耗品の交換費用

費 目	交換時期	部 品 代 (円)	工 賃 (円)	交換回数 /6 年	6 年間の 金 額 (円)
エンジンオイル	10,000 km ごと	3,500	500	4	16,000
オイルフィルター	10,000 km ごと	1,500	1,000	4	10,000
バッテリー交換	4 年間に 1 回	6,000	1,500	2	15,000
冷却水交換	10 万 km ごと	6,000	2,000	1	8,000
スパークプラグ	5 万 km ごと	3,000	4,000	1	7,000
ヘッドライトバルブ	切れたら	2,000	1,000	1	3,000
タイヤ交換	4 万 km ごと	20,000	1,500	2	43,000
ブレーキフルード	車検時	2,000	2,500	2	9,000
フロントブレーキパッド	40,000 km ごと	7,000	7,000	1	14,000
リアブレーキシュー	40,000 km ごと	6,000	8,000	1	14,000
ワイパーブレードドラバー	年 1 回	1,000	300	5	6,500
合 計					145,500

注 1) 部品・消耗品の交換費用については、整備工場 2 社に問い合わせ設定した。2020 年 6 月調査。

2) 部品交換時に 12 カ月点検を含むものとした。

3) 購入後 6 年間の走行距離を 42,000km として算定した。

ii) 40 代世帯の自動車関係費

40 代世帯の自動車関係費 小計 48,741 円

表 3-19 軽乗用車

費 目	金額(円)	備考	6 年間の 金 額 (円)	1 カ月当 たりの額 (円)
車両価格（車検基本料込み）	550,000		550,000	7,639
税・保険料（①～⑥）の計	100,535		328,210	4,558
① 消費税（10%、取得時）	55,000		55,000	—
② 軽自動車税（毎年）	7,200		43,200	—
③ 重量税（1 年分）	3,300	2 年分 6,600 円の 1/2	19,800	—
④ 自賠責保険料（1 年分）	12,535	2 年分 25,070 円の 1/2	75,210	—
⑤ 任意保険料（年額）	22,500		135,000	—
整備費用（⑥～⑩）の計			150,750	2,094
⑥ 車検（2 年ごと）	15,000	6 年間で 2 回	30,000	—
⑦ 上記の消費税（10%）	1,500	同上	3,000	—
⑧ 印紙代	1,400	同上	2,800	—
⑨ 部品・消耗品の交換費用	*30 代世帯軽自動車と同じ費用で計算。		104,500	—
⑩ 上記の消費税（10%）			10,450	—
駐車場代（月額）	0		—	0
ガソリン代（月額）	2,500		—	2,500
合 計				16,791

表 3-20 小型自動車

費 目	金額(円)	備考	6 年間の 金 額 (円)	1 カ月当 たりの額 (円)
車両価格（車検基本料込み）	750,000		750,000	10,417
税・保険料（①～⑥）の計	174,755		598,530	8,313
① 消費税（10%、取得時）	75,000		75,000	—
② 環境性能割（2%、取得時）	15,000		15,000	—
③ 自動車税（毎年）	34,500		207,000	—
④ 重量税（1 年分）	12,300	2 年分 24,600 円の 1/2	73,800	—
⑤ 自賠責保険料（1 年分）	12,915	2 年分 25,830 円の 1/2	77,490	—
⑥ 任意保険料（年額）	25,040		150,240	—
整備費用（⑦～⑩）の計			195,850	2,720
⑦ 車検（2 年ごと）	15,000	6 年間で 2 回	30,000	—
⑧ 上記の消費税（10%）	1,500	同上	3,000	—
⑨ 印紙代	1,400	同上	2,800	—
⑩ 部品・消耗品の交換費用	*40 代世帯小型自動車と同じ費用で計算		145,500	—
⑪ 上記の消費税（10%）			14,550	—
駐車場代（月額）	3,000		—	3,000
ガソリン代（月額）	7,500		—	7,500
合 計				31,950

iii) 50 代世帯の自動車関係費

50 代世帯の自動車関係費 小計 51,013 円

表 3-21 軽乗用車

費 目	金額(円)	備考	6 年間の 金 額 (円)	1 カ月当 たりの額 (円)
車両価格（車検基本料込み）	550,000		550,000	7,639
税・保険料（①～⑥）の計	105,535		358,210	4,975
① 消費税（10%、取得時）	55,000		55,000	—
② 軽自動車税（毎年）	7,200		43,200	—
③ 重量税（1 年分）	3,300	2 年分 6,600 円の 1/2	19,800	—
④ 自賠責保険料（1 年分）	12,535	2 年分 25,070 円の 1/2	75,210	—
⑤ 任意保険料（年額）	27,500		165,000	—
整備費用（⑥～⑩）の計			150,750	2,094
⑥ 車検（2 年ごと）	15,000	6 年間で 2 回	30,000	—
⑦ 上記の消費税（10%）	1,500	同上	3,000	—
⑧ 印紙代	1,400	同上	2,800	—
⑨ 部品・消耗品の交換費用	*30 代世帯軽自動車と同じ費用で計算。		104,500	—
⑩ 上記の消費税（10%）			10,450	—
駐車場代（月額）	0		—	0
ガソリン代（月額）	2,500		—	2,500
合 計				17,208

表 3-22 小型自動車

費 目	金額(円)	備考	6 年間の 金 額 (円)	1 カ月当 たりの額 (円)
車両価格（車検基本料込み）	750,000		750,000	10,417
税・保険料（①～⑥）の計	197,015		732,090	10,168
① 消費税（10%、取得時）	75,000		75,000	—
② 環境性能割（2%、取得時）	15,000		15,000	—
③ 自動車税（毎年）	34,500		207,000	—
④ 重量税（1 年分）	12,300	2 年分 24,600 円の 1/2	73,800	—
⑤ 自賠責保険料（1 年分）	12,915	2 年分 25,830 円の 1/2	77,490	—
⑥ 任意保険料（年額）	47,300		283,800	—
整備費用（⑥～⑩）の計			195,850	2,720
⑦ 車検（2 年ごと）	15,000	6 年間で 2 回	30,000	—
⑧ 上記の消費税（10%）	1,500	同上	3,000	—
⑨ 印紙代	1,400	同上	2,800	—
⑩ 部品・消耗品の交換費用	*40 代世帯小型自動車と同じ費用		145,500	—
⑪ 上記の消費税（10%）			14,550	—
駐車場代（月額）	3,000		—	3,000
ガソリン代（月額）	7,500		—	7,500
合 計				33,805

注 1) 7 年落ち（2013 年に初回登録）の中古小型乗用車（1500cc）を購入後 6 年使用する（車検直前に手放す）。

2) 大学生の子どもも乗ることを想定した。その他は、軽自動車と同様。

次に、通学にかかる費用については、義務教育までは徒歩や自転車で通学しているものとした。このために交通用具費として、生活実態調査をふまえて計上した。各世代共通で月 1,789 円としている（本節末に資料を提示）。

また、高校生については、電車を利用し定期代として 3 ヶ月定期 15,000 円で 1 か月当たり 5,000 円を、大学生については、県外の私立大学を想定しており、仕送りのなかに計上するため、ここでは参入しない。

30 代世帯の交通費 小計 49,679 円+1,789 円=51,468 円
 40 代世帯の交通費 小計 48,741 円+1,789 円=50,530 円
 50 代世帯の交通費 小計 51,013 円+5,000 円+1,789 円=58,634 円

通信費については、③光熱・水道費と同様に、総務省「2019 年全国家計構造調査」（5 年に 1 回の調査）を用い、2019 年 9 月時点における「大分県消費物価指数」を考慮して算定する。

30 代～50 代世帯モデルの場合には、「2019 年全国家計構造調査」（二人以上世帯のうち勤労者世帯）より、世帯類型別・年間収入階級別の 1 世帯当たり 1 カ月間の通信費（全国）および大分県県の同じ世帯類型別 1 世帯当たり 1 カ月間の当該支出額を用いて年収別に推計した（表 3-23）。

表 3-23 年収別通信費

全国（夫婦と子供のいる勤労者世帯）				
世帯の年間収入階級	平均	400 万円以上 500 万円未満（30 代世代）	500 万円以上 600 万円未満（40 代世代）	600 万円以上 700 万円未満（50 代世代）
通信費（円）子 2 人	17,932	16,158	16,879	17,793
大分県（夫婦と子供のいる勤労者世帯）				
世帯の年間収入階級	平均	400 万円以上 500 万円未満（推計）	500 万円以上 600 万円未満（推計）	600 万円以上 700 万円未満（50 代世代）
通信費（円）子 2 人	24,737	22,289	23,285	24,546
同上物価上昇率を加えた通信費（円）		22,356	23,354	24,619

注）世帯の年間収入階級については、前掲表 15 と同じ。通信費はスマートフォンや電話機などの機器代を含む。

30 代世帯の交通・通信費 合計 73,824 円
 40 代世帯の交通・通信費 合計 73,888 円
 50 代世帯の交通・通信費 合計 83,421 円

⑦教育費

子どもの教育は以下のように試算した。まず、小学生から高校生の教育費については、文部科学省「平成 30(2018)年度子供の学習費調査」（隔年調査）にもとづき算定する。学年（年齢）別学習費支出状況の結果から、次の条件を満たす「支出者平均額」（各経費を支出した者の平均額）を積算して求めた。

支出率（各経費を支出した者の比率）が原則 7 割以上（例外 65%超）の費目を算定する。制服を除き、対象学年層（年齢層）のうち過半数の年齢区分で支出率が原則 7 割未満（例外 65%以下）の費目は算定から外す（たとえば、3～5 歳であれば 2 つ以上の年齢区分で原則 7 割以上の支出率でなければ算定から外す。小学 3・4 年であれば両学年とも原則 7 割以上の支出率でなければ算定から外す）。制服は 1 年時にかかった費用の 3 分の 1 とした。「給食費」・「通学費」・「スポーツ・レクリエーション活動」・「教養・その他」費目は、支出率が原則 7 割以上であっても、食費や交通費あるいは教養娯楽費などで算定するので、教育費から外す。傘や雨かっぱなどの「通学用品費」・家庭内学習費の「物品費」なども、身の回り用品や家具・家事用品費などと重複する場合には、算定から外す。なお、文部科学省「子供の学習費調査」では各費目の細かな内訳の支出率や金額が不明のため、教育費の推計は概算とならざるを得ない。よって、その推計に際しては、物価指数を加味して調整せずに 2018 年度調査の費用をそのまま計上する。

表 3-24 幼稚園（公立） 月当たり＝2,750 円

	3 歳	4 歳	5 歳	1 年当たりの支出者平均額
項 目	支出率	支出率	支出率	
学習費総額				33,000
学校教育費 小計				26,000
P T A 会費	98.5	98.0	96.9	5,000
その他の学校納付金	84.8	83.9	76.6	2,000
学用品・実験実習材料費	87.8	82.3	76.4	9,000
その他	97.5	94.4	92.0	10,000
学校外活動費 小計				7,000
図書費	68.8	70.8	69.5	7,000

表 3-25 小学生（公立・中学年） 月当たり＝3,667 円

	第 3 学年	第 4 学年	1 学年当たりの支出者平均額
項 目	支出率	支出率	
学習費総額			44,000
学校教育費 計			35,000
修学旅行・遠足・見学費	77.4	78.6	2,000
学級・児童会・生徒会費	77.7	77.7	10,000
P T A 会費	99.6	99.6	3,000
その他の学校納付金	78.4	76.7	1,000
学用品・実験実習材料費	99.5	99.8	16,000
その他	83.0	79.7	3,000
学校外活動費 小計			9,000
図書費	75.8	73.9	9,000

表 3-26 中学生（公立） 月当たり＝35,583 円

	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	1 学年当たりの 支出者平均額
項 目	支出率	支出率	支出率	
学習費総額				427,000
学校教育費 小計				135,000
修学旅行・遠足・見学費	75.6	83.3	84.5	31,000
学級・児童会・生徒会費	82.7	82.1	82.7	8,000
P T A 会費	100.0	100.0	100.0	4,000
その他の学校納付金	86.6	86.9	85.9	7,000
学用品・実験実習材料費	99.6	98.9	95.8	20,000
教科外活動費	90.1	86.0	75.7	34,000
制服	95.0	37.9	39.0	26,000
その他	78.7	57.4	65.9	5,000
学校外活動費 小計				292,000
図書費	63.6	66.4	78.8	11,000
学習塾費	58.7	68.7	79.8	281,000

表 3-27 高校生（公立） 月当たり＝18,083 円

	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	1 学年当たりの 支出者平均額
項 目	支出率	支出率	支出率	
学校教育費 計				217,000
修学旅行・遠足・見学費	93.4	94.2	95.8	27,000
学級・児童会・生徒会費	72.1	97.0	56.1	39,000
P T A 会費	97.5	97.5	97.7	21,000
その他の学校納付金	99.5	99.5	99.5	7,000
教科書費・教科書以外の図書費	100.0	98.6	99.0	28,000
学用品・実験実習材料費	97.3	87.1	84.7	25,000
教科外活動費	100.0	95.0	90.4	19,000
制服	83.1	80.8	66.6	51,000

大学生の教育費は、日本学生支援機構『令和 2(2020)年度学生生活調査』（隔年調査）を用いる。自宅から私立大学の昼間部に通う大学生では、授業料 1,073,500 円+その他学校納付金 162,500 円+修学費 45,700 円+課外活動費 23,300 円+通学費 17,700 円＝1,322,700 円（年額）で、月当たり 110,225 円。ただし、この調査では、入学金（料）が除外されている。したがって、文部科学省「令和元年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金について」による私立大学入学金の平均額＝248,813 円（入学定員による加重平均）を加算し（月当たり 5,183 円）、小計 115,408 円。

さらに、大学生の長男の生計費については、日本学生支援機構の「令和2年度学生生活調査結果」および全国大学生生活協同組合連合会の「2020 年度保護者に聞く新入生調査」を参考にして、仕送り費を算出した。私立大学に通う下宿生の年間の平均生活費は1,091,600円（内訳：食費＝267,400円、住居・光熱費＝483,000円、保健衛生費＝43,100円、娯楽・嗜好費＝135,700円、その他日常費＝162,400円）であった。これを月当たりになると90,967円となる。このほかに、入学時の冷蔵庫、洗濯機、テレビ、掃除機等の生活用品を購入する費用として、平均288,100円かかっている。これらの耐用年数を平均6年間と考えて、月当たり4,001円を計上する。

県外の私大に通わせる場合は、授業料・通学費115,408円、仕送り90,967円、生活用品4,001円をすべて足し合わせると210,376円にもなる。

30代世帯の教育費（幼稚園・小学生） 合計 6,417円

40代世帯の教育費（中学生・高校生） 合計 39,250円

50代世帯の教育費（高校生・大学生） 合計 228,459円

⑧教養娯楽費

教養娯楽費として、教育娯楽耐久財、教養娯楽用品、教養娯楽サービスなどの費用、NHK受信料、インターネット接続料を計上する。

教育娯楽耐久財、書籍・他の刊行物、教養娯楽用品の費用、教養娯楽サービス費については、生活実態調査の結果をふまえ、合意形成会議での検討を経て、日帰り行楽の回数と費用、1泊以上の旅行の回数と費用、休日（余暇）の過ごし方にもとづいて算定する。50代世帯については日刊新聞を購読することを想定し、朝刊価格＝1ヵ月3,400円で試算を行った。

NHK受信料は、月額1,225円（地上契約・2ヵ月払い）、インターネット接続料は、月額2,420円とした。

・30代世帯の教養娯楽費 合計＝35,538円

まず、30代世帯について教養娯楽耐久財は手持ち財調査（本節末に資料を提示）より、月6,560円となった。

この他に、日帰り行楽が月に1回で、費用は10,000円、1泊以上の旅行が年に1回で、費用が1回当たり100,000円（月当たり8,333円）、これとは別に、「映画鑑賞・演劇鑑賞・スポーツ鑑賞・美術鑑賞」に一定の回答があることを考慮して、1ヵ月に1回は、いずれかの活動を行っている想定し、1回あたりの費用は（2,000円×3人）＋（1,000円×幼児1人）＝7,000円を計上する。さらに、NHK受信料とインターネット接続料を加えると、6,560円＋10,000円＋8,333円＋7,000円＋1,225円＋2,420円＝35,538円となる。

・40代世帯の教養娯楽費 合計＝30,705円

40代世帯について教養娯楽耐久財は手持ち財調査（本節末に資料を提示）より、月6,560円となった。

この他に、日帰り行楽が2ヵ月に1回で、費用は5,000円（月当たり2,500円）、1泊以上の旅行が年に2回で、費用が60,000円×2回＝120,000円（月当たり10,000円）、これとは別に、「映画鑑賞・演劇鑑賞・スポーツ鑑賞・美術鑑賞」に一定の回答があることを考慮して、月に1回は、いずれかの活動を行っている想定し、1人2,000円×4人＝8,000円を計上する。さらに、NHK受信料とインターネット接続料を加えると、6,560円＋2,500円＋10,000円＋8,000円＋1,225円＋2,420円＝30,705円となる。

円となる。

・50代世帯の教養娯楽費 合計=32,319円

まず、50代世帯について教養娯楽耐久財は手持ち財調査（本節末に資料を提示）より、月6,408円となった。

この他に、日帰り行楽2か月に1回で、費用は5,000円（月当たり2,500円）、1泊以上の旅行が年に1回で、費用が1回当たり100,000円（月当たり8,333円）、これとは別に、「映画鑑賞・演劇鑑賞・スポーツ鑑賞・美術鑑賞」に一定の回答があることを考慮して、月に1回は、いずれかの活動を行っている想定し、1人2,000円×4人=8,000円を計上する。さらに、日刊新聞の購読料、NHK受信料とインターネット接続料を加えると、6,408円+2,500円+8,333円+8,000円+3,400円+1,260円+2,420円=32,319円

⑨その他の消費支出

その他の消費支出として、理美容用品と理美容サービス費、身の回り用品費、交際費・その他、自由裁量費を計上する。

・理美容用品費

ヘアドライヤー・歯ブラシ・石鹸・化粧品などの理美容用品費については、手持ち財調査（本節末に資料を提示）より算定した。

30代世帯の理美容用品費 小計 5,570円

40代世帯の理美容用品費 小計 5,678円

50代世帯の理美容用品費 小計 5,554円

・理美容サービス費

理髪料など理美容サービス費については、合意形成会議を経て、以下のように利用頻度と価格を算定した。

《男性》

*30代以上：2か月に1回の利用、1回3,600円（月当たり1,800円）

*中学生：2か月に1回の利用、1回3,600円（月当たり1,800円）

*幼児：2か月に1回の利用、1回1,200円（月当たり600円）

《女性》

*30代以上：3か月に1回の利用、1回15,000円（月当たり5,000円）

*高校生：2か月に1回の利用、1回3,600円（月当たり1,800円）

*小学生：2か月に1回の利用、1回1,200円（月当たり600円）

30代世帯の理美容サービス費 小計 8,000円

40代世帯の理美容サービス費 小計 10,400円

50代世帯の理美容サービス費 小計 8,600円（大学生は仕送りに含むため除外）

・身の回り用品費

傘・かばん・財布・時計などの身の回り用品費については、手持ち財調査（本節末に資料を提示）より算定した。

30 代世帯の身の回り用品費 小計 5,056 円 (税込)

40 代世帯の身の回り用品費 小計 5,185 円 (税込)

50 代世帯の身の回り用品費 小計 5,566 円 (税込)

・交際費・その他

交際費・その他経費については、生活実態調査結果をふまえ、合意形成会議を経て、各世帯で以下のように算定した。

a) 親戚や友人の結婚式・お葬式・法事への参加回数と費用

30 代世帯 (結婚式と葬式・法事 1 年に 1 回ずつ、計 3.5 万円、月当たり 2,917 円)

40 代世帯 (結婚式と葬式・法事 1 年に 1 回ずつ、計 4 万円、月当たり 3,333 円)

50 代世帯 (結婚式と葬式・法事 1 年に 1 回ずつであるが親戚関係のため、計 6 万円、月当たり 5,000 円)

b) 親戚やお世話になった人などへのお中元やお歳暮の軒数と費用

生活実態調査結果によれば、30 代～50 代世帯モデルいずれも配偶者の実家など数軒に贈る (計年間 1 万円、月当たり 833 円)

c) 家族・親戚などへの見舞金・せん別・お年玉・誕生日・クリスマス・バレンタイン等の費用

生活実態調査の結果をもとに合意形成会議での話し合いにより、30 代～50 代世帯モデルいずれも 48000 円 (月当たり 4,000 円)。

d) 忘年会や新年会、歓送迎会への参加回数と費用

忘・新年会や歓送迎会 (昨年) について、生活実態調査結果をみると、30 代～50 代世帯モデルは、年間 3 回、1 回 5,000 円の費用で計 1.5 万円、月当たり 1,250 円。

e) 共益費 (管理費)

生活実態調査結果並びに大分市の賃貸住宅情報誌による調査結果から算定。30 代～50 代世帯モデル共通で、共益費 (管理費) を月額 2,000 円とした。

f) 労働組合費

労働組合の加入費も参入すると、所得 (所定内給与：月額) の 1%を目安に、30 代世帯モデル 2,500 円、40 代世帯モデル 3,100 円、50 代世帯モデル 3,300 円と算定した。配偶者もパート等の労働組合に加入とし、各年代共通で 1,000 円とした。

g) 町内会・自治会費については、その会費は聞き取り調査から、月当たり 400 円を計上した。

h) その他会費として、夫婦それぞれ年間 3,000 円で計 6,000 円、月当たり 500 円。

30 代世帯の交際費その他 小計 15,400 円

40 代世帯の交際費その他 小計 16,416 円

50 代世帯の交際費その他 小計 18,283 円

・自由裁量費

自由裁量費（＝こづかい）については、これまでの算定では計上しなかった教養娯楽費としての切り花代やオーディオ関係など、また、飲食費としての喫茶店でのコーヒー代などを、こづかいとして一括してここに計上した。これは、手持ち財調査では保有率が分散していて 7 割には満たないが、個々人の趣味など、価値の多様性を考慮したものとして、夫婦それぞれは月 6,000 円を計上した。また、子どもについては、金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世論調査〔二人以上世帯調査〕（平成 30(2018)年）」（各種分類別データ）の親の年代別こづかい平均額を参考に、大学生は月 6,000 円、高校生は月 5,000 円、中学生は月 2,500 円、小学生は月 1,000 円、幼児は月 500 円とする。

30 代世帯の自由裁量費 小計 13,500 円

40 代世帯の自由裁量費 小計 15,500 円

50 代世帯の自由裁量費 小計 23,000 円

よって、各世帯モデルのその他の消費支出の合計は、

30 代世帯のその他の消費支出 合計 47,526 円

40 代世帯のその他の消費支出 合計 53,179 円

50 代世帯のその他の消費支出 合計 61,003 円

⑩非常費支出

各世帯モデルの非消費支出（社会保険料と税額）を算出するには、それぞれの夫の収入がわかっていなければならない（夫以外の家族構成員は、夫の扶養家族）。年代別の夫（正規従業員）の収入は、2019 年の厚生労働省『賃金構造基本統計調査』（大分県分）より、企業規模別（10～99 人、100～999 人）、年齢別（30～34 歳、35～39 歳、40～44 歳、45～49 歳、50～54 歳、55～59 歳）の一般労働者（男）の所定内給与額（2019 年 6 月分）と賞与その他特別給与額（原則 2019 年 1 月～12 月分）の単純平均を用いる。各年代別の夫の月収・一時金・年収（2018 年の収入＝月収×12 カ月＋一時金）は、以下の通りである。

30 代夫：月収（所定内給与額）25 万円、一時金（賞与その他特別給与額）63 万円、年収 363 万円

40 代夫：月収（所定内給与額）31 万円、一時金（賞与その他特別給与額）79 万円、年収 451 万円

50 代夫：月収（所定内給与額）33 万円、一時金（賞与その他特別給与額）81 万円、年収 477 万円

以上の夫の収入をもとに、社会保険料と税額を算定するすると、30 代世帯モデルは、月あたり 59,596 円、40 代世帯モデルで、月当たり 79,430 円、50 代世帯モデルで、月当たり 98,265 円（大学生の国民年金保険料を含む）となる。

⑪予備費

予備費として、消費支出の 1 割を計上する。これは、個々人の多様性を考慮したものである。たとえば、エネルギー消費量は、同じ年齢層でも身長や体重によって違いが生じるし、消費支出の内容や額も、心身の健康状態や障害の有無・程度により異なるからである。

表 3-28 2021 年大分県最低生計費調査 子育て世帯のまとめ（大分県大分市在住モデル）

(単位：円)

生計費結果	大分市在住		
	30代夫婦と子ども2人 (幼児・小学生)	40代夫婦と子ども2人 (中学生・小学生)	50代夫婦と子ども2人 (大学生・高校生)
居住面積（賃貸）	40－50㎡	40－60㎡	50－60㎡
A 消費支出（1～10）	372,649	425,059	615,774
1食費	108,831	123,741	98,196
2住居費	43,000	46,000	49,500
3光熱・水道	14,706	14,434	14,889
4家具・家事用品	20,562	21,712	22,752
5被服・履物	16,857	15,460	18,437
6保健医療	5,388	6,694	7,798
7交通・通信	73,824	73,884	82,421
8教育・仕送り	6,417	39,250	228,459
9教養娯楽	35,538	30,705	32,319
10その他	47,526	53,179	61,003
B 非消費支出	59,596	79,430	98,265
C 予備費	37,300	42,500	61,600
最低生計費（税抜き）A＋C	409,949	467,559	677,374
D 同上（税込み）A＋B＋C	469,545	546,989	775,639
同上（税込み）D×12	5,634,540	6,563,868	9,307,668

（注）非消費支出の算出方法は、以下の通り。

i）社会保険料（年金・健康・雇用保険料）

夫以外の家族構成員は夫の扶養家族であるから、社会保険料負担が生じるのは夫と 20 歳以上の大学生（国民年金保険）である。

① 年金（厚生年金と国民年金）保険料

厚生年金保険料額表（2020 年 9 月分適用）より、厚生年金保険料率は 18.3%（うち労働者負担分＝9.15%）で、各世帯モデルの標準報酬月額と労働者負担分の保険料（年）は下記の通りである。なお、一時金（ボーナス）の保険料は、一時金額（1,000 円未満切り捨て）に保険料率を乗じた額である。また、大学生の場合、20 歳になると、国民年金保険料の納入義務が生じる（ここでは、学生納付特例制度を利用しないものとし、大学生は 20 歳または 21 歳とする）。2020 年度国民年金保険料は月額 16,540 円である。

30 代世帯モデル：標準報酬月額 250,000 円、保険料（年）＝23,790 円×12 カ月＝285,480 円、一時金分の保険料（年）57,645 円、計 343,125 円

40 代世帯モデル：標準報酬月額 310,000 円、保険料（年）＝29,280 円×12 カ月＝351,360 円、一時金分の保険料（年）72,385 円、計 423,645 円

50 代世帯モデル：標準報酬月額 330,000 円、保険料（年）31,110 円×12 カ月＝373,320 円、一時金分の保険料（年）74,115 円、大学生の国民年金保険料（年）＝16,540 円×12 カ月＝198,480 円、計 645,915 円

② 健康保険料

全国健康保険協会（協会けんぽ）の健康保険料額表（大分県、2020 年 9 月分～適用）により、健康保険料率は 10.17%（うち労働者負担分=5.085%）と 11.96%（40 歳以上 65 歳未満は介護保険料を含む、労働者負担分=5.98%）で、各世帯モデルの標準報酬月額と労働者負担分の保険料（年）は下記の通りである。なお、一時金（ボーナス）の保険料は、一時金額（1,000 円未満切り捨て）に保険料率を乗じた額である。

30 代世帯モデル：標準報酬月額 250,000 円、保険料（年）=13,221 円×12 カ月=158,652 円、一時金分の保険料（年）32,035 円、計 190,687 円

40 代世帯モデル：標準報酬月額 310,000 円、保険料（年）=19,136 円×12 カ月=229,632 円、一時金分の保険料（年）47,242 円、計 276,874 円

50 代世帯モデル：標準報酬月額 330,000 円、保険料（年）=20,332 円×12 カ月=243,984 円、一時金分の保険料（年）48,438 円、計 292,422 円

③ 雇用保険料

2019 年度の雇用保険料率は 0.9%（うち労働者負担分=0.3%）で、保険料は賃金総額（年収）に保険料率を乗じた額である。よって、各世帯モデルの労働者負担分の保険料は下記の通りである。

30 代世帯モデル：保険料（年）10,890 円、

40 代世帯モデル：保険料（年）13,530 円、

50 代世帯モデル：保険料（年）14,310 円、

④ 社会保険料の合計額は、下記の通りとなる。

30 代世帯モデル：年 544,702 円（月あたり 45,391 円）

40 代世帯モデル：年 714,049 円（月あたり 58,504 円）

50 代世帯モデル：年 1,081,647 円（月あたり 90,137 円）（大学生の国民年金保険料を含む）

ii）税（所得税・住民税）額

夫以外の世帯構成員は夫の扶養家族であるから、税（所得税と住民税）負担が生じるのは夫のみである。

① 所得税

所得税額は、夫の年収（給与）から給与所得金額を計算し、そこから社会保険料控除・配偶者控除（38 万円）・扶養控除（38 万円、特定扶養親族は 63 万円）・基礎控除（48 万円）を差し引いた金額に税率（5%～45%）を乗じた額から一定額（0 円～4,796,000 円）を差し引いた額である。ここでは、社会保険料控除・配偶者控除・扶養控除・基礎控除以外に所得控除はなく、寄附金等の税額控除もないものとし、妻・高校生・大学生は、それぞれ控除対象配偶者・控除対象扶養親族（16 歳以上）・特定扶養親族（19 歳以上 23 歳未満）に該当するものとする。なお、復興特別所得税額として、基準所得額（ここでは所得税額）に 2.1%の税率を乗じた額が加算される（復興特別所得税は、2013 年 1 月 1 日～2037 年 12 月 31 日の 25 年間課税、税額の計算方法は、国税庁の Web サイトによる）。各世帯モデルの所得税額と復興特別所得税額は下記の通りである。

30 代世帯モデル：夫の年収 3,630,000 円の場合、給与所得金額は 2,464,000 円、所得控除額=社会保険料（544,702 円）+ 配偶者控除（380,000 円）+ 基礎控除（480,000 円）=1,404,702 円、

給与所得金額 2,464,000 円－所得控除額 1,404,702 円=1,059,298 円≒1,059,000 円

所得税額=1,059,000 円×税率 0.05=52,950 円

復興特別所得税額=所得税額 52,950 円×0.021≒1,111 円、計 54,061 円

40 代世帯モデル：夫の年収 4,510,000 円の場合、給与所得金額は 3,168,000 円、所得控除額＝社会保険料（714,049 円）＋配偶者控除（380,000 円）＋基礎控除（480,000 円）＝1,574,049 円、
給与所得金額 3,168,000 円－所得控除額 1,574,049 円＝1,593,000 円
所得税額＝1,593,000 円×税率 0.05＝79,650 円
復興特別所得税額＝所得税額 79,650 円×0.021＝1,672 円、計 81,322 円

50 代世帯モデル：夫の年収 4,770,000 円の場合、給与所得金額は 3,376,000 円、所得控除額＝社会保険料（1,081,647 円）＋配偶者控除（380,000 円）＋扶養控除（380,000 円＋630,000 円）＋基礎控除（480,000 円）＝2,951,647 円、
給与所得金額 3,376,000 円－所得控除額 2,951,647 円＝424,000 円
所得税額＝424,000 円×税率 0.05＝21,200 円
復興特別所得税額＝所得税額 21,200 円×0.021＝445 円、計 21,645 円

② 住民税（市民税と県民税）

市民税と県民税は、均等割と所得割からなる。均等割額は所得にかかわらず一定額が課税され、大分市の市民税額は 3,500 円、大分県の県民税額は 2,000 円である（合計 5,500 円）。

所得割額（2020 年度）は、前年中（2019 年 1 月～12 月）の夫の年収（給与）から給与所得金額を計算し、そこから社会保険料控除・配偶者控除（33 万円）・扶養控除（33 万円、特定扶養親族は 45 万円）・基礎控除（43 万円）を差し引いた金額に税率 10%（市民税 8%、県民税 2%）を乗じた額から調整控除額を差し引いた額である。所得税額の算定と同様に、上記以外に所得控除はなく、寄附金等の税額控除もないものとし、妻・高校生・大学生は、それぞれ控除対象配偶者・控除対象扶養親族（16 歳以上）・特定扶養親族（19 歳以上 23 歳未満）に該当するものとする。なお、夫の前年の収入は、2019 年と同額として算定する（税額の計算方法は、大分市の Web サイトによる）。各世帯モデルの住民税額は下記の通りである。

30 代世帯モデル：夫の年収 3,630,000 円の場合、給与所得金額は 2,464,000 円、所得控除額＝社会保険料（544,702 円）＋配偶者控除（330,000 円）＋基礎控除（430,000 円）＝1,304,702 円、
給与所得金額 2,464,000 円－所得控除額 1,304,702 円＝1,159,298 円
課税所得金額（1,159,298 円）が 200 万円以下であり、所得税と市区民税・県民税の人的控除の差額が 86 万円－76 万円＝10 万円であるので、調整控除額は市民税で 10 万円×0.04＝4,000 円、県民税で 10 万円×0.01＝1,000 円となる。
住民税の所得割額＝1,159,298 円×0.1－調整控除額（4,000 円＋1,000 円）＝110,929.8 円＝110,900 円
均等割額（市民税＋県民税）5,500 円、計 116,400 円

40 代世帯モデル：夫の年収 4,510,000 円の場合、給与所得金額は 3,168,000 円、所得控除額＝社会保険料（714,049 円）＋配偶者控除（330,000 円）＋基礎控除（430,000 円）＝1,474,049 円、
給与所得金額 3,168,000 円－所得控除額 1,474,049 円＝1,693,951 円＝1,693,000 円
課税所得金額（1,693,000 円）が 200 万円以下であり、所得税と市区民税・県民税の人的控除の差額が 86 万円－76 万円＝10 万円であるので、調整控除額は市民税で 10 万円×0.04＝4,000 円、県民税で 10 万円×0.01＝1,000 円となる。
よって、住民税の所得割額＝1,693,000 円×0.1－調整控除額（4,000 円＋1,000 円）＝164,300 円
均等割額（市区民税＋県民税）5,500 円、計 169,800 円

50 代世帯モデル：夫の年収 4,770,000 円の場合、給与所得金額は 3,376,000 円、所得控除額＝社会保険料（1,081,647

円) + 配偶者控除 (330,000 円) + 扶養控除 (330,000 円 + 450,000 円) + 基礎控除 (430,000 円) = 2,621,647 円、
給与所得金額 3,376,000 円 - 所得控除額 2,621,647 円 = 754,353 円 $\approx$ 754,000 円

課税所得金額 (754,000 円) が 200 万円以下であり、所得税と市区民税・県民税の人的控除の差額が 86 万円 - 76 万円
= 10 万円であるので、調整控除額は市民税で 10 万円 $\times$ 0.04 = 4,000 円、県民税で 10 万円 $\times$ 0.01 = 1,000 円となる。

よって、住民税の所得割額 = 754,000 円 $\times$ 0.1 - 調整控除額 (4,000 円 + 1,000 円) = 70,400 円

均等割額 (市区民税 + 県民税) 5,500 円、計 75,900 円

税 (所得税と住民税) の合計額は、下記の通りとなる。

30 代世帯モデル : 年 170,461 円 (月あたり 14,205 円)

40 代世帯モデル : 年 251,122 円 (月あたり 20,926 円)

50 代世帯モデル : 年 97,545 円 (月あたり 8,128 円)

よって、税と社会保険料をあわせた非消費支出は、

30 代世帯モデル : 年 544,702 円 + 170,461 円 (月あたり 59,596 円)

40 代世帯モデル : 年 714,049 円 + 251,122 円 (月あたり 79,430 円)

50 代世帯モデル : 年 1,081,647 + 97,545 円 (月あたり 98,265 円) (大学生の国民年金保険料を含む)

参照表：家具・家事用品手持ち財

	30代夫婦 夫婦子所 有率	消費量	価格	使用年数	月価格	40代夫婦 夫婦子所 有率	消費量	価格	使用年数	月価格	50代夫婦 夫婦子所 有率	消費量	価格	使用年数	月価格
温水洗浄便座	89.9%	1	43840	6	¥808	87.5%	1	43840	6	¥808	82.5%	1	43840	6	¥808
電子・ガスレンジ	94.8%	1	18800	6	¥219	95.9%	1	18800	6	¥219	97.9%	1	18800	6	¥219
電気・ガス炊飯器	98.2%	1	19150	6	¥268	95.0%	1	19150	6	¥268	93.5%	1	19150	6	¥268
冷蔵庫	100.0%	1	254430	6	¥3,534	100.0%	1	254430	6	¥3,534	100.0%	1	254430	6	¥3,534
掃除機	100.0%	1	11390	6	¥158	99.2%	1	11390	6	¥158	97.9%	1	11390	6	¥158
洗濯機	100.0%	1	74850	6	¥1,040	99.2%	1	74850	6	¥1,040	100.0%	1	74850	6	¥1,040
ガステーブル	23.2%	1	21190	6	¥294	39.8%	1	21190	6	¥294	51.0%	1	21190	6	¥294
Hテーブル	55.4%	1	16940	6	¥221	43.1%	1	16940	6	¥221	41.7%	1	16940	6	¥221
カセットコンロ	84.3%	1	2879	6	¥40	89.9%	1	2879	6	¥40	79.2%	1	2879	6	¥40
トースター	76.8%	1	4179	6	¥58	78.9%	1	4179	6	¥58	87.5%	1	4179	6	¥58
電気アイロン	82.1%	1	3860	6	¥54	92.7%	1	3860	6	¥54	96.9%	1	3860	6	¥54
電気ポット	80.4%	1	4509	6	¥63	61.0%	1	4509	6	¥63	61.5%	1	4509	6	¥63
ホットプレート	73.2%	1	7594	6	¥105	78.9%	1	7594	6	¥105	79.2%	1	7594	6	¥105
ルームエアコン	96.4%	1	79800	6	¥1,108	95.9%	1	79800	6	¥1,108	97.9%	1	79800	6	¥1,108
電気こたつ	46.4%	1	18090	6	¥251	51.9%	1	18090	6	¥251	56.3%	1	18090	6	¥251
風呂機	91.1%	1	8539	6	¥91	92.0%	1	8539	6	¥91	99.0%	2	8539	6	¥192
加湿器	73.2%	1	4485	6	¥62	65.6%	1	4485	6	¥62	49.0%	1	4485	6	¥62
整理ダンス(作り付け除く)	57.1%	1	¥6,985	15	¥39	70.5%	1	¥6,985	15	¥39	86.5%	1	¥6,985	15	¥39
洋服ダンス(作り付け除く)	69.8%	1	¥37,850	15	¥210	57.4%	1	¥37,850	15	¥210	70.8%	1	¥37,850	15	¥210
シングルベッド	55.4%	1	23066	8	¥240	68.0%	1	23066	8	¥240	70.8%	1	23066	8	¥240
カラークラック(ラック)	76.8%	1	1078	3	¥30	86.1%	2	1078	3	¥60	83.3%	2	1078	3	¥60
ソファ	60.7%	1	79900	6	¥32	77.9%	1	79900	6	¥32	81.1%	1	79900	6	¥32
洗濯機・学習机(椅子含む)	51.5%	1	64900	15	¥361	79.5%	1	64900	15	¥361	89.5%	1	64900	15	¥361
本箱・本棚	58.9%	1	10469	15	¥58	73.0%	1	10469	15	¥58	76.9%	1	10469	15	¥58
食器戸棚	92.8%	1	26345	15	¥146	84.3%	1	26345	15	¥146	92.6%	1	26345	15	¥146
洋式食卓セット(椅子含む)	66.7%	1	77800	15	¥432	62.8%	1	77800	15	¥432	72.6%	1	77800	15	¥432
掛(柱)時計	83.3%	1	12959	8	¥135	76.2%	1	12959	8	¥135	80.0%	1	12959	8	¥135
日晷まじ時計	70.4%	1	3717	5	¥59	77.9%	1	3717	5	¥59	76.8%	1	3717	5	¥59
間接照明(天井・机等の外付け照明)	92.8%	4	5046	6	¥216	90.1%	4	5046	6	¥210	94.5%	4	5046	6	¥283
カーペット	56.6%	1	22029	5	¥367	71.1%	1	22029	5	¥367	85.3%	1	22029	5	¥367
カーテン	96.2%	4	10995	3	¥1,222	95.0%	4	10995	3	¥1,222	95.8%	5	10995	3	¥1,527
こたつ布団・カバー	50.9%	1	2788	3	¥77	48.8%	1	2788	3	¥77	62.1%	1	2788	3	¥77
花瓶	47.2%	0	979	5	¥0	53.7%	0	979	5	¥0	68.4%	1	979	5	¥16
敷き布団	92.5%	3	5485	4	¥343	100.0%	3	5485	4	¥343	98.9%	4	5485	4	¥457
掛け布団	100.0%	3	8513	4	¥345	100.0%	4	8513	4	¥459	100.0%	4	8513	4	¥459
タオルケット	94.3%	3	2985	2	¥373	89.9%	3	2985	2	¥373	91.4%	4	2985	2	¥498
毛布	100.0%	3	5616	3	¥468	100.0%	4	5616	3	¥624	98.9%	4	5616	3	¥624
シーツ	96.2%	3	1985	2	¥248	89.9%	4	1985	2	¥331	96.7%	4	1985	2	¥331
まくら	100.0%	3	4995	3	¥416	98.3%	4	4995	3	¥555	98.9%	4	4995	3	¥555
布団カバー	94.3%	3	2485	2	¥311	92.4%	4	2485	2	¥414	98.9%	4	2485	2	¥414
まくらカバー	98.1%	4	590	2	¥69	91.9%	4	590	2	¥69	97.6%	4	590	2	¥69
こはん蒸わん	98.1%	4	399	2	¥97	99.9%	4	399	2	¥97	98.9%	4	399	2	¥93
湯のみ蒸わん	74.1%	2	284	2	¥24	80.6%	4	284	2	¥47	89.0%	4	284	2	¥47
どんぶり	98.1%	3	659	2	¥82	92.7%	4	659	2	¥110	95.7%	4	659	2	¥110
コーヒー・ティーカップ、マグカップ	98.1%	5	547	2	¥114	93.5%	6	547	2	¥137	96.7%	6	547	2	¥137
吸い物(汁)わん	94.4%	4	396	2	¥60	91.1%	5	396	2	¥83	97.8%	5	396	2	¥83
スプーン、箸、箸、スプーン等の揃え	88.9%	5	1405	2	¥293	82.3%	6	1405	2	¥351	91.3%	10	1405	2	¥355
大きな和皿・鉢	92.5%	2	745	2	¥92	78.2%	2	745	2	¥92	98.0%	2	745	2	¥93
小さな和皿・鉢	95.2%	3	149	2	¥19	91.5%	5	149	2	¥31	91.3%	6	149	2	¥37
コップ	96.3%	6	145	2	¥48	89.5%	6	145	2	¥48	94.6%	10	145	2	¥60
スプーン	98.1%	6	325	5	¥32	93.5%	7	325	5	¥38	98.9%	10	325	5	¥54
フォーク	98.1%	6	325	5	¥32	91.1%	6	325	5	¥32	98.9%	6	325	5	¥32
ナイフ	83.3%	2	250	5	¥8	82.3%	3	250	5	¥13	91.3%	4	250	5	¥17
水筒	96.3%	4	1759	3	¥195	95.2%	4	1759	3	¥195	96.7%	3	1759	3	¥146
きょうろ	93.3%	1	1082	2	¥44	94.7%	1	1082	2	¥44	93.8%	1	1082	2	¥44
砂桶・塩入れ	90.7%	1	394	5	¥7	90.3%	1	394	5	¥7	93.5%	1	394	5	¥7
しょうゆ差し	74.1%	1	467	5	¥8	77.4%	1	467	5	¥8	92.4%	1	467	5	¥8
弁当箱(ランチジャー)	96.3%	3	1057	5	¥53	90.3%	3	1057	5	¥53	84.8%	2	1057	5	¥35
タッパー	94.4%	5	67	5	¥6	90.3%	20	67	5	¥22	96.7%	8	67	5	¥9
お灸(トレイ)	63.0%	1	948	5	¥16	87.7%	1	948	5	¥16	75.0%	2	948	5	¥32
なべ	98.1%	3	1544	5	¥77	93.5%	3	1544	5	¥77	99.9%	4	1544	5	¥103
フライパン	100.0%	2	1444	5	¥48	95.2%	2	1444	5	¥48	98.9%	4	1444	5	¥48
やかん	63.0%	1	2329	5	¥39	83.1%	1	2329	5	¥39	93.5%	1	2329	5	¥39
米びつ(ハイザー)	70.4%	1	4712	5	¥79	61.3%	1	4712	5	¥79	63.0%	1	4712	5	¥79
洗いおけ	37.0%	0	1002	5	¥0	67.3%	0	1002	5	¥0	67.4%	1	1002	5	¥17
水切りかご・ざる	74.1%	1	1050	4	¥22	86.3%	1	1050	4	¥22	93.5%	1	1050	4	¥22
ボール	94.4%	3	879	5	¥44	95.9%	3	879	5	¥46	98.9%	3	879	5	¥44
台所用はかり	96.7%	1	1569	5	¥25	92.3%	1	1569	5	¥25	91.6%	1	1569	5	¥46
包丁・ナイフ	96.3%	3	2112	5	¥108	95.2%	3	2112	5	¥108	98.9%	3	2112	5	¥108
まな板	96.3%	1	873	5	¥10	96.0%	1	873	5	¥10	100.0%	1	873	5	¥10
すり鉢・すりこぎ	33.3%	0	1056	5	¥0	64.0%	0	1056	5	¥0	65.5%	1	1056	5	¥18
たわし・スポンジ	94.4%	2	46	1	¥8	96.0%	2	46	1	¥8	97.8%	2	46	1	¥8
ピーラー	88.9%	1	332	5	¥6	91.1%	1	332	5	¥6	91.3%	1	332	5	¥6
おろし器	81.5%	1	254	5	¥4	87.1%	1	254	5	¥4	95.7%	1	254	5	¥4
ふきんかけ	46.3%	0	444	5	¥0	59.1%	0	444	5	¥0	70.7%	1	444	5	¥7
はし・箸ばし	90.7%	4	78	5	¥5	93.5%	4	78	5	¥5	91.3%	4	78	5	¥5
しゃもじ	94.4%	1	406	5	¥7	95.2%	2	406	5	¥14	98.9%	2	406	5	¥14
ふきん	81.5%	2	120	1	¥20	87.9%	2	120	1	¥20	91.3%	3	120	1	¥30
布巾返し	94.4%	1	599	5	¥10	94.4%	1	599	5	¥10	96.7%	1	599	5	¥10
泡立て器	85.2%	1	554	5	¥11	87.1%	1	554	5	¥11	89.0%	1	554	5	¥11
お玉	95.2%	2	351	5	¥12	94.7%	2	351	5	¥12	95.7%	2	351	5	¥12
物干しざお	87.0%	1	1314	5	¥22	91.1%	2	1314	5	¥44	97.9%	2	1314	5	¥44
ポリバケツ	77.8%	1	394	5	¥7	76.8%	1	394	5	¥7	90.2%	1	394	5	¥7
くずかご	88.9%	2	699	5	¥23	91.1%	3	699	5	¥35	96.7%	3	699	5	¥35
洗濯用バケツ・かご	92.8%	1	700	5	¥12	89.5%	1	700	5	¥12	97.8%	1	700	5	¥12
ホース	55.0%	0	1945	5	¥0	65.3%	1	1945	5	¥32	83.7%	1	1945	5	¥32
コロコロ・フローリングモップ	77.8%	1	749	5	¥12	83.1%	1	749	5	¥12	93.5%	1	749	5	¥12
タオル	94.4%	10	595	5	¥95	95.5%	15	595	1	¥732	95.7%	15	595	1	¥743
バスタオル	90.7%	5	1195	1	¥498	90.3%	5	1195	1	¥498	95.7%	5	1195	1	¥498
電球(非LED)	42.6%	4	1050	3	¥117	52.4%	5	1050	3	¥146	66.3%	5	1050	3	¥146
LED電光灯	37.0%	4	5590	8	¥233	41.9%	4	5590	8	¥233	53.3%	4	5590	8	¥233
乾燥箱	98.5%	1	3869	5	¥64	83.9%	1	3869	5	¥64	92.4%	1	3869	5	¥64
乾燥ばきみ	53.7%	0	2124	5	¥0	74.2%	1	2124	5	¥35	80.4%	1	2124	5	¥35
アイロン台	74.1%	1	1704	5	¥28	84.7%	1	1704	5	¥28	95.7%	1	1704	5	¥28
ドライヤー	88.9%	1	636	15	¥4	8									

・被服および履物

	30代夫婦 未婚子所 有率	消費量	価格	使用年数	月価格	40代夫婦 未婚子所 有率	消費量	価格	使用年数	月価格	50代夫婦 未婚子所 有率	消費量	価格	使用年数	月価格
背広	92.0%	1	47345	4	¥986	87.1%	1	47345	4	¥986	93.3%	2	47345	4	¥1,973
礼服	92.0%	1	26290	5	¥438	84.5%	1	26290	5	¥438	93.3%	1	26290	5	¥438
オーバーコート	52.0%	1	17900	4	¥373	82.1%	1	17900	4	¥373	67.4%	1	17900	4	¥373
ジャケット(替上着)	78.0%	2	4485	4	¥187	55.2%	1	4485	4	¥93	71.9%	1	4485	4	¥93
チノパン・ジーンズ	92.0%	4	685	4	¥57	88.8%	3	685	4	¥43	91.0%	4	685	4	¥57
半ズボン	86.0%	2	743	2	¥82	69.0%	1	743	2	¥31	61.8%	1	743	2	¥31
バーカー	88.0%	3	780	2	¥98	81.9%	2	780	2	¥65	80.9%	2	780	2	¥65
ワイシャツ	94.0%	3	830	2	¥104	86.2%	1	830	2	¥35	94.4%	5	830	2	¥173
長袖シャツ	90.0%	4	680	2	¥113	84.5%	3	680	2	¥85	88.8%	4	680	2	¥113
半袖シャツ	96.0%	5	510	2	¥106	85.3%	4	510	2	¥85	87.6%	5	510	2	¥106
ボロシャツ	74.0%	2	870	2	¥73	71.6%	2	870	2	¥73	79.6%	3	870	2	¥109
セーター・カーディガン	80.0%	2	613	3	¥34	75.0%	2	613	3	¥34	74.2%	2	613	3	¥34
シャツ(合・冬)	92.0%	5	566	1	¥236	78.4%	3	566	1	¥141	83.1%	5	566	1	¥236
シャツ(夏)	88.0%	5	271	1	¥113	81.0%	4	271	1	¥90	85.4%	5	271	1	¥113
Tシャツ	90.0%	5	415	2	¥86	87.8%	5	415	2	¥86	89.9%	5	415	2	¥86
ジャージ	88.0%	2	10000	2	¥833	78.4%	2	10000	2	¥833	88.8%	2	10000	2	¥833
トレーナー	88.0%	3	3229	2	¥404	82.8%	3	3229	2	¥404	83.1%	2	3229	2	¥269
パンツ・ブリーフ	96.0%	6	889	1	¥445	88.8%	6	889	1	¥445	93.3%	6	889	1	¥593
バジャマ(夏)	62.0%	1	2575	2	¥107	54.3%	1	2575	2	¥107	57.3%	1	2575	2	¥107
バジャマ(冬)	66.0%	1	3079	2	¥128	57.8%	1	3079	2	¥128	65.2%	1	3079	2	¥128
スリッパ	62.0%	1	2144	2	¥89	58.6%	1	2144	2	¥89	69.7%	1	2144	2	¥89
サンダル	80.0%	1	3109	2	¥130	82.8%	1	3109	2	¥130	85.4%	1	3109	2	¥130
靴	94.0%	3	11540	2	¥1,443	90.5%	2	11540	2	¥962	92.1%	3	11540	2	¥1,443
長靴	50.0%	1	2835	2	¥118	59.5%	1	2835	2	¥118	69.7%	1	2835	2	¥118
運動靴・スニーカー	92.0%	2	2950	2	¥246	92.2%	3	2950	2	¥369	92.1%	2	2950	2	¥246
靴下	100.0%	10	128	2	¥53	93.1%	10	128	2	¥53	95.5%	10	128	2	¥53
手袋	66.0%	1	2277	1	¥190	76.7%	1	2277	1	¥190	80.9%	1	2277	1	¥190
ネクタイ	98.0%	4	1245	2	¥208	84.5%	3	1245	2	¥156	93.3%	6	1245	2	¥311
マフラー	66.0%	1	3685	2	¥154	69.0%	1	3685	2	¥154	68.5%	1	3685	2	¥154
バンド・ベルト	98.0%	2	1723	2	¥144	87.9%	2	1723	2	¥144	93.3%	3	1723	2	¥215
表服一式	64.0%	1	31240	10	¥260	62.9%	1	31240	10	¥260	55.1%	1	31240	10	¥260
フォーマルドレス	80.0%	1	25640	5	¥427	55.2%	1	25640	5	¥427	55.1%	1	25640	5	¥427
ワンピース	80.0%	2	4990	4	¥208	62.1%	1	4990	4	¥104	66.5%	1	4990	4	¥104
オーバーコート	76.0%	1	9895	4	¥206	71.6%	1	9895	4	¥206	73.0%	1	9895	4	¥206
ジャケット	74.0%	1	7490	4	¥156	64.7%	1	7490	4	¥156	73.0%	1	7490	4	¥156
スカート	84.0%	3	3990	3	¥333	75.9%	2	3990	3	¥222	82.0%	2	3990	3	¥222
スラックス(ジーンズ含む)	80.0%	3	3490	4	¥218	68.1%	1	3490	4	¥73	85.4%	4	3490	4	¥291
ジャンパー・ブルゾン	74.0%	2	10450	4	¥435	71.6%	2	10450	4	¥435	79.8%	2	10450	4	¥435
ブラウス	72.0%	1	3990	3	¥111	71.6%	2	3990	3	¥222	79.6%	2	3990	3	¥222
Tシャツ・ボロシャツ	86.0%	5	1245	2	¥259	75.0%	4	1245	2	¥208	78.7%	5	1245	2	¥259
長袖・半袖シャツ	76.0%	4	2990	2	¥498	77.6%	4	2990	2	¥498	78.7%	5	2990	2	¥623
セーター・カーディガン	84.0%	4	2490	3	¥277	77.6%	3	2490	3	¥208	82.0%	3	2490	3	¥208
ショーツ	90.0%	5	1120	1	¥467	80.2%	5	1120	1	¥467	83.1%	8	1120	1	¥747
ブラジャー	86.0%	4	2945	2	¥491	80.2%	4	2945	2	¥491	83.1%	5	2945	2	¥613
シャツ(肌着)	86.0%	4	990	1	¥330	75.9%	5	990	1	¥413	78.7%	5	990	1	¥413
バジャマ(夏)	88.0%	2	3490	2	¥291	62.1%	1	3490	2	¥145	65.2%	1	3490	2	¥145
バジャマ(冬)	90.0%	2	3529	2	¥294	64.7%	1	3529	2	¥147	69.7%	1	3529	2	¥147
ジャージ	62.0%	1	15055	2	¥627	57.8%	1	15055	2	¥627	74.2%	1	15055	2	¥627
トレーナー・スエット	70.0%	1	5390	2	¥225	69.8%	1	5390	2	¥225	75.3%	2	5390	2	¥449
スリッパ	76.0%	1	695	2	¥29	69.8%	1	695	2	¥29	71.9%	1	695	2	¥29
サンダル	86.0%	1	3970	2	¥165	77.6%	1	3970	2	¥165	83.1%	1	3970	2	¥165
靴・ブーツ	86.0%	2	5945	2	¥495	83.6%	2	5945	2	¥495	84.3%	2	5945	2	¥495
長靴	56.0%	1	3190	2	¥133	50.9%	1	3190	2	¥133	51.7%	0	3190	2	¥0
運動靴・スニーカー	82.0%	2	6490	2	¥541	81.9%	2	6490	2	¥541	87.6%	2	6490	2	¥541
ソックス	92.0%	6	265	1	¥44	72.4%	2	265	1	¥44	77.5%	3	265	1	¥66
ソックス	92.0%	6	260	2	¥65	81.0%	6	260	2	¥65	84.3%	8	260	2	¥87
スカーフ	18.0%	1	2684	2	¥112	37.9%	1	2684	2	¥112	53.9%	1	2684	2	¥112
手袋	58.0%	1	2180	1	¥182	70.7%	1	2180	1	¥182	78.7%	1	2180	1	¥182
ベルト	66.0%	1	2245	2	¥94	62.9%	1	2245	2	¥94	75.3%	1	2245	2	¥94
エプロン	72.0%	1	2480	2	¥103	75.0%	1	2480	2	¥103	79.8%	2	2480	2	¥207
被服・履物小計					¥15,832					¥14,435					¥17,412

・保健医療用品費

	30代夫婦 未婚子所 有率	消費量	価格	使用年数	月価格	40代夫婦 未婚子所 有率	消費量	価格	使用年数	月価格	50代夫婦 未婚子所 有率	消費量	価格	使用年数	月価格
体重計	94.2%	1	1990	5	¥33	91.5%	1	1990	5	¥33	92.1%	1	1990	5	¥33
血圧計	17.3%	0	6768	5	¥0	37.3%	0	6,768	5	¥0	58.4%	1	6768	5	¥113
救急箱・救急セット	61.5%	1	1489	5	¥25	73.7%	1	1489	5	¥25	75.3%	1	1489	5	¥25
体温計	98.1%	1	2123	5	¥35	97.5%	1	2123	5	¥35	98.9%	1	2123	5	¥35
布マスク	73.1%	2	514	1	¥88	79.7%	4	514	1	¥171	84.3%	5	514	1	¥214
不織布マスク (枚/月)	90.4%	30	22		¥680	88.1%	20	22		¥440	84.3%	15	22		¥330
保健医療用品費・小計					¥839					¥705					¥750

・交通用具品費

	30代夫婦 未婚子所 有率	消費量	価格	使用年数	月価格	40代夫婦 未婚子所 有率	消費量	価格	使用年数	月価格	50代夫婦 未婚子所 有率	消費量	価格	使用年数	月価格
自転車	73.1%	1	39390	2	¥1,641	81.4%	1	39390	2	¥1,641	75.3%	1	39390	2	¥1,641
ヘルメット	53.8%	1	5330	3	¥148	52.5%	1	5330	3	¥148	44.9%	1	5330	3	¥148
					¥1,789					¥1,789					¥1,789

・教養娯楽耐久財・教養娯楽用品費

	30代夫婦 未婚子所 有率	消費量	価格	使用年数	月価格	40代夫婦 未婚子所 有率	消費量	価格	使用年数	月価格	50代夫婦 未婚子所 有率	消費量	価格	使用年数	月価格
テレビ	100.0%	1	34800	5	¥580	98.3%	1	34800	5	¥580	98.9%	2	34800	5	¥1,160
DVD(BD)プレイヤー	44.2%	1	8229	5	¥137	68.1%	1	8229	5	¥137	70.5%	1	8229	5	¥137
カメラ・デジカメ	75.0%	1	42625	5	¥710	81.0%	1	42625	5	¥710	89.8%	1	42625	5	¥710
ビデオカメラ	71.2%	1	59600	5	¥993	81.0%	1	59600	5	¥993	64.8%	1	59600	5	¥993
プリンター	69.2%	1	27104	5	¥452	79.3%	1	27104	5	¥452	79.5%	1	27104	5	¥452
パソコン(ノート)	82.7%	1	108090	4	¥2,252	70.7%	1	108090	4	¥2,252	78.4%	1	108090	4	¥2,252
水着(男性用)	68.6%	1	5467	2	¥228	69.6%	1	5467	2	¥228	54.7%	1	5467	2	¥228
水着(女性用)	62.7%	1	9800	2	¥408	67.8%	1	9800	2	¥408	48.8%	1	9800	2	¥408
テレビゲーム機	58.8%	1	32978	5	¥550	71.3%	1	32978	5	¥550	51.2%	0	32978	5	¥0
ゲームソフト	56.9%	1	6578	3	¥183	65.2%	1	6578	3	¥183	41.9%	0	6578	3	¥0
USBメモリー	56.9%	1	1614	2	¥67	70.4%	1	1614	2	¥67	62.8%	1	1614	2	¥67
教養娯楽耐久財・教養娯楽用品・小計					¥6,560					¥6,560					¥6,408

・理美容用品費

	30代夫婦 未婚子所 有率	消費量	価格	使用年数	月価格	40代夫婦 未婚子所 有率	消費量	価格	使用年数	月価格	50代夫婦 未婚子所 有率	消費量	価格	使用年数	月価格
ヘアドライヤー	100.0%	1	3540	6	¥49	95.0%	1	3540	6	¥49	97.7%	1	3540	6	¥49
電気カミソリ	55.8%	1	6303	6	¥88	66.7%	1	6303	6	¥88	75.0%	1	6303	6	¥88
ヘアブラシ	75.0%	1	905	3	¥25	80.0%	1	905	3	¥25	83.0%	2	905	3	¥50
歯ブラシ(本ノ月)	96.2%	3	203		¥609	95.0%	3	203		¥609	96.6%	3	203		¥609
カミソリ(個ノ月)	69.2%	0.5	669		¥334	57.5%	1	669		¥669	60.2%	1	669		¥669
石けん(個ノ月)	55.8%	0	58		¥0	65.8%	1	58		¥58	70.5%	0.5	58		¥29
シャンプー(本ノ月)	96.2%	1	712		¥712	94.2%	1	712		¥712	95.5%	1	712		¥712
リンス・コンディショナー(本ノ月)	96.2%	1	722		¥722	92.5%	1	722		¥722	94.3%	1	722		¥722
ボディースャンプー(本ノ月)	90.4%	1	551		¥551	85.0%	1	551		¥551	76.1%	0.5	551		¥276
歯磨き粉(本ノ月)	94.2%	1	261		¥261	93.3%	1	261		¥261	96.6%	1	261		¥261
化粧水(個ノ月)	80.8%	0.5	756		¥378	84.2%	0.5	756		¥378	86.4%	0.5	756		¥378
口紅(本ノ月)	50.0%	0.1	2915		¥292	56.7%	0.1	2915		¥292	58.0%	0.1	2915		¥292
乳液(本ノ月)	69.2%	0.5	756		¥378	76.7%	0.5	756		¥378	72.7%	0.33	756		¥249
ファンデーション(個ノ月)	76.9%	0.33	3550		¥1,172	77.5%	0.25	3550		¥888	80.7%	0.33	3550		¥1,172
理美容用品費・小計					¥5,570					¥5,678					¥5,554

・身の回り用品費

	30代夫婦 未婚子所 有率	消費量	価格	使用年数	月価格	40代夫婦 未婚子所 有率	消費量	価格	使用年数	月価格	50代夫婦 未婚子所 有率	消費量	価格	使用年数	月価格
傘	100.0%	4	2350	2	¥392	96.6%	4	2350	2	¥392	98.9%	5	2350	2	¥490
雨がっぱ	62.0%	1	1450	4	¥30	62.1%	1	1450	4	¥30	67.8%	1	1450	4	¥30
旅行用スーツケース	74.0%	2	15950	5	¥532	79.3%	1	15950	5	¥266	85.1%	1	15950	5	¥266
ショルダーバッグ(男性)	72.0%	1	3999	5	¥67	62.9%	1	3999	5	¥67	77.0%	1	3999	5	¥67
ショルダーバッグ(女性)	88.0%	1	9245	5	¥154	80.2%	2	9245	5	¥308	83.9%	2	9245	5	¥308
ハンドバッグ	80.0%	1	10245	5	¥171	72.4%	1	10245	5	¥171	85.1%	2	10245	5	¥342
ショッピングバッグ(エコバッグ)	96.0%	3	1490	5	¥75	89.7%	4	1490	5	¥99	90.8%	4	1490	5	¥99
リュックサック・デイパック	92.0%	2	3700	5	¥123	84.5%	2	3700	5	¥123	78.2%	2	3700	5	¥123
財布	100.0%	2	18700	5	¥823	94.0%	3	18700	5	¥935	97.7%	3	18700	5	¥935
腕時計(男性用)	82.0%	1	35640	10	¥297	72.4%	1	35640	10	¥297	85.1%	1	35640	10	¥297
腕時計(女性用)	74.0%	1	22275	10	¥188	64.7%	1	22275	10	¥188	72.4%	1	22275	10	¥188
指輪	90.0%	2	107250	10	¥1,788	81.0%	2	107250	10	¥1,788	78.2%	2	107250	10	¥1,788
ネックレス	78.0%	2	1990	10	¥33	69.0%	1	1990	10	¥17	81.6%	2	1990	10	¥33
イヤリング・ピアス	70.0%	2	1640	10	¥27	69.0%	1	1640	10	¥14	67.8%	1	1640	10	¥14
帽子	82.0%	3	1140	1	¥285	81.0%	2	1140	1	¥190	86.2%	3	1140	1	¥285
ハンカチ	94.0%	9	365	1	¥274	86.2%	10	365	1	¥304	88.5%	10	365	1	¥304
身の回り品費・小計					¥5,056					¥5,185					¥5,566

4 高齢者単身・夫婦世帯（70 歳）

1) 対象モデル

分析の対象となる世帯は、高齢単身世帯では、70 歳女性でひとり暮らしをしている（国民年金および遺族年金を 173 万円受給している）と、高齢夫婦世帯では、夫（73 歳）と妻（70 歳）の夫婦のみで生活している（国民年金および厚生年金を年間 250 万円受給している）と、それぞれ想定している。厚生労働省年金局「令和 2 年度 厚生年金保険・国民年金事業の概況」によると、2020 年度の遺族厚生年金平均受給額＝82,947 円、老齢基礎年金平均受給額＝62,116 円、老齢厚生年金平均受給額＝146,145 円等であり、これらの金額も考慮しての年収設定である。

2) 居住地

大分市内の下郡・萩原地区に住んでいることを想定。

3) 最低生計費の試算

①食費

大分市内に住む高齢者の食生活は、他の地域と同様に高齢者世帯は 3 食とも家で食べるものとした。

友人などと会食や飲み会に行く回数およびその費用を生活実態調査では尋ねている。高齢単身世帯、高齢夫婦世帯ともに、最も多いのが「月 1～2 回」の 4 割弱、次いで「月 3～4 回」で、高齢夫婦世帯についても同様であった。

以上のことを踏まえて、高齢者 1 人あたり月に 2 回は会食や飲み会に行くものとし、その費用は 1 回 2000 円（月に 4000 円）とした。

・73歳男性 1日当たり 2,400k カロリー (30日=72,000k カロリー)

表4-1: 73歳、男性、身体活動レベルⅡ、4つの栄養群別、必要な食品構成と金額

第1群		第2群	
乳・乳製品		魚介・肉	
必要量	250 g	必要量	170 g
金額	68.86 円	金額	280.55 円
卵		豆・豆製品	
必要量	55 g	必要量	80 g
金額	15.07 円	金額	14.75 円
第3群		第4群	
野菜・海藻		穀類	
必要量	350 g	必要量	400 G
金額	142.87 円	金額	203.80 円
いも類		砂糖	
必要量	100 g	必要量	10 G
金額	33.09 円	金額	2.37 円
果物		油脂	
必要量	150 g	必要量	20 G
金額	61.72 円	金額	7.46 円

(参考): 香川明夫監修『食品成分表 2021 資料編』(女子栄養大学出版部、2021 年)、p.86。

(注) 推定エネルギー必要量の 95%で構成

1日エネルギー必要量の 80%とその他の栄養必要量を満たし、それに嗜好品 (20%) を加えた金額は、下記の通りである。

	2,400	kカロリー		
	1,920	kカロリー	699.414	円
嗜好品	480	kカロリー	334.783	円
	合計		1034.197	円

従って、1カ月、すべて家で食事したと仮定すると、1034.197 円×30 日=31,025 円となる。

また、友人などとの飲み会や会食は、次の通り算定した。

- ・枝豆、刺身盛り合わせ、とり天、ビール中ジョッキ×2=2500 円 (1,090k カロリー)
- ・ハンバーグ、ライス、スープ、コーヒー、デザート=1500 円(1,252k カロリー)

家での食事	69,658	k カロリー	30,017	円
会食	2,342	k カロリー	4,000	円
廃棄 (5%)	3,483	k カロリー	1,501	円
合計	75,483	k カロリー	35,518	円

以上より、高齢単身（男性）の食費は 35,518 円となる。

- ・70 歳女性 1 日当たり 1,850k カロリー (30 日=55,500k カロリー)

表 4-2：70 歳、女性、身体活動レベルⅡ、4 つの栄養群別、必要な食品構成と金額

第 1 群		第 2 群	
乳・乳製品		魚介・肉	
必要量	250 g	必要量	120 g
金額	68.86 円	金額	198.04 円
卵		豆・豆製品	
必要量	55 g	必要量	80 g
金額	15.07 円	金額	14.75 円
第 3 群		第 4 群	
野菜・海藻		穀類	
必要量	350 g	必要量	280 g
金額	142.87 円	金額	142.66 円
いも類		砂糖	
必要量	100 g	必要量	10 g
金額	33.09 円	金額	2.37 円
果物		油脂	
必要量	150 G	必要量	15 g
金額	61.72 円	金額	5.60 円

(注)表 4-1 と同じ

1 日エネルギー必要量の 80%とその他の栄養必要量を満たし、それに嗜好品（20%）を加えた金額は、次の通りである。

	1,480	kカロリー	576.870	円
嗜好品	370	kカロリー	258.062	円
	合計		834.932	円

従って、1 カ月、すべて家で食事したと仮定すると、834.932 円×30 日＝25,047 円となる。なお、友人などとの飲み会や会食は、男性と同じとする。

家での食事	53,158	kカロリー	23,991	円
会食	2,342	kカロリー	4,000	円
廃棄（5%）	2,658	kカロリー	1,200	円
合計	58,158	kカロリー	29,191	円

よって、高齢単身世帯（女性）は 29,191 円で、高齢夫婦世帯は 64,709 円となる。

②住居費の算定

民間賃貸アパートについて住宅情報誌等を用いて調査を行った。調査の結果では、単身用住宅として、25 m²の民間賃貸アパート・マンション（間取り 1DKor 1K）では、若者単身世帯と同じ 3,9000 円とした。なお、生活実態調査で高齢単身者の平均家賃は月 28267 円であり、かなり安い家賃物件で生活している。

2 人住宅として 30～35 m²の民間賃貸アパート・マンション（2K）では、30 代世帯と同じ基準で算出し 43,000 円とした。年金夫婦世帯の平均家賃は 28,500 円であり、かなり安価なところに住んでいる人が多く、かなりの開きはあるが、市場調査を踏まえた結果を採用した。

③水道光熱費の算定

総務省「2019 年全国家計構造調査」によると、全国で世帯主が 65 歳以上の 2 人以上世帯のうち公的年金等受給階級の水道光熱費の平均額は 20,998 円で、同じく全国で世帯主が 65 歳以上の 2 人以上世帯のうち公的年金等受給階級 200 万円以上 240 万円未満の水道光熱費は 20,602 円であった。

また、大分県の 65 歳以上の夫婦のみ世帯（無職世帯）の水道光熱費の平均額は 16,021 円であった。ここから、大分県の 65 歳以上の夫婦のみ世帯（無職世帯）で公的年金等受給階級 200 万円以上 240 万円未満の水道光熱費は 15,719 円と推計した。これに物価変動分を加味すると、15,593 円となった。

同じく総務省「2019 年全国家計構造調査」によると、全国の高齢単身世帯のうち公的年

金等受給階級の水道光熱費の平均額は 12,132 円で、同じく全国の高齢単身世帯のうち公的年金等受給階級 120 万円以上 160 万円未満の水道光熱費は 12,811 円であった。また、大分県の高齢単身世帯（無職世帯）の水道光熱費の平均額は 12,811 円であった。

ここから、大分県の高齢単身世帯（無職世帯）で公的年金等受給階級 120 万円以上 160 万円未満の水道光熱費は 12,240 円と推計した。これに物価変動分を加味すると、12,142 円となった。以上より、高齢単身世帯は 12,142 円、高齢夫婦世帯＝15,593 円と計上する。

④家具・家事用品の算定

家具・家事用品等については、手持ち物財調査によって算定した。詳細は本節末に掲載している。高齢単身（女性）世帯は 7,278 円 高齢夫婦世帯は 17,112 円である。

⑤被服および履物の算定

被服および履物については、持ち物財調査にもとづいて算定した。詳細は本節末に掲載している。数量については、少ないほうから数えて合計 3 割の人が保有する数を概ね算定基準とした。その結果、高齢単身（女性）世帯＝7,998 円、高齢夫婦世帯＝17,791 円となった。

なお、クリーニング代は下記の通りである。

・高齢単身世帯

フォーマルドレス(1)・ワンピース(2)・オーバーコート(2)など 5 着分のクリーニング代を想定した。1 着 1,100 円 $\times 5 / 12 =$ 月額 458 円

・高齢夫婦世帯

背広(1)・礼服(1)・オーバーコート(男性 1、女性 2)・フォーマルドレス(1)・ワンピース(2)など 9 着分のクリーニング代を想定した。1 着 1,100 円 $\times 9 / 12 =$ 月額 825 円

以上から、合計は高齢単身世帯で 8,456 円、高齢夫婦世帯で 18,616 円と計上される。

⑥保健医療費の算定

総務省「2019 年全国家計構造調査」によると、全国で世帯主が 65 歳以上の 2 人以上世帯のうち公的年金等受給階級の保健医療費の平均額は 16,785 円で、同じく全国で世帯主が 65 歳以上の 2 人以上世帯のうち公的年金等受給階級 200 万円以上 240 万円未満の保健医療費は 13,598 円であった。また、大分県の 65 歳以上の夫婦のみ世帯（無職世帯）の保健医療費の平均額は 13,733 円であった。ここから、大分県の 65 歳以上の夫婦のみ世帯（無職世帯）で公的年金等受給階級 200 万円以上 240 万円未満の保健医療費は 11,125 円と推計した。これに物価変動分を加味すると、11,170 円となった。

同じく総務省「2019 年全国家計構造調査」によると、全国の高齢単身世帯のうち公的年

金等受給階級の保健医療費の平均額は 9,138 円で、同じく全国の高齢単身世帯のうち公的年金等受給階級 120 万円以上 160 万円未満の保健医療費は 8,159 円であった。また、大分県の高齢単身世帯（無職世帯）の保健医療費の平均額は 6,702 円であった。ここから、大分県の高齢単身世帯（無職世帯）で公的年金等受給階級 120 万円以上 160 万円未満の保健医療費は 5,984 円と推計した。これに物価変動分を加味すると、6,008 円となった。合計をみると、高齢単身世帯が 6,008 円、高齢夫婦世帯が 11,170 円と計上される。

⑦通信・交通費の算定

a) 通信費の算定

総務省「2019 年全国家計構造調査」によると、全国で世帯主が 65 歳以上の 2 人以上世帯のうち公的年金等受給階級の通信費の平均額は 11,737 円で、同じく全国で世帯主が 65 歳以上の 2 人以上世帯のうち公的年金等受給階級 200 万円以上 240 万円未満の通信費は 11,368 円であった。

また、大分県の 65 歳以上の夫婦のみ世帯（無職世帯）の通信費の平均額は 9,956 円であった。ここから、大分県の 65 歳以上の夫婦のみ世帯（無職世帯）で公的年金等受給階級 200 万円以上 240 万円未満の通信費は 9,643 円と推計した。これに物価変動分を加味すると、9,672 円となった。

同じく総務省「2019 年全国家計構造調査」によると、全国の高齢単身世帯のうち公的年金等受給階級の通信費の平均額は 6,400 円で、同じく全国の高齢単身世帯のうち公的年金等受給階級 120 万円以上 160 万円未満の通信費は 5,756 円であった。また、大分県の高齢単身世帯（無職世帯）の通信費の平均額は 6,655 円であった。ここから、大分県の高齢単身世帯（無職世帯）で公的年金等受給階級 120 万円以上 160 万円未満の通信費は 5,985 円と推計した。これに物価変動分を加味すると、6,003 円となった。

b) 自動車関係費について。

手持ち財調査によると、軽自動車の所有は年金単身男性が 50.0%、年金単身女性は 33.3%であった。一方、年金夫婦世帯は 63.6%となっており、年金夫婦世帯については軽自動車の経費を計上する。

50 代世帯を参考に、任意保険料を 70 代に修正して試算すると、月 17,416 円が必要となる。

表 4-3 高齢夫婦世帯の自動車関係費 軽乗用車 17,416 円

費 目	金額(円)	備考	6 年間の 金額(円)	1 カ月当 たりの額 (円)
車両価格（車検基本料込み）	550,000		550,000	7,639
税・保険料（①～⑥）の計	105,535		373,210	5,183
① 消費税（10%、取得時）	55,000		55,000	—
② 軽自動車税（毎年）	7,200		43,200	—
③ 重量税（1 年分）	3,300	2 年分 6,600 円の 1/2	19,800	—
④ 自賠責保険料（1 年分）	12,535	2 年分 25,070 円の 1/2	75,210	—
⑤ 任意保険料（年額）	30,000		180,000	—
整備費用（⑥～⑩）の計			150,750	2,094
⑥ 車検（2 年ごと）	15,000	6 年間で 2 回	30,000	—
⑦ 上記の消費税（10%）	1,500	同上	3,000	—
⑧ 印紙代	1,400	同上	2,800	—
⑨ 部品・消耗品の交換費用	*30 代世帯軽自動車と同じ費用で計算。		104,500	—
⑩ 上記の消費税（10%）			10,450	—
駐車場代（月額）	0		—	0
ガソリン代（月額）	2,500		—	2,500
合 計				17,416

c) 交通費の算定

高齢単身世帯は自動車を所有しておらず、交通費を計上する。総務省「2019 年全国消費実態調査」によると、大分県高齢者単身世帯の交通費は 4,747 円である。これに物価上昇分を加えて、 $4,747 \text{ 円} \times 1.003 = 4,761 \text{ 円}$ 。

また、夫婦世帯では自転車やヘルメット等の交通用具を所有する世帯が多数であり、その分 1,789 円を計上する。なお、高齢単身世帯ではそうしたことはなく、計上はしない。

以上交通・通信費を合わせると、高齢者夫婦世帯は、 $9,672 \text{ 円} + 17,416 \text{ 円} + 1,789 \text{ 円} = 28,877 \text{ 円}$ となる。単身世帯は $6,003 \text{ 円} + 4,761 \text{ 円} = 10,764 \text{ 円}$ となった。

⑧教育費

この世帯では該当しない。

⑨教養娯楽費

手持ち財調査より、教養娯楽用耐久財や教養娯楽用品を試算すると、以下のようになる。詳細は本節末に掲載している。高齢単身（女性）世帯では 1,132 円、高齢夫婦世帯では 10,854 円となっている。

また、教養娯楽サービスについては、生活実態調査の集計結果にもとづいて算定した。

・日帰り旅行について

高齢単身世帯：3ヶ月に1回で、1回あたりの費用は10,000円（月当たり3,333円）

高齢夫婦世帯：3ヶ月に1回で、1回あたりの費用は20,000円（月当たり6,667円）

・1泊以上の旅行について

高齢単身世帯：年に1回で、1回あたりの費用は30,000円（月当たり2,500円）

高齢夫婦世帯：年に1回で、1回あたりの費用は60,000円（月当たり5,000円）

・その他の余暇の過ごし方について

高齢単身世帯：1人当たり月に1回、映画に行ったり、趣味を楽しんだりするとして、1回あたりの費用は2,000円（合計月当たり2,000円）

高齢夫婦世帯：1人当たり月に1回、映画に行ったり、趣味を楽しんだりするとして、1回あたりの費用は2,000円（合計月当たり4,000円）

以上、教養娯楽サービスは 高齢単身世帯が7,833円、高齢夫婦世帯が15,667円となる。

このほかに、NHK受信料の月額1,225円を計上する。

以上すべて足すと、教養娯楽費は、高齢単身世帯で1,132円+7,833円+1,225円=10,190円、高齢夫婦世帯は10,854円+15,667円+1,225円=27,746円となる。

⑩その他の消費支出

a) 理美容用品

手持ち財調査より、ヘアドライヤーをはじめ理美容用品費を試算する。詳細は本節末に掲載している。調査の結果、高齢者単身（女性）世帯は2,164円、高齢夫婦世帯は3,315円となった。

b) 理髪料・美容料

70代男性は1回1,000円で1ヶ月半に1回（1ヶ月あたり667円）、70代女性は1回7,000円で3ヶ月に1回とした（1ヶ月あたり2,333円）。よって、高齢単身世帯は月当たり2,333円、高齢夫婦世帯は月当たり3,000円とする。

c) 身の回り用品の算定

手持ち財調査より、傘やスーツケースなど身の回り用品費を試算する。詳細は本節末に掲載している。調査の結果、高齢者単身（女性）世帯では4,690円、高齢夫婦世帯は6,755円となった。

d) 交際費・その他の算定

- ・結婚式やお葬式・法事への参加

高齢単身世帯・高齢夫婦世帯ともに：結婚式は年に1回で1回あたりの費用は30,000円、お葬式・法事は年に2回で1回あたりの費用は3,000円（合計月当たり＝3,000円）

- ・お中元やお歳暮

高齢単身世帯・高齢夫婦世帯ともに：お中元やお歳暮は、年に2軒（1軒あたり3,000円）に送るものとした（合計月当たり500円）。

- ・せん別や見舞金、お年玉

高齢単身世帯：1年間にかかる費用は20,000円（月当たり1,667円）

高齢夫婦世帯：1年間にかかる費用は30,000円（月当たり2,500円）

- ・共益費

共益費は2,000円と想定した。

- ・同窓会、新年会、忘年会について

1人当たり年2回として1回の参加費を2,000円と想定した。高齢単身世帯は年間4,000円（月当たり333円）、高齢夫婦世帯は年間8,000円（月当たり667円）。

- ・労働組合費

夫婦ともに現役労働者ではないので、該当せず。

- ・自治会費

1世帯当たり月200円を想定した。

- ・その他会費

年間1人当たり3,000円を想定した。高齢単身世帯は年間3,000円（月当たり250円）、高齢夫婦世帯は年間6,000円（月当たり500円）。

e) 自由裁量費の算定

コーヒーを飲むなど自由に使える費用を1日200円程度とし、高齢単身世帯では30日分、6,000円、高齢夫婦世帯では2人分、12,000円を計上した。

以上。その他消費支出の合計は、高齢単身（女性）世帯は $2164 + 2333 + 4690 + 3000 + 500 + 1667 + 2000 + 200 + 250 + 6000 = 22804$ 円、高齢者夫婦世帯は、 $3315 + 3000 + 6755 + 3000 + 500 + 2500 + 2000 + 667 + 200 + 500 + 12000 = 34637$ 円となる。

⑪非消費支出

大分市ホームページを参考に算出した。

<https://www.city.oita.oita.jp/o052/kurashi/kokumin/1193625759256.html>

⑫予備費

予備費は、消費支出の1割とする。

表 4-4 統括表 高齢単身（女性）と高齢夫婦世帯の最低生計費

生計費結果	大分市在住	
	年金単身（女性）	年金夫婦
居住面積（賃貸）	30㎡	40－50㎡
A消費支出（1～10）	145,833	261,475
1食費	29,191	64,709
2住居費	39,000	43,000
3光熱・水道	12,142	15,593
4家具・家事用品	7,278	17,791
5被服・履物	8,456	18,616
6保健医療	6,008	11,170
7交通・通信	10,764	28,877
8教育・仕送り	0	0
9教養娯楽	10,190	27,082
10その他	22,804	34,637
B非消費支出	9,282	19,188
C予備費	14,600	26,100
最低生計費（税抜き）A＋C	160,433	287,575
D同上（税込み）A＋B＋C	169,715	306,763
同上（税込み）D×12	2,036,580	3,681,156

（注）非消費支出の算出方法は以下の通りである。

1）高齢単身世帯について

○国民健康保険について

老齢基礎年金と遺族（厚生）年金と合わせて173万円受給していると想定する（非稼働）。所得控除110万円を引いて公的年金の医療分は $(63-43) \times 8.65\% = 17,300$ 円、支援分は $(63-43) \times 2.49\% = 4,980$ 円。均等割額は医療分26,500円、支援分7700円、平等割額は医療分25700円、支援分6900円。したがって、国民健康保険料負担は、 $17,300円 + 4,980円 + 26,500円 + 7,700円 + 25,700円 + 6,900円 = 89,080円$ となる（月当たり7,423円）。

○介護保険について（第1号被保険者）

年収173万円で大分市の場合、年額22,310円（月当たり1,859円）。

よって、高齢単身世帯の非消費支出の合計は9,282円となる。

2) 高齢夫婦世帯について

老齢基礎年金（夫婦2人分）と老齢厚生年金とを合わせて250万円受給していると想定する（非稼働）。

○国民健康保険について

収入＝2,500,000円（A）（内訳：夫＝173万円、妻＝77万円）とすると、夫の保険料は先に算出した単身世帯と同じで89,080円（月当たり7,423円）。

妻の所得割は0円、均等割は医療分26,500円、支援分7700円、平等割額は医療分25700円、支援分6900円。したがって、国民健康保険料負担は26,500円＋7,700円＋25,700円＋6,900円＝66,800円となる（月当たり5,567円）。

したがって、国民健康保険料負担は、夫婦で155,880円となる（月当たり12,990円）。

○介護保険について（第1号被保険者）

夫：年収173万円で大分市の場合、年額52,070円（月当たり4,339円）

妻：年収77万円で大分市の場合、年額22,310円（月当たり1,859円）

二人合わせると、月当たり6,198円となる。

よって、高齢夫婦世帯の非消費支出の合計は19,188円となる。

・家庭用耐久財・家事用消耗品費（高齢単身（女性）世帯）

	60歳以上独居・年金(女)N=44	消費量	価格	使用年数	月価格
電子・ガスレンジ	94.9%	1	10000	6	¥139
電気・ガス炊飯器	87.2%	1	7470	6	¥104
冷蔵庫	97.4%	1	28300	6	¥393
掃除機	94.9%	1	14000	6	¥194
洗濯機	97.4%	1	47900	6	¥665
トースター	76.9%	1	4179	6	¥58
シングルベッド	73.7%	1	18231	8	¥190
掛(柱)時計	71.8%	1	12989	8	¥135
目覚まし時計	84.6%	1	2444	8	¥25
照明器具(天井・机等の外付け照明)	89.7%	3	3990	8	¥125
カーペット	71.8%	1	14158	5	¥236
カーテン	92.3%	2	8990	3	¥499
敷き布団	100.0%	2	4990	4	¥208
掛け布団	100.0%	2	3045	4	¥127
タオルケット	100.0%	3	2990	2	¥374
毛布	100.0%	3	3251	3	¥271
シーツ	100.0%	4	1990	2	¥332
まくら	100.0%	2	4990	3	¥277
布団カバー	97.4%	2	1990	2	¥166
まくらカバー	92.1%	2	399	2	¥33
ごはん茶わん	97.4%	4	390	2	¥65
どんぶり	97.4%	2	628	2	¥52
コーヒーマグ・ティーカップ、マグカップ	97.4%	5	304	2	¥63
スープ、ケーキ、果物、グラタン等の皿食わせて	86.8%	5	1121	2	¥234
大きな和皿・鉢	94.7%	2	599	2	¥50
小さな和皿・鉢	97.4%	5	149	2	¥31
コップ	97.4%	3	99	2	¥12
スプーン	100.0%	3	299	5	¥15
フォーク	97.4%	2	299	5	¥10
ナイフ	92.1%	2	250	5	¥8
水筒	84.2%	1	1314	3	¥37
タッパー	100.0%	5	66	5	¥6
なべ	97.4%	3	1097	5	¥55
フライパン	97.4%	2	1097	5	¥37
やかん	92.1%	1	2329	5	¥39
洗いおけ	92.1%	1	1002	5	¥17
水切りかご・ざる	97.4%	1	610	4	¥13
ボール	94.7%	3	588	5	¥29
包丁・ナイフ	100.0%	3	2027	5	¥101
まな板	100.0%	1	547	5	¥9
たわし・スポンジ	97.4%	2	99	1	¥17
はし・菜ばし	94.7%	5	99	5	¥8
しゃもじ	94.7%	2	299	5	¥10
ふきん	86.8%	5	41	1	¥17
フライ返し	78.9%	1	508	5	¥8
物干しざお	94.7%	2	999	5	¥33
ポリバケツ	97.4%	2	394	5	¥13
くずかご	97.4%	2	508	5	¥17
洗濯用バケツ・かご	97.4%	1	610	5	¥10
タオル	97.4%	8	590	1	¥393
バスタオル	97.4%	4	799	1	¥266
電球(非LED)	73.7%	4	950	3	¥106
LED電球	65.8%	3	690	8	¥22
ドライバー	92.1%	1	523	15	¥3
玄関マット	78.9%	1	1454	5	¥24
鏡中電灯	100.0%	1	600	5	¥10
バスマット	86.8%	2	598	2	¥50
洗面器	100.0%	1	304	5	¥5
ゴミ袋(45L・枚/月)	84.2%	4	9		¥36
ラップ(20m・本/月)	97.4%	0.5	162		¥81
ティッシュペーパー(箱/月)	94.4%	3	57		¥171
トイレトペーパー(ロール/月)	94.4%	3	21		¥63
台所用洗剤(本/月)	94.4%	0.5	108		¥54
トイレ用洗剤(本/月)	88.9%	0.25	304		¥76
住宅・風呂用洗剤(本/月)	83.3%	0.25	304		¥76
洗濯用洗剤(本・個/月)	94.4%	0.5	548		¥274
家事用品等・小計					¥7,278

・家庭用耐久財・家事用消耗品費（高齢夫婦世帯）

	40歳以上夫婦・年金 N=98	消費量	価格	使用年数	月単価
電子・ガスレンジ	89.0%	1	18920	8	¥218
電気・ガス炊飯器	87.7%	1	19150	8	¥238
冷蔵庫	87.7%	1	68900	8	¥862
掃除機	87.7%	1	11390	8	¥143
洗濯機	81.8%	1	74850	8	¥9,040
お掃除ロボット	81.4%	1	18940	8	¥237
カセットコンロ	83.7%	1	2879	8	¥360
トースター	83.0%	1	4179	8	¥522
電気アイロン	83.7%	1	3840	8	¥480
電気ポット	80.2%	1	4509	8	¥563
ホットプレート	72.1%	1	7984	8	¥100
ミシン	85.0%	1	23900	8	¥299
ルームエアコン	80.8%	1	78900	8	¥9,863
電気こたつ	80.8%	1	18090	8	¥226
ホットカーペット	84.2%	1	9480	8	¥118
洗濯機	86.1%	1	8839	8	¥110
洗濯ダンス(作り付け除く)	87.2%	1	¥8,885	15	¥59
洗濯ダンス(作り付け除く)	79.2%	1	¥97,850	15	¥652
カラーボックス(ラック)	85.7%	1	1079	8	¥135
椅子 (ドレッサー)	78.1%	1	2880	8	¥360
洗濯機・洗濯機 (乾きかけ)	83.7%	1	8480	15	¥565
洗濯・洗濯	83.0%	1	10489	15	¥699
洗濯・洗濯	80.2%	1	28345	15	¥189
洗濯・洗濯 (乾きかけ)	80.7%	1	77800	15	¥519
椅子 (乾きかけ)	83.7%	1	12889	8	¥161
目覚まし時計	85.7%	1	3717	8	¥465
目覚まし時計 (乾きかけ除く)	77.2%	2	8048	8	¥100
電気スタンド	76.7%	1	4880	8	¥610
カーペット	80.7%	1	22029	8	¥275
カーテン	83.0%	3	10885	3	¥363
座布団	87.2%	4	785	5	¥98
こたつ布団・カバー	88.8%	1	2788	3	¥929
花巻	88.8%	3	979	5	¥196
座布団	88.8%	3	8485	4	¥211
掛け布団	84.0%	3	8813	4	¥220
タオルケット	87.8%	3	2885	2	¥144
毛布	82.8%	3	8818	3	¥294
シーツ	87.8%	5	1888	2	¥472
まくら	81.8%	3	4885	3	¥163
毛布カバー	87.8%	3	2488	2	¥124
まくらカバー	88.4%	3	890	2	¥74
こたつ布団	88.8%	3	388	2	¥194
座のみまわり	79.8%	5	284	2	¥142
座のみまわり	86.2%	1	284	2	¥114
どんぶり	84.0%	4	889	2	¥222
コーヒー・カップ、マグカップ	88.2%	5	847	2	¥172
洗い物(け)わん	88.0%	5	388	2	¥194
トイレットペーパー (乾きかけ除く)	88.8%	5	1488	2	¥297
大きな洗面・鉢	82.8%	4	748	2	¥187
小さな洗面・鉢	86.4%	8	148	2	¥185
コップ	86.4%	8	148	2	¥185
スプーン	88.2%	8	328	5	¥66
フォーク	81.8%	5	828	5	¥166
ナイフ	84.0%	2	250	5	¥50
箸	84.0%	2	1788	9	¥199
お箸	86.4%	2	1082	2	¥541
砂鍋・煮入れ	84.0%	2	384	5	¥77
しょうゆ差し	71.1%	2	487	5	¥97
弁当箱 (乾きかけ)	88.2%	2	1087	5	¥217
タッパー	88.2%	8	87	5	¥17
お皿(トレイ)	88.2%	5	948	5	¥189
お皿	87.8%	3	1544	5	¥309
フライパン	84.0%	2	1444	5	¥289
やかん	77.1%	1	2329	5	¥466
おびつ(ハイザー)	83.1%	1	4712	5	¥94
洗いおけ	84.0%	1	1002	5	¥200
水筒(かご・ざる)	88.2%	1	1080	4	¥270
ボール	88.0%	3	879	5	¥176
お箸(乾きかけ)	88.2%	1	1889	5	¥378
お皿・ナイフ	86.4%	3	2112	5	¥423
お皿	81.8%	1	879	5	¥176
すり鉢・すりこぎ	84.0%	1	1088	5	¥218
たわし・スポンジ	83.1%	3	48	1	¥12
ピーラー	86.4%	1	832	5	¥166
お皿	81.8%	1	284	5	¥57
お皿(乾きかけ)	88.4%	1	444	5	¥89
はし・箸ばし	86.4%	8	78	5	¥156
しゃもじ	88.2%	2	408	5	¥82
ふきん	86.7%	1	120	1	¥120
フライ返し	80.4%	1	589	5	¥118
洗立て	88.2%	1	884	5	¥177
お皿	88.2%	2	951	5	¥190
お皿(乾きかけ)	84.0%	2	1514	5	¥303
ポリバケツ	84.0%	2	384	5	¥77
くずかご	81.8%	4	889	5	¥178
洗濯用バケツ・かご	84.3%	1	700	5	¥140
ホース	86.7%	1	1845	5	¥369
コロコロ・フローリングモップ	87.8%	1	748	5	¥149
タオル	88.2%	8	889	1	¥89
バスタオル	80.7%	4	1188	1	¥297
電球 (乾きLED)	80.7%	4	1080	3	¥360
LED電球	84.0%	4	8890	8	¥111
洗濯機	84.0%	1	3889	5	¥778
洗濯ばさみ	80.4%	1	2124	5	¥425
アイロン台	81.8%	1	1704	5	¥341
ドライヤー	88.2%	1	889	15	¥59
のこぎり	86.4%	2	1848	15	¥123
金づち	78.8%	1	1114	15	¥74
電気入れ	82.8%	1	1804	5	¥361
じょうろ	86.7%	1	448	5	¥89
お・プランター	83.1%	5	533	5	¥107
洗濯機	86.4%	1	1484	5	¥297
洗濯機	88.2%	1	2889	5	¥578
お皿	81.8%	1	2888	5	¥578
スポンジ	86.7%	1	320	5	¥64
バスマット	86.4%	1	788	2	¥394
洗濯機	84.0%	1	385	5	¥77
ゴミ袋 (乾き・乾き)	82.8%	4	8	5	¥16
ラック (20m・乾き)	77.2%	2	188	5	¥37
お皿(乾き・乾き)	88.2%	1	218	5	¥44
お皿(乾き・乾き)	88.2%	2	35	5	¥7
お皿(乾き・乾き)	88.2%	4	28	5	¥56
お皿(乾き・乾き)	87.8%	1	125	5	¥25
お皿(乾き・乾き)	81.0%	1	305	5	¥61
お皿(乾き・乾き)	80.7%	1	305	5	¥61
お皿(乾き・乾き)	78.7%	1	848	5	¥169
お皿(乾き・乾き)	78.2%	1	120	5	¥24
お皿(乾き・乾き)	88.2%	1	247	5	¥49
家事用品等・小計					¥17,112

・被服・履物費（高齢単身）

	60歳以上独居・年金 (女)N=44	消費量	価格	使用年数	月価格
フォーマルドレス	80.6%	1	25640	5	¥427
オーバーコート	97.2%	2	9895	4	¥412
ジャケット	83.3%	3	7490	4	¥468
スラックス(ジーンズ含む)	97.2%	4	3490	4	¥291
ジャンパー・ブルゾン	88.9%	1	3990	4	¥83
ブラウス	83.3%	1	3990	3	¥111
Tシャツ・ポロシャツ	88.9%	5	1245	2	¥259
長袖・半袖シャツ	88.9%	5	2990	2	¥623
セーター・カーディガン	94.4%	3	2490	3	¥208
ショーツ	97.2%	7	1120	1	¥653
ブラジャー	88.9%	5	2945	2	¥613
シャツ(肌着)	86.1%	6	990	1	¥495
パジャマ(夏)	88.9%	1	3490	2	¥145
パジャマ(冬)	88.9%	1	3529	2	¥147
ジャージ	58.3%	2	3990	2	¥333
トレーナー・スエット	61.1%	3	5390	2	¥674
スリッパ	100.0%	1	695	2	¥29
サンダル	80.6%	1	990	2	¥41
靴・ブーツ	91.7%	3	5945	2	¥743
運動靴・スニーカー	97.2%	2	6490	2	¥541
パンティストッキング	75.0%	2	265	1	¥44
ソックス	100.0%	8	260	2	¥87
手袋	91.7%	2	2180	1	¥363
エプロン	94.4%	2	2480	2	¥207
被服・履物・小計					¥7,998

・被服・履物（高齢夫婦）

	60歳以上夫婦・年金 N=89	消費量	価格	使用年数	月価格
男性用					
ゆかた	88.6%	1	5500	2	¥247
青広	94.9%	1	47345	4	¥986
礼服	82.3%	1	26290	5	¥438
ジャケット(管上着)	75.9%	2	4485	4	¥187
チノパン・ジーンズ	78.5%	2	685	4	¥29
半ズボン	67.1%	3	743	2	¥93
パーカー	92.4%	1	780	2	¥33
ワイシャツ	94.9%	3	830	2	¥104
長袖シャツ	93.7%	3	680	2	¥85
半袖シャツ	86.1%	3	510	2	¥64
ポロシャツ	89.9%	3	870	2	¥109
セーター・カーディガン	88.6%	3	613	3	¥51
シャツ(合・冬)	91.1%	4	566	1	¥189
シャツ(夏)	87.3%	4	271	1	¥90
Tシャツ	86.1%	3	415	2	¥52
ジャージ	78.5%	1	3990	2	¥166
トレーナー	91.1%	1	3229	2	¥135
パンツ・ブリーフ	78.5%	5	889	1	¥370
ステテコ(ズボン下)	87.3%	5	550	1	¥229
パジャマ(夏)	91.1%	1	2575	2	¥107
パジャマ(冬)	88.6%	1	3079	2	¥128
スリッパ	84.8%	3	990	2	¥124
サンダル	93.7%	2	690	2	¥58
靴	86.1%	3	11540	2	¥1,443
長靴	92.4%	1	2835	2	¥118
運動靴・スニーカー	93.7%	3	2950	2	¥369
靴下	89.9%	8	128	2	¥43
手袋	92.4%	2	2277	1	¥380
ネクタイ	84.8%	3	1245	2	¥156
マフラー	93.7%	3	3685	2	¥461
バンド・ベルト	84.8%	5	1723	2	¥359
女性用					
喪服一式	78.5%	1	31240	10	¥260
着物	67.1%	1	71040	10	¥592
フォーマルドレス	69.6%	1	25640	5	¥427
ワンピース	82.3%	2	4990	4	¥208
オーバーコート	67.1%	1	9895	4	¥206
ジャケット	83.5%	1	7490	4	¥156
スカート	92.4%	5	3990	3	¥554
スラックス(ジーンズ含む)	86.1%	3	3490	4	¥218
ジャンパー・ブルゾン	91.1%	3	3990	4	¥249
ブラウス	91.1%	5	3990	3	¥554
Tシャツ・ポロシャツ	88.6%	5	1245	2	¥259
長袖・半袖シャツ	91.1%	5	2990	2	¥623
セーター・カーディガン	92.4%	5	2490	3	¥346
ショーツ	87.3%	8	1120	1	¥747
ブラジャー	92.4%	3	2945	2	¥368
シャツ(肌着)	88.6%	8	990	1	¥660
パジャマ(夏)	91.1%	1	3490	2	¥145
パジャマ(冬)	74.7%	1	3529	2	¥147
ジャージ	74.7%	2	3990	2	¥333
トレーナー・スエット	84.8%	1	5390	2	¥225
スリッパ	84.8%	2	990	2	¥83
サンダル	92.4%	2	690	2	¥58
靴・ブーツ	78.5%	2	5945	2	¥495
長靴	91.1%	1	3190	2	¥133
運動靴・スニーカー	69.6%	3	6490	2	¥811
こま下駄・ぞうり	82.3%	1	3625	2	¥151
パンティストッキング	92.4%	5	265	1	¥110
ソックス	91.1%	8	260	2	¥87
スカーフ	88.6%	3	2684	2	¥336
手袋	73.4%	2	2180	1	¥363
ベルト	89.9%	3	2245	2	¥281
エプロン	98.7%	2	2480	2	¥207
被服・履物・小計					¥17,791

・交通用具品費（高齢夫婦）

	60歳以上夫婦・年金 N=89	消費量	価格	使用年数	月価格
自転車	58.4%	1	39390	2	¥1,641
ヘルメット	96.2%	1	5330	3	¥148
交通用具品費・小計					¥1,789

・教養娯楽用品費（高齢単身）

	60歳以上独居・年金 (女)N=44	消費量	価格	使用年数	月価格
テレビ	97.1%	2	26800	5	¥893
ラジオ	76.5%	1	1736	5	¥29
ラジカセ	67.6%	1	12580	5	¥210
教養娯楽用品費・小計					¥1,132

・教養娯楽用品費（高齢夫婦）

	60歳以上夫婦・年金 N=89	消費量	価格	使用年数	月価格
テレビ	80.8%	1	34800	5	¥580
ラジオ	84.6%	1	1736	5	¥29
ラジカセ	78.2%	1	12580	5	¥210
カメラ・デジカメ	51.3%	1	42625	5	¥710
ビデオカメラ	82.1%	1	59600	5	¥993
プリンター	59.0%	1	27104	5	¥452
パソコン(ノート)	61.5%	1	108090	4	¥2,252
日刊新聞(契約紙数)	62.8%	1	3400		¥3,400
水着(男性用)	69.6%	1	5467	2	¥228
切り花(月の購入額)	72.7%	10	200		¥2,000
教養娯楽用品費・小計					¥10,854

・理美容用品費（高齢単身）

	60歳以上独 居・年金 (女)N=44	消費量	価格	使用年数	月価格
ヘアドライヤー	88.9%	1	3280	6	¥46
歯ブラシ(本/月)	97.2%	1	188		¥188
石けん(個/月)	88.9%	0.5	149		¥75
シャンプー(本/月)	91.7%	0.33	711		¥235
リンス・コンディショナー(本/月)	77.8%	0.25	713		¥178
歯磨き粉(本/月)	91.7%	0.33	261		¥86
化粧水(個/月)	88.9%	0.5	756		¥378
口紅(本/月)	61.1%	0.08	2915		¥233
乳液(本/月)	88.9%	0.33	756		¥249
ファンデーション(個/月)	69.4%	0.14	3550		¥497
理美容用品費・小計					¥2,164

・理美容用品費（高齢夫婦）

	60歳以上夫 婦・年金 N=89	消費量	価格	使用年数	月価格
ヘアドライヤー	84.6%	2	3540	6	¥98
電気カミソリ	93.6%	1	6303	6	¥88
ヘアブラシ	97.4%	2	905	3	¥50
歯ブラシ(本/月)	75.6%	2	203		¥406
カミソリ(個/月)	94.9%	1	669		¥669
石けん(個/月)	96.2%	1	58		¥58
シャンプー(本/月)	84.6%	0.33	712		¥235
ボディシャンプー(本/月)	98.7%	0.33	551		¥182
歯磨き粉(本/月)	92.3%	0.66	261		¥172
化粧水(個/月)	80.8%	0.5	756		¥378
口紅(本/月)	88.5%	0.08	2915		¥233
乳液(本/月)	82.1%	0.33	756		¥249
ファンデーション(個/月)	96.2%	0.14	3550		¥497
理美容用品費・小計					¥3,315

・身の回り用品費（高齢単身）

	60歳以上独居・年金 (女)N=44	消費量	価格	使用年数	月価格
傘	97.2%	3	2350	2	¥294
旅行用スーツケース	72.2%	2	15950	5	¥532
ショルダーバッグ（女性）	88.9%	1	9245	5	¥154
ハンドバッグ	86.1%	2	10245	5	¥342
ショッピングバッグ(エコバック)	94.4%	5	1490	5	¥124
リュックサック・デイパック	83.3%	2	3700	5	¥123
財布	97.2%	4	18700	5	¥1,247
腕時計(女性用)	80.6%	1	22275	10	¥186
指輪	72.2%	1	107250	10	¥894
ネックレス	77.8%	1	1990	10	¥17
帽子	91.7%	5	1140	1	¥475
ハンカチ	91.7%	10	365	1	¥304
身の回り用品費・小計					¥4,690

・身の回り用品費（高齢夫婦）

	60歳以上夫婦・年金 N=89	消費量	価格	使用年数	月価格
傘	78.2%	4	2350	2	¥392
雨がっぱ	83.3%	2	1450	4	¥60
旅行用スーツケース	88.5%	2	15950	5	¥532
ショルダーバッグ（男性）	89.7%	1	3999	5	¥67
ショルダーバッグ（女性）	89.7%	2	9245	5	¥308
ハンドバッグ	93.6%	5	10245	5	¥854
ショッピングバッグ(エコバック)	92.3%	5	1490	5	¥124
リュックサック・デイパック	97.4%	1	3700	5	¥62
財布	84.6%	4	18700	5	¥1,247
腕時計(男性用)	75.6%	1	35640	10	¥297
腕時計(女性用)	78.2%	1	22275	10	¥186
指輪	85.9%	2	107250	10	¥1,788
ネックレス	73.1%	2	1990	10	¥33
イヤリング・ピアス	94.9%	2	1640	10	¥27
帽子	96.2%	5	1140	1	¥475
ハンカチ	98.7%	10	365	1	¥304
身の回り用品費・小計					¥6,755

資料

大分県最低生計費調査結果(単純集計)

居住地

①大分地区（大分市、由布市）	57.6%
②別府地区（別府市、杵築市、日出町）	15.0%
③県北地区（宇佐市、豊後高田市、中津市）	4.7%
④国東地区（国東市、姫島村）	0.3%
⑤豊肥地区（豊後大野市、竹田市）	1.7%
⑥県南地区（臼杵市、津久見市、佐伯市）	12.9%
⑦日田地区（日田市、玖珠町、九重町）	5.7%
不明	2.2%

I あなたの現在のお仕事等（主たる仕事）についてうかがいます

問1. あなたの雇用形態（就業形態）は次のうちどれですか。（主なもの1つ）

- ①正社員・従業員 41.3%
- ②臨時社員・職員 2.4%
- ③非常勤社員・職員 2.8%
- ④派遣社員 0.8%
- ⑤嘱託社員 0.9%
- ⑥契約・登録社員 2.6%
- ⑦アルバイト 2.0%
- ⑧常勤パート（週30時間以上） 7.6%
- ⑨短時間パート（週30時間未満） 17.4%
- ⑩個人請負（フリーランス） 0.7%
- ⑪再任用（再雇用） 1.1%
- ⑫失業中 0.5%
- ⑬無職 2.2%
- ⑭その他（年金生活、一人親方、など） 14.9%
- 不明 2.6%

問2. あなたの仕事の業種は次のうちどれですか。（主なもの1つ）

- ①建設 1.4%
- ②機械関連製造 0.4%
- ③材関連製造（木材、紙、プラスチック、窯業、金属） 0.5%
- ④運輸 5.4%
- ⑤消費関連製造（食品、衣服、家具、印刷・出版、皮革） 7.0%

- ⑥通信 0.4%
- ⑦電気・ガス・水道・熱供給 0.5%
- ⑧卸・小売・飲食業 18.0%
- ⑨金融・保険・不動産業 3.1%
- ⑩医療 13.8%
- ⑪福祉 9.6%
- ⑫教育 2.3%
- ⑬保育 2.1%
- ⑭国家公務員 5.3%
- ⑮地方公務員 1.0%
- ⑯その他 10.2%
- ⑰非該当（年金生活者、無職、失業中など） 15.6%
- 不明 3.2%

問 3. あなたの仕事の内容は次のうちどれですか。（主なもの 1 つ）

- ①現業・技術職（加工、組立、検査、機械操作、建設職人など） 5.1%
- ②運輸職（各種交通、運輸機械運転手、教習所指導員など） 4.7%
- ③事務職（事務系のデスクワーク中心） 15.5%
- ④営業、販売職、サービス職 23.8%
- ⑤専門・技術職 A（研究・開発、設計、情報処理） 1.1%
- ⑥専門・技術職 B（薬剤師、看護師、栄養士、保育士、教員等の資格職） 20.0%
- ⑦保安・警備 0.2%
- ⑧農林漁業職 0.5%
- ⑨その他 9.9%
- ⑩非該当（年金生活者、無職、失業中など） 15.8%
- 不明 3.4%

問 4. あなたの（2020 年 11 月）の 1 ヶ月の賃金（税・保険料込みの支給総額、年金生活者、一人親方の場合は税・保険料込みの総所得）はどれくらいですか。

- ①10 万円未満 15.7%
- ②10～15 万円未満 24.1%
- ③15～20 万円未満 16.3%
- ④20～25 万円未満 15.7%
- ⑤25 万～30 万円未満 10.0%
- ⑥30 万～35 万円未満 6.0%
- ⑦35 万～40 万円未満 3.0%
- ⑧40 万～45 万円 1.8%
- ⑨45 万～50 万円未満 0.9%
- ⑩50 万円以上 1.2%
- ⑪非該当 2.2%
- 不明 3.2%

問 5. あなたの世帯の最近 1 年間（2020 年）の収入は（税・保険料込み）はどれくらいですか。

- ①50 万円未満 1.3%
- ②50～100 万円未満 3.4%
- ③100～150 万円未満 6.0%
- ④150～200 万円未満 8.3%
- ⑤200～250 万円未満 7.9%
- ⑥250～300 万円未満 8.8%
- ⑦300～350 万円未満 8.0%
- ⑧350～400 万円未満 7.1%
- ⑨400～450 万円未満 7.1%
- ⑩450～500 万円未満 5.3%
- ⑪500～550 万円未満 4.7%
- ⑫550～600 万円未満 4.5%
- ⑬600～700 万円未満 6.0%
- ⑭700～800 万円未満 4.9%
- ⑮800 万円以上 7.1%
- ⑯非該当 4.5%
- 不明 5.2%

Ⅱ あなたの性別や年齢、家族などについてうかがいます。

問 6. あなたの性別は？

- ①女性 64.1%
- ②男性 34.1%
- ③その他 0.1%
- 不明 1.8%

問 7. あなたの年齢は次のうちどれですか。

- ①20 歳未満 0.1%
- ②20 歳代 8.8%
- ③30 歳代 11.3%
- ④40 歳代 17.9%
- ⑤50 歳代 23.1%
- ⑥60 歳代 20.6%
- ⑦70 歳以上 16.3%
- 不明 1.8%

問 8. あなたの世帯では、何人就労していますか。

- ①1 人 32.1%
- ②2 人 40.9%
- ③3 人 11.7%
- ④4 人以上 3.8%
- ⑤いない 9.4%
- 不明 2.0%

問 9. あなたの世帯構成は次のうちどれですか。

- ①独居 21.0%
- ②あなたと親 5.6%
- ③あなたと親と兄弟姉妹 3.3%
- ④あなたと親と兄弟姉妹夫婦 0.1%
- ⑤あなたと兄弟姉妹 0.7%
- ⑥あなた夫婦のみ 26.4%
- ⑦あなた夫婦と親 1.8%
- ⑧あなた夫婦と未婚子 26.4%
- ⑨あなた夫婦と親と未婚子 3.8%
- あなたと未婚子 4.1%
- ⑪あなたと親と未婚子 1.2%
- ⑫あなた夫婦と子ども夫婦と孫 0.7%
- ⑬その他 2.8%
- 不明 2.1%

* ⑧～⑫と回答の方は問 9-1 もお答えください。

問 9-1. 上記問 9 で未婚子・孫がいると答えた方 (⑧～⑫) にお聞きします。あなたの世帯内の子どもの人数 (学校別) と 1 月あたりの学費 (授業料、給食費、学校関係費、修学旅行積立代) 及び塾・お稽古代にかかる総額はどれくらいですか。N=539

幼稚園・保育園	1 人 10.9%	2 人 6.1%	3 人 0.2	0 人 82.7%
小学生	1 人 19.3%	2 人 4.6%	3 人 0.6%	0 人 75.5%
中学生	1 人 15.2%	2 人 2.4%	0 人 82.4%	
高校生	1 人 13.4%	2 人 1.3%	0 人 85.3%	
専門学校生	1 人 4.3%	0 人 95.7%		
大学生・院生	1 人 11.1%	2 人 0.9%	0 人 87.9%	
1 月あたり	総額 (0 円を除く) 平均 54319 円 単純平均は 25587 円			

問 10. あなたが住んでいる住宅は、次のうちどれですか。

- ①一戸建て持家 57.7%
- ②マンション持ち家 6.6%
- ③一戸建て貸家 5.7%
- ④マンション・アパート貸家 20.9%
- ⑤社宅・官舎 1.3%
- ⑥公営住宅 4.4%
- ⑦その他 0.7%
- 不明 2.8%

問 11. 借家・賃貸の場合、家賃は月額どれくらいですか。持家の場合、賞与の額を含む住宅ローン年間返済額はいくらですか。(千円未満は四捨五入)

①借家・賃貸の場合 N=478

家賃 月 () 万 () 千円 平均 (0 円除く) 46196 円 単純平均 41267 円

駐車代 月 () 万 () 千円 (月支出合計) 平均 (0 円除く) 6227 円

単純平均 2410 円

駐車場数 () カ所 単純平均 0.9 カ所

共益費 月 () 千円 平均 (0 円除く) 4872 円 単純平均 1937 円

②持家の場合

住宅ローン 年 () 万 () 千円 (賞与含む)

単純平均年 317385 円 (N=954)

平均 (0 円除く) 1019,478 円 (N=297) 月 84,957 円

Ⅲ あなたの日常生活についてうかがいます。

問 12. 昼食は主にどうしていますか。

- ①家から弁当持参。 34.6%
- ②家で食べる。 33.2%
- ③職場の給食を食べる。3.8%
- ④職場内外の食堂や喫茶店、出前などを利用する。5.7%
- ⑤コンビニ等で弁当やパンなどを買って職場で食べる。16.3%
- ⑥昼食は食べない。2.4%
- ⑦その他 1.6%
- 不明 2.4%

問 13. あなたはプライベートで、お酒、お茶、食事などに行ったりしていますか。新型コロナ流行前（2019 年）と後（2020 年）について、それぞれお答えください。（それぞれ 1 つ）

	問 13-2019 年	問 13-2020 年
①ほとんど行かない	29.3%	67.5%
②月に 1～2 回程度	40.1%	21.0%
③月に 3～4 回程度	18.8%	4.7%
④週に 1～2 回程度	8.3%	2.7%
⑤ほとんど毎日	0.7%	0.4%
不明	2.7%	3.7%

* お酒・お茶・食事代の 1 回あたり平均費用はいくらくらい？

2019 年	単純平均 3239 円 (N=1406)	平均 (0 円除く) 3912 円 (N=1164)
2020 年	単純平均 1930 円 (N=1403)	平均 (0 円除く) 3120 円 (N=867)

問 14. あなたは休日（余暇）をどのように過ごしていますか。新型コロナ流行前（2019年）と後（2020年）について、それぞれお答えください。（それぞれ3つまで）

	問 14-2019 年	問 14-2020 年
①家で休養	62.0%	79.0%
②ショッピング	50.8%	28.3%
③家事や育児	23.9%	28.8%
④介護や看護	3.5%	4.3%
⑤日曜大工	1.8%	2.5%
⑥読書	9.3%	16.4%
⑦映画鑑賞・演劇鑑賞・スポーツ鑑賞・美術鑑賞	22.5%	18.5%
⑧スポーツ	10.7%	8.9%
⑨園芸・野菜作り	13.0%	14.9%
⑩日帰りの行楽（ハイキング・ドライブ・遊園地など）	3.1%	12.2%
⑪英会話などの自己啓発	1.8%	1.8%
⑫宗教活動	0.5%	0.4%
⑬1泊以上の旅行	10.9%	0.9%
⑭社会活動（組合、地域活動等）	7.0%	6.3%
⑮持ち帰り残業	2.3%	3.4%
⑯特に何もしない	12.2%	23.2%

問 15. あなたは月に何回くらい日帰りの外出（行楽）をしていますか。新型コロナ流行前（2019年）と後（2020年）について、それぞれお答えください。（それぞれ1つ）

	問 15-2019 年	問 15-2020 年
①0回	25.5%	53.7%
②1回	24.2%	25.3%
③2回	18.7%	9.0%
④3回	10.5%	3.0%
⑤4回	8.0%	2.5%
⑥5回	3.3%	0.8%
⑦6回	1.6%	0.2%
⑧7回	1.1%	0.4%
⑨8回	1.2%	0.6%
⑩9回	0.6%	0.1%
⑪10回以上	1.3%	0.3%
不明	4.0%	4.1%

*日帰り行楽代の1回あたり平均費用はいくらくらい？

2019年 単純平均 5356円 (N=1359) 平均(0円除く) 7352円 (N=990)

2020年 単純平均 2331円 (N=1374) 平均(0円除く) 5465円 (N=586)

問16. あなたは年に何回くらい1泊以上の旅行(行楽)をしていますか。新型コロナ流行前(2019年)と後(2020年)について、それぞれお答えください。(それぞれ1つ)

問16-2019年 問16-2020年

①0回	42.1%	77.4%
②1回	21.9%	12.5%
③2回	16.0%	3.4%
④3回	7.7%	1.1%
⑤4回	3.0%	0.5%
⑥5回	1.5%	0.3%
⑦6回	1.6%	0.1%
⑧7回	0.3%	0.0%
⑨8回	0.3%	0.1%
⑩9回	0.1%	0.0%
⑪10回以上	1.3%	0.1%
不明	4.1%	4.3%

*1泊以上の1回あたり平均費用(旅費、宿泊費、お小遣い等すべて)はいくらくらい？

2019年 28666円 (N=1384) 平均(0円除く) 52340円 (N=758)

2020年 7482円 (N=1409) 平均(0円除く) 39484 (N=267)

問17. 自宅から職場までの主な交通手段は何ですか。(主なもの1つ)

- ①自家用車 65.0%
- ②公共交通機関(電車・バス) 4.2%
- ③会社の送迎バス 0.1%
- ④バイク 1.6%
- ⑤自転車 7.6%
- ⑥徒歩 4.6%
- ⑦その他 0.4%
- ⑧非該当(通勤していない) 13.3%
- 不明 3.2%

問 18. 自家用車・バイクがある場合、何に利用していますか。(2つまで)

- ①通勤 64.0%
- ②買物 62.8%
- ③病院などへの通院 15.6%
- ④子どもの送迎 6.9%
- ⑤ドライブ・娯楽 14.3%
- ⑥仕事 5.6%
- ⑦その他 3.7%

問 19. あなたは自家用車が必要だと思いますか。(全員回答)

- ①生活の必需品 80.2%
- ②あれば便利 11.0%
- ③なければないでよい 2.2%
- ④なくてもよい 4.0%
- 不明 2.6%

問 20. 自家用車・バイクがある場合、あなたの世帯では自家用車・バイクのガソリン代(電気自動車は電気代)、高速代はあわせて月額いくらくらいですか。(千円未満は四捨五入)
月()万()千円くらい 単純平均 15796 円 (N=1266)

問 21. 家庭雑貨(食糧、洗剤、トイレットペーパーなど)を購入するのは、主にどんなお店ですか。(主なもの1つ)

- ①コンビニ 1.1%
- ②ディスカウントショップ(ドンキ、トライアルなど) 19.1%
- ③近くの商店・地元スーパー 18.7%
- ④量販店(コスモス、セイムスなど) 33.8%
- ⑤大手スーパー(マックスバリュなど) 10.2%
- ⑥百貨店 0.1%
- ⑦生協 14.4%
- ⑧専門店 0.1%
- ⑨通信・ネット販売 0.3%
- ⑩百元ショップ 0.1%
- ⑪その他 0.2%
- 不明 2.1%

問 22. 電化製品等耐久財を購入するのは、主にどんなお店ですか。(主なもの 1 つ)

- ①コンビニ 0.3%
- ②ディスカウントショップ 3.8%
- ③近くの商店・地元スーパー 2.9%
- ④量販店（ヤマダ、コジマ、ベスト、無印良品など） 79.8%
- ⑤大手スーパー（イオン、ユメタウン、など） 1.6%
- ⑥百貨店（トキハ） 0.3%
- ⑦生協 0.4%
- ⑧専門店 3.4%
- ⑨通信・ネット販売 4.5%
- ⑩百円ショップ 0.0%
- ⑪その他 0.4%
- 不明 2.5%

問 23. 下着を購入するのは、主にどんなお店ですか。(主なもの 1 つ)

- ①コンビニ 0.3%
- ②ディスカウントショップ（ドンキ、トライアルなど） 6.1%
- ③近くの商店・地元スーパー 8.3%
- ④量販店（ユニクロ、しまむら、GU、無印良品など） 50.7%
- ⑤大手スーパー 11.0%
- ⑥百貨店 4.9%
- ⑦生協 2.8%
- ⑧専門店 4.5%
- ⑨通信・ネット販売 7.8%
- ⑩百円ショップ 0.3%
- ⑪その他 0.7%
- 不明 2.8%

問 24. 下着以外の洋服などを購入するのは、主にどんなお店ですか。(主なもの 1 つ)

- ①コンビニ 0.1%
- ②ディスカウントショップ（ドンキ、トライアルなど） 2.3%
- ③近くの商店・地元スーパー 4.9%
- ④量販店（ユニクロ、しまむら、GU、無印良品など） 52.3%
- ⑤大手スーパー 9.0%
- ⑥百貨店 9.2%
- ⑦生協 1.8%
- ⑧専門店 7.1%
- ⑨通信・ネット販売 9.4%⑩百円ショップ 0.0%
- ⑪その他 1.2%
- 不明 2.6%

問 25. 友人や親戚の結婚式やお葬式・法事に参加していますか。新型コロナ流行前（2019 年）と後（2020 年）について、それぞれお答えください。(それぞれ 1 つ)

	問 25-2019 年	問 25-2020 年
①ほとんど参加している。	66.2%	31.8%
②他の費目を節約して参加している。	5.3%	4.7%
③参加したいが、経済的に無理な場合がある。	3.4%	3.0%
④参加しないことにしている。	2.1%	14.2%
⑤ほとんど呼ばれることがない。	17.3%	36.7%
⑥その他	1.3%	4.5%
不明	4.5%	5.1%

問 26. 結婚式やお葬式・法事に世帯として使った金額は昨年（2019 年）と今年（2020 年）それぞれどれくらいですか。(それぞれ 1 つ)

	問 26-2019 年	問 26-2020 年
①0 円	21.0%	40.0%
②1 万円	19.6%	20.3%
③2 万円	11.8%	7.6%
④3 万円	14.3%	8.8%
⑤4 万円	3.9%	2.8%
⑥5 万円以上	21.6%	12.1%
不明	7.8%	8.4%

問 27. 忘年会や新年会、歓送迎会等に世帯として使った金額は昨年（2019 年）と今年（2020 年）それぞれどれくらいですか（タクシー代等の交通費、2 次会・カラオケ代、お茶会代も入れてください）。（それぞれ 1 つ）

問 27-2019 年 問 27-2020 年

①0 円	27.0%	66.1%
②1 万円	24.1%	15.8%
③2 万円	16.2%	5.8%
④3 万円	10.8%	2.4%
⑤4 万円	4.1%	0.9%
⑥5 万円以上	11.5%	2.4%
不明	6.3%	6.7%

問 28. 盆暮れのお中元やお歳暮をお世話になった方や親戚に贈っていますか。

- ①毎年決まって贈っている。 38.7%
- ②かなり無理をしても贈っている。 1.9%
- ③贈ってくれる人にだけ贈っている。 9.2%
- ④できるだけ贈るようにしているが最近は数を減らしている。 5.7%
- ⑤贈りたいが経済的に無理がある。 4.9%
- ⑥贈らない。贈る習慣がない。 36.6%
- 不明 3.0%

問 29. この 1 年で家族・親戚・恋人などに贈ったプレゼントやお年玉、見舞金などにかかった費用はあなたの世帯で年額どれくらいでしたか。（千円未満は四捨五入）

年（ ）万（ ）千円くらい 単純平均 49565 円（N=1482）

問 30. あなたの世帯で医療費（病院での窓口負担や医薬品の購入費）は年額どれくらいですか。（千円未満は四捨五入）

年（ ）万（ ）千円くらい 平均（N=1482）68874 円

問 31. あなたの世帯で介護サービスの利用料は月額どれくらいですか。（千円未満は四捨五入）

月（ ）万（ ）千円くらい 単純平均 3256 円（N=1482）

問 32. あなたが特に「負担に思っている」家計支出は何ですか。(3 つまで)

①食費	32.9%
②家賃・地代	19.6%
③水道・ガス・電気料金	31.0%
④電話代（携帯含む）	28.1%
⑤自家用車・バイクのガソリン代	18.3%
⑥被服費	2.2%
⑦医療・保険費	23.1%
⑧教育費	7.3%
⑨教養・娯楽費	1.3%
⑩交際費	3.9%
⑪税金	27.6%
⑫社会保険料	22.3%
⑬生命保険など民間保険掛け金	18.0%
⑭ローン・借金返済	20.7%
⑮介護サービス	0.9%
⑯特にない	4.0%
⑰その他	0.7%

問 33. 現在の暮らしについてどう感じていますか。

①苦しい	17.6%
②やや苦しい	30.0%
③普通	43.4%
④ややゆとりがある	4.7%
⑤ゆとりがある	1.7%
不明	2.6%

IV あなたの地域での生活についてうかがいます。

問 34. あなたの近所づきあいの程度はどの程度ですか。(主なものを1つ)

- ①ほとんど挨拶もしない、顔を合わせても素通りする。3.3%
- ②挨拶程度。 54.4%
- ③顔を合わせれば立ち話をする。 31.1%
- ④留守の間、声を掛け合い、小包を預かったりする。1.3%
- ⑤自宅または先方の家で話し込むこともある。3.8%
- ⑥一緒に何かをしたり、どこかへ行くこともある。2.8%
- ⑦物やお金の貸し借りをすることもある。0.1%
- ⑧その他 0.3%
- 不明 2.8%

問 35. あなたの地域などで参加している社会活動は何ですか。(5つまで)

- ①町内会・自治会 47.6%
- ②地域女性会 2.9%
- ③農協 1.3%
- ④PTA 10.0%
- ⑤青少年の育成活動 1.1%
- ⑥保育・学童保育 2.4%
- ⑦子どもの文化活動(子ども劇場等) 2.7%
- ⑧公民館活動 10.0%
- ⑨地域のボランティア活動 11.5%
- ⑩スポーツ団体・クラブ活動 8.4%
- ⑪消費者運動(生協等) 7.0%
- ⑫障害者運動 1.1%
- ⑬平和運動など社会活動 11.8%
- ⑭特にない 36.7%
- ⑮その他 3.4%

～大分県で働くみなさまへ ご協力をお願いします。～

最低生計費試算調査のお願い

大分県労働組合連合(大分県労連)

- 「最低生計費」とは、一般の労働者の生活を基準として、多くの人々が享受している生活が保障される水準の生計費です。憲法25条のいう「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」とはどのようなものか、「最低生計費」を物差しにして明かにします。
- このアンケートは、大分県の最低生計費を算出するための基礎資料とするものです。大分県における最低賃金の引き上げと全国一律最低賃金制の実現、反貧困運動・年金引き上げ運動・生活保護基準引き下げ反対運動・医療運動・障害者運動などの資料としても使えるものです。調査結果は2021年6月に公表いたします。
- アンケートへの回答には少し時間がかかります(20～30分ほど)。お手間を取らせますが、ご協力をよろしくお願いします。
- 調査された内容については、秘密を守り、調査の目的以外には使用いたしません。記入は、項目右の四角の枠内にご記入下さい。
- 対象者は、組合員、職場の同僚、知人、友人など大分県内で働く方です。
- 調査は2つあります。必ず、2つ全てに回答をお願いします。

調査1:生活実態調査・家族構成や消費動向など、生活全般の基本的項目をお聞きします。

調査2:手持ち財調査・耐久消費財、家具・家事用品、被服等についてお聞きします。

回収時は専用の封筒に入れ、封印をしてください。
集中回収期間は2021年1月までです。

取扱い団体

- 調査協力:大分大学経済学部・石井研究室
- ＜調査内容のお問い合わせ先＞
- 電話・FAX 097-554-7698(研究室直通)
- 電子メール mak@oita-u.ac.jp

調査 1:生活実態調査

【記入上の注意】

- ダブルワーク、兼業などの場合は「主たる」仕事についてお答えください。なお、**問4・5の賃金・収入については、兼業等すべてを合わせた額でお答えください。**
- 年金生活者、一人親方などの場合は、「賃金」を「所得」と読み替えてください。
- 年金生活者、無職、失業中の方で、質問（業種、内容）項目に該当しない場合には、「非該当」を選択してください。
- 問13-16、問25-27は、新型コロナ流行前と後に分けてお答えください。

- 居住地**
- ①大分地区（大分市、由布市）
 - ②別府地区（別府市、杵築市、日出町）
 - ③県北地区（宇佐市、豊後高田市、中津市）
 - ④国東地区（国東市、姫島村）
 - ⑤豊肥地区（豊後大野市、竹田市）
 - ⑥県南地区（臼杵市、津久見市、佐伯市）
 - ⑦日田地区（日田市、玖珠町、九重町）

居住地

I あなたの現在のお仕事等（主たる仕事）についてうかがいます

問1. あなたの雇用形態（就業形態）は次のうちどれですか。（主なもの1つ）

問1

- ①正社員・従業員 ②臨時社員・職員 ③非常勤社員・職員
- ④派遣社員 ⑤嘱託社員 ⑥契約・登録社員 ⑦アルバイト
- ⑧常勤パート（週30時間以上） ⑨短時間パート（週30時間未満）
- ⑩個人請負（フリーランス） ⑪再任用（再雇用） ⑫失業中
- ⑬無職 ⑭その他（年金生活、一人親方、など）（

問2. あなたの仕事の業種は次のうちどれですか。（主なもの1つ）

問2

- ①建設 ②機械関連製造 ③材関連製造（木材、紙、プラスチック、窯業、金属）
- ④運輸 ⑤消費関連製造（食品、衣服、家具、印刷・出版、皮革）
- ⑥通信 ⑦電気・ガス・水道・熱供給 ⑧卸・小売・飲食業
- ⑨金融・保険・不動産業 ⑩医療 ⑪福祉 ⑫教育 ⑬保育 ⑭国家公務員
- ⑮地方公務員 ⑯その他（
- ⑰非該当（年金生活者、無職、失業中など）

問3. あなたの仕事の内容は次のうちどれですか。（主なもの1つ）

問3

- ①現業・技術職（加工、組立、検査、機械操作、建設職人など）
- ②運輸職（各種交通、運輸機械運転手、教習所指導員など）
- ③事務職（事務系のデスクワーク中心） ④営業、販売職、サービス職
- ⑤専門・技術職A（研究・開発、設計、情報処理）
- ⑥専門・技術職B（薬剤師、看護師、栄養士、保育士、教員等の資格職）
- ⑦保安・警備 ⑧農林漁業職 ⑨その他（
- ⑩非該当（年金生活者、無職、失業中など）

問4. あなたの(2020年11月)の1ヶ月の賃金(税・保険料込みの支給総額、年金生活者、一人親方の場合は税・保険料込みの総所得)はどれくらいですか。

- ①10万円未満 ②10～15万円未満 ③15～20万円未満 ④20～25万円未満
⑤25万～30万円未満 ⑥30万～35万円未満 ⑦35万～40万円未満 ⑧40万～45万円
⑨45万～50万円未満 ⑩50万円以上 ⑪該当

問4

問5. あなたの世帯の最近1年間(2020年)の収入は(税・保険料込み)はどれくらいですか。

- ①50万円未満 ②50～100万円未満 ③100～150万円未満 ④150～200万円未満
⑤200～250万円未満 ⑥250～300万円未満 ⑦300～350万円未満
⑧350～400万円未満 ⑨400～450万円未満 ⑩450～500万円未満
⑪500～550万円未満 ⑫550～600万円未満 ⑬600～700万円未満
⑭700～800万円未満 ⑮800万円以上 ⑯該当

問5

Ⅱ あなたの性別や年齢、家族などについてうかがいます。

問6. あなたの性別は？

- ①女性 ②男性 ③その他

問6

問7. あなたの年齢は次のうちどれですか。

- ①20歳未満 ②20歳代 ③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代
⑥60歳代 ⑦70歳以上

問7

問8. あなたの世帯では、何人就労していますか。

- ①1人 ②2人 ③3人 ④4人以上 ⑤いない

問8

問9. あなたの世帯構成は次のうちどれですか。

- ①独居 ②あなたと親 ③あなたと親と兄弟姉妹
④あなたと親と兄弟姉妹夫婦 ⑤あなたと兄弟姉妹
⑥あなた夫婦のみ ⑦あなた夫婦と親 ⑧あなた夫婦と未婚子
⑨あなた夫婦と親と未婚子 ⑩あなたと未婚子
⑪あなたと親と未婚子 ⑫あなた夫婦と子ども夫婦と孫
⑬その他()

問9

*⑧～⑫と回答の方は問9-1もお答えください。

問 9 - 1. 上記問 9 で未婚子・孫がいると答えた方（⑧～⑫）にお聞きします。あなたの世帯内の子どもの人数（学校別）と 1 月あたりの学費（授業料、給食費、学校関係費、修学旅行積立代）及び塾・お稽古代にかかる総額はどれくらいですか。

幼稚園・保育園（ ）人
 小学生（ ）人
 中学生（ ）人
 高校生（ ）人
 専門学校生（ ）人
 大学生・院生（ ）人

幼稚園・保育園 人	高校生 人
小学生 人	専門学校生 人
中学生 人	大学生・院生 人

1月あたり総額（ ）万（ ）千円くらい

万	千円
---	----

問 10. あなたが住んでいる住宅は、次のうちどれですか。

- ①一戸建て持家 ②マンション持ち家 ③一戸建て貸家
 ④マンション・アパート貸家 ⑤社宅・官舎 ⑥公営住宅
 ⑦その他（ ）

問10

--

問 11. 借家・賃貸の場合、家賃は月額どれくらいですか。持家の場合、賞与の額を含む住宅ローン年間返済額はいくらですか。（千円未満は四捨五入）

①借家・賃貸の場合

家賃 月（ ）万（ ）千円
 駐車代 月（ ）万（ ）千円（月支出合計）
 駐車場数 （ ）力所
 共益費 月（ ）千円

問 11①

家賃	万	千円
駐車場代	万	千円
駐車場数		力所
共益費	万	千円

②持家の場合

住宅ローン 年（ ）万（ ）千円（賞与含む）

問 11②

住宅ローン	万	千円
-------	---	----

Ⅲ あなたの日常生活についてうかがいます。

問 12. 昼食は主にどうしていますか。

- ①家から弁当持参。
- ②家で食べる。
- ③職場の給食を食べる。
- ④職場内外の食堂や喫茶店、出前などを利用する。
- ⑤コンビニ等で弁当やパンなどを買って職場で食べる。
- ⑥昼食は食べない。
- ⑦その他（ ）

問13. あなたはプライベートで、お酒、お茶、食事などに行ったりしていますか。新型コロナ流行前（2019年）と後（2020年）について、それぞれお答えください。（それぞれ1つ）

問13-2020年

-



4

問 14. あなたは休日（余暇）をどのように過ごしていますか。新型コロナ流行前（2019 年）と後（2020 年）について、それぞれお答えください。
（それぞれ 3 つまで）

問14-2020年

- | |
|--|
| |
| |
| |

問 15. あなたは月に何回くらい日帰りの外出（行楽）をしていますか。新型コロナ流行前（2019 年）と後（2020 年）について、それぞれお答えください。（それぞれ 1 つ）

- ①0回 ②1回 ③2回 ④3回 ⑤4回
⑥5回 ⑦6回 ⑧7回 ⑨8回 ⑩9回
⑪10回以上

問 15-2019 年

問 15-2020 年

* 日帰り行楽代の 1 回あたり平均費用はいくらくらい？

 円

 円

問 16. あなたは年に何回くらい 1 泊以上の旅行（行楽）をしていますか。新型コロナ流行前（2019 年）と後（2020 年）について、それぞれお答えください。（それぞれ 1 つ）

- ①0回 ②1回 ③2回 ④3回 ⑤4回
⑥5回 ⑦6回 ⑧7回 ⑨8回 ⑩9回
⑪10回以上

問 16-2019 年

問 16-2020 年

* 1 泊以上の 1 回あたり平均費用（旅費、宿泊費、お小遣い等すべて）はいくらくらい？

 円

 円

問 17. 自宅から職場までの主な交通手段は何ですか。（主なもの 1 つ）

- ①自家用車 ②公共交通機関（電車・バス） ③会社の送迎バス
④バイク ⑤自転車 ⑥徒歩
⑦その他（ ）
⑧非該当（通勤していない）

問 17

問 18. 自家用車・バイクがある場合、何に利用していますか。（2 つまで）

- ①通勤 ②買物 ③病院などへの通院 ④子どもの送迎
⑤ドライブ・娯楽 ⑥仕事 ⑦その他（ ）

問 18

問 19. あなたは自家用車が必要だと思いますか。(全員回答)

問 19

- ①生活の必需品 ②あれば便利 ③なければいけない
④なくてもよい

11

問 20. 自家用車・バイクがある場合、あなたの世帯では自家用車・バイクのガソリン代(電気自動車は電気代)、高速代はあわせて月額いくらくらいですか。(千円未満は四捨五入)

問 20

月 () 万 () 千円くらい

万	千円
---	----

問 21. 家庭雑貨（食糧、洗剤、トイレットペーパーなど）を購入するのは、主にどんなお店ですか。（主なもの 1 つ）

問 21

- ①コンビニ ②ディスカウントショップ（ドンキ、トライアルなど）
③近くの商店・地元スーパー ④量販店（コスモス、セイムスなど）
⑤大手スーパー（マックスバリュなど） ⑥百貨店
⑦生協 ⑧専門店 ⑨通信・ネット販売
⑩百元ショップ ⑪その他（ ）

1

問 22. 電化製品等耐久財を購入するのは、主にどんなお店ですか。（主なものの1つ）

問 22

- ①コンビニ ②ディスカウントショップ ③近くの商店・地元スーパー
④量販店（ヤマダ、コジマ、ベスト、無印良品など）
⑤大手スーパー（イオン、ユメタウン、など） ⑥百貨店（トキハ）
⑦生協 ⑧専門店 ⑨通信・ネット販売⑩百元ショップ
⑪その他（ ）

11

問 23. 下着を購入するのは、主にどんなお店ですか。（主なもの 1 つ）

問23

- ①コンビニ ②ディスカウントショップ（ドンキ、トライアルなど）
③近くの商店・地元スーパー
④量販店（ユニクロ、しまむら、GU、無印良品など）
⑤大手スーパー ⑥百貨店 ⑦生協 ⑧専門店
⑨通信・ネット販売⑩百元ショップ ⑪その他（ ）

1

**問 24. 下着以外の洋服などを購入するのは、主にどんなお店ですか。（主な
もの1つ）**

問24

- ①コンビニ ②ディスカウントショップ（ドンキ、トライアルなど）
③近くの商店・地元スーパー
④量販店（ユニクロ、しまむら、GU、無印良品など）
⑤大手スーパー ⑥百貨店 ⑦生協 ⑧専門店
⑨通信・ネット販売⑩百元ショップ ⑪その他（ ）

**問 25. 友人や親戚の結婚式やお葬式・法事に参加していますか。新型コロナ
流行前（2019年）と後（2020年）について、それぞれお答えくだ
さい。（それぞれ1つ）**

問 25-2019 年 問 25-2020 年

- ①ほとんど参加している。
②他の費目を節約して参加している。
③参加したいが、経済的に無理な場合がある。
④参加しないことにしている。
⑤ほとんど呼ばれることがない。
⑥その他（2019年： ）
（2020年： ）

**問 26. 結婚式やお葬式・法事に世帯として使った金額は昨年（2019年）と今
年（2020年）それぞれどれくらいですか。（それぞれ1つ）**

問 26-2019 年 問 26-2020 年

- ①0円 ②1万円 ③2万円 ④3万円 ⑤4万円
⑥5万円以上

**問 27. 忘年会や新年会、歓送迎会等に世帯として使った金額は昨年（2019年）
と今年（2020年）それぞれどれくらいですか（タクシー代等の交通費、
2次会・カラオケ代、お茶会代も入れてください）。（それぞれ1つ）**

問 27-2019 年 問 27-2020 年

- ①0円 ②1万円 ③2万円 ④3万円 ⑤4万円
⑥5万円以上

問 28. 盆暮れのお中元やお歳暮をお世話になった方や親戚に贈っていますか。

問28

- ①毎年決まって贈っている。
②かなり無理をしても贈っている。
③贈ってくれる人にだけ贈っている。
④できるだけ贈るようにしているが最近は数を減らしている。
⑤贈りたいが経済的に無理がある。
⑥贈らない。贈る習慣がない。

問 29. この 1 年で家族・親戚・恋人などに贈ったプレゼントやお年玉、見舞金などにかかった費用はあなたの世帯で年額どれくらいでしたか。(千円未満は四捨五入)

年 () 万 () 千円くらい

問 29

万	千円
---	----

問 30. あなたの世帯で医療費（病院での窓口負担や医薬品の購入費）は年額どれくらいですか。(千円未満は四捨五入)

年 () 万 () 千円くらい

問 30

万	千円
---	----

問 31. あなたの世帯で介護サービスの利用料は月額どれくらいですか。(千円未満は四捨五入)

月 () 万 () 千円くらい

問 31

万	千円
---	----

問 32. あなたが特に「負担に思っている」家計支出は何ですか。(3 つまで)

問 32

- ①食費 ②家賃・地代 ③水道・ガス・電気料金
- ④電話代（携帯含む）
- ⑤自家用車・バイクのガソリン代
- ⑥被服費 ⑦医療・保険費
- ⑧教育費 ⑨教養・娯楽費
- ⑩交際費 ⑪税金
- ⑫社会保険料 ⑬生命保険など民間保険掛け金
- ⑭ローン・借金返済 ⑮介護サービス
- ⑯特にない ⑰その他 ()

問 33. 現在の暮らしについてどう感じていますか。

問 33

- ①苦しい ②やや苦しい ③普通
- ④ややゆとりがある
- ⑤ゆとりがある

--

Ⅳ あなたの地域での生活についてうかがいます。

問 34. あなたの近所づきあいの程度はどの程度ですか。(主なものを 1 つ)

問 34

- 

問 35. あなたの地域などで参加している社会活動は何ですか。（5 つまで）

問 35

- | |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |

1)仕事や暮らしのことで、あなたの要望をお聞かせください(どんなことでも、自由に記載を)。

2)最賃が1500円に引き上げられたら、増収になる方は、何(娯楽・医療)に使いますか(どんなことでも、自由に記載を)。

*ご協力ありがとうございました。

引き続き、次ページ以降の調査 2:「持ち物に関する調査」にもご協力をよろしくお願いします。

調査 2：手持ち財調査

【記入上の注意】

- ①家の奥にあって1年以上使っていないものは除いてください。記入に迷った時は、厳密さではなく「およその所有数」を、「ない」場合は記入しないでください
- ②一人暮らしをしている方は、黄色の網掛けの品目の項目のみ記入してください。
- ③家族で暮らしている方は、全ての項目の家族分の総数量を記入してください。わからない場合は、調査趣旨を説明して家族に聞いて総数を記入してください。
- ④消耗品は「1ヶ月の消費量」を記載してください。2ヶ月で1本使用する場合は 1/2 、3ヶ月で1本使用する場合は 1/3 とお書きください。

品目		数量	品目		数量	品目		数量
1 設備機器				7 ホットカーペット			4 電気スタンド	
	1 温水洗浄便座			8 扇風機			5 カーペット	
2 家事用耐久財				9 加湿器			6 カーテン	
	1 電子・ガスレンジ			10 除湿機			7 座布団	
	2 電気・ガス炊飯器		4 居間・寝室用家具				8 こたつ布団・カバー	
	3 冷蔵庫			1 整理ダンス（作り付け除く）			9 花瓶	
	4 掃除機			2 洋服ダンス（作り付け除く）		8 寝具類		
	5 洗濯機			3 シングルベッド			1 敷き布団	
	6 ガステーブル			4 ソファベッド			2 掛け布団	
	7 IHテーブル			5 カラーボックス（ラック）			3 タオルケット	
	8 カセットコンロ			6 鏡台（ドレッサー）			4 毛布	
	9 トースター		5 応接・書斎用家具				5 シーツ	
	10 電気アイロン			1 ソファ			6 まくら	
	11 電気ポット			2 座り机（ちゃぶ台）			7 布団カバー	
	12 ホットプレート			3 腰掛け・学習机（椅子含む）			8 まくらカバー	
	13 ミシン			4 本箱・本棚		9 家事雑貨		
3 冷暖房用機器			6 食堂用家具			茶わん類		
	1 ルームエアコン			1 食器戸棚			1 ごはん茶わん	
	2 電気ストーブ			2 洋式食卓セット（椅子含む）			2 湯のみ茶わん	
	3 石油ストーブ		7 室内装飾品				3 蒸し茶わん	
	4 ガスストーブ			1 掛（柱）時計			4 どんぶり	
	5 電気こたつ			2 目覚まし時計			5 コーヒー・ティーカップ、マグカップ	
	6 ファンヒーター			3 照明器具（天井・机等の外付け照明）			6 吸い物（汁）わん	

品目		数量	品目		数量	品目		数量
洋皿類			調理用容器			タオル類		
7	スープ、ケーキ、果物、グラタン等の皿合わせて		24	米びつ（ハイザー）		48	タオル	
和皿類			25	洗いおけ		49	バスタオル	
8	大きな和皿・鉢		26	水切りかご・ざる		電球・蛍光灯		
9	小さな和皿・鉢		27	ボール		50	電球（非LED）	
グラス類			その他台所用品			51	LED電球	
10	コップ		28	台所用はかり		52	蛍光灯（非LED）	
スプーン・ナイフ類			29	包丁・ナイフ		53	LED蛍光灯	
11	スプーン		30	まな板		裁縫用具		
12	フォーク		31	すり鉢・すりこぎ		54	裁縫箱	
13	ナイフ		32	たわし・スポンジ		55	裁ちばさみ	
容 器			33	ピーラー		56	アイロン台	
14	水筒		34	おろし器		家庭用工具		
15	きゅうす		35	ふきんかけ		57	ドライバー	
16	砂糖・塩入れ		36	はし・菜ばし		58	のこぎり	
17	しょうゆ差し		37	しゃもじ		59	金づち	
18	弁当箱（ランチジャー）		38	ふきん		60	空気入れ	
19	タッパー		39	フライ返し		61	じょうろ	
盆			40	泡立て器		62	鉢・プランター	
20	お盆（トレイ）		41	お玉		その他		
なべ・釜類			洗濯・掃除用具			63	玄関マット	
21	なべ		42	物干しざお		64	懐中電灯	
22	フライパン		43	ポリバケツ		65	傘立て	
23	やかん		44	くずかご		66	スコップ	
			45	洗濯用バケツ・かご		67	バスマット	
			46	ホース		68	洗面器	
			47	コロコロ・フローリングモップ		10	家事用消耗品	1か月の量
						1	ゴミ袋（45L・枚／月）	
						2	ラップ（20m・本／月）	

品目		数量	品目		数量	品目		数量
3	ウエットティッシュ (80枚入・個/月)		12	半袖シャツ		女子・和服		
4	ティッシュペーパー (箱/月)		13	ポロシャツ		34	喪服一式	
5	トイレットペーパー (ロール/月)		14	セーター ・カーディガン		35	着物	
6	台所用洗剤 (本/月)		男子・下着類			36	留袖一式	
7	トイレ用洗剤 (本/月)		15	シャツ (合・冬)		37	ゆかた	
8	住宅・ふろ用洗剤 (本/月)		16	シャツ (夏)		女子・洋服		
9	洗濯用洗剤 (本・個/月)		17	Tシャツ		38	フォーマルドレス	
10	漂白剤 (本/月)		18	ジャージ		39	ワンピース	
11	防虫剤 (個/月)		19	トレーナー		40	オーバーコート	
12	殺虫剤 (本/月)		20	パンツ・ブリーフ		41	レインコート	
13	トイレ芳香剤 (個/月)		21	ステテコ(ズボン下)		42	ジャケット	
11 被服・履物			22	パジャマ (夏)		43	スカート	
男子・和服			23	パジャマ (冬)		44	スラックス (ジーンズ含む)	
1	ゆかた		男子・はきもの			45	ジャンパー ・ブルゾン	
男子・洋服			24	スリッパ		女子・シャツ・セーター類		
2	背広		25	サンダル		46	ブラウス	
3	礼服		26	靴		47	Tシャツ ・ポロシャツ	
4	オーバーコート		27	長靴		48	長袖・半袖シャツ	
5	レインコート		28	運動靴・スニーカー		49	セーター ・カーディガン	
6	ジャケット (替上着)		男子・その他の被服			女子・下着		
7	チノパン・ジーンズ		29	靴下		50	ショーツ	
8	半ズボン		30	手袋		51	ブラジャー	
9	パーカー		31	ネクタイ		52	シャツ (肌着)	
10	ワイシャツ		32	マフラー		53	パジャマ (夏)	
11	長袖シャツ		33	バンド・ベルト		54	パジャマ (冬)	

品目		数量	品目		数量	品目		数量
55	ジャージ		13	ネックレス		16 交通用具		
56	トレーナー・スエット		14	イヤリング・ピアス		1	軽自動車 (660cc以下)	
女子・はきもの			15	帽子		2	小型自動車 (661～2000cc)	
57	スリッパ		16	ハンカチ		3	普通自動車 (2000cc以上)	
58	サンダル		13 教養娯楽用耐久財			4	リース自動車	
59	靴・ブーツ		1	テレビ		5	ミニバイク (125cc以下)	
60	長靴		2	ラジオ		6	バイク (125cc以上)	
61	運動靴・スニーカー		3	ラジカセ		7	自転車	
62	こま下駄・ぞうり		4	DVD(BD)プレイヤー		8	ヘルメット	
女子・その他の被服			5	HDDレコーダー		17 理美容用品		
63	パンティストッキング		6	携帯音楽プレイヤー		1	ヘアドライヤー	
64	ソックス		7	カメラ・デジカメ		2	電気カミソリ	
65	スカーフ		8	ビデオカメラ		3	ヘアブラシ	
66	手袋		9	プリンター		4	歯ブラシ (本/月)	
67	ベルト		10	パソコン (デスクトップ)		5	カミソリ (個/月)	
68	エプロン		11	パソコン (ノート)		6	石けん (個/月)	
12 身の回り用品			12	タブレット		7	シャンプー (本/月)	
1	傘		14 書籍・他の刊行物			8	リンス・コンディショナー (本/月)	
2	雨がっぱ		1	日刊新聞 (契約紙数)		9	ボディシャンプー (本/月)	
3	旅行用スーツケース		2	単行本・文庫・雑誌 ・漫画本 (冊/月)		10	歯磨き粉 (本/月)	
4	ショルダーバッグ (男性)		15 教養娯楽用品			11	化粧水 (個/月)	
5	ショルダーバッグ (女性)		スポーツ用具			12	口紅 (本/月)	
6	ハンドバッグ		1	水着 (男性用)		13	乳液 (本/月)	
7	ショッピングバッグ (エコバック)		2	水着 (女性用)		14	ファンデーション (個/月)	
8	リュックサック ・デイパック		その他の用品			18 保健医療用品・器具		
9	財布		3	テレビゲーム機		1	体重計	
10	腕時計 (男性用)		4	携帯ゲーム機		2	血圧計	
11	腕時計 (女性用)		5	ゲームソフト		3	救急箱・救急セット	
12	指輪		6	USBメモリー		4	体温計	
			7	切り花 (月の購入額)		5	布マスク	
						6	不織布マスク (枚/月)	
						7	大人用紙おむつ (枚/月)	
						8	乳幼児用紙おむつ (枚/月)	

全国で最も低い地域別最低賃金地域において、調査史上、最も高い生計費！

—大分県最低生計費調査（若者のひとり暮らし世帯）の分析より—

2021 年 7 月 8 日 大分県労働組合総連合、全国労働組合総連合

○現在の大分県の最低賃金は 792 円である。全国最低の最低賃金である。この金額では、フルタイムで働いたとしても月額 14 万円にも満たない。ここから社会保険料などの社会参加のための必要最低限の費用を差し引くと可処分所得は 10 万円程度にしかない。

○今回、大分県労働組合総連合（大分県労連）では、大分県で**労働者がふつうに暮らすために必要な費用**を科学的データにもとづいて明らかにした。この調査はこれまで全国 20 以上の都道府県で実施し、大分県は 2021 年 1 月に実施した。調査は、大分大学経済学部・石井まこと研究室および福祉健康科学部・三好禎之研究室が担当し、価格調査には石井・三好ゼミの学生が協力している。

○具体的には、主に大分県労連に加盟する各単産の労働者を対象に、生活のパターンを調べる「**生活実態調査**」及び持ち物をどれくらい所有しているのかを調べる「**持ち物に関する調査**」を実施し、その結果をもとに生活に必要な費用を一つひとつ丁寧に積み上げる「**マーケット・バスケット方式**」により、ふつうに暮らすために必要な費用を算定した。

○なお、今回の調査期間は、他の調査とは異なり、コロナ禍であり、行動規制がかかり、消費行動は変容した。そのため 2019 年の消費行動で計算を行っている。ただし、2020 年にどのような変化が起きたかも調査している。日帰り・旅行・プライベートなお酒・お茶・食事にはほとんどいなくなり、一方でステイホーム費用とも言える食費・水光熱費・電話等の負担が重くなっている。

○調査には 1,483 名が回答をしている（回収率約 33%）。今回は、その中から大分ではたらく 10～30 代で一人暮らしの若者 **109 名**分のデータの分析結果を報告するものである。

○大分市内で**若者がふつうに一人暮らしをするためには、月額 261,450 円（男性＝月額 258,814 円、女性＝月額 264,085 円）**（ともに税・社会保険料込み）が必要である。これは年額に換算すると**約 300 万円**となる（軽自動車所有ケース）。ちなみに、一昨年東京都（北区）でも同様の調査結果が公表され、月額 248,002 円（男性月額 249,642 円、女性月額 246,362 円）であった（税・社会保険料込み）。

○この生計費で想定した「ふつうの暮らし」の内容は、以下のようなものである。

- ・大分市南大分・萩原近辺の 25 ㎡の 1 K のワンルームマンション・アパートに住み、家賃は 3.9 万円（共益費込み）、中古の軽自動車（59.8 万円）を所有し、通勤や買い物、レジャーに使用している。自動車関連費は月額 18,589 円。
- ・冷蔵庫、炊飯器、洗濯機、掃除機などは、量販店で最低価格帯のものでそろえた。
- ・1 か月の食費は、男性＝42,755 円、女性＝35,785 円。女性は朝晩家で食べ、男性は朝夕週 1～2 回外食、昼食についてはコンビニなどでお弁当を購入（1 食あたり 500 円）。そのほか、月に 2 回、同僚や友人と飲み会・会食行っている（1 回当たりの費用＝4,000 円）。
- ・休日は家で休養していることが多い。1 泊以上の旅行は年に 2 回で、その費用は年間 7 万円。月に 4 回は、恋人や友人たちと郊外のショッピングモールに行って、映画・ショッピングを楽しんでいる（1 回 2,000 円で月に 8,000 円）。

○試算の月額を、賃金収入で得ようとする、と、**時給換算で 1,504 円（男性＝1,489 円、女性＝1,519 円）**（中央最低賃金審議会が用いる労働時間＝月 173.8 時間で除した場合）になるが、これはお盆もお正月も GW もない、非現実的な働き方である。ワーク・ライフ・バランスに配慮した労働時間で換算（月 150 労働時間）してみると、**時給換算で 1,743 円（男性 1,725 円、女性 1,761 円）**となる。これまでに調査を行った 22 都道府県の結果と大きな差はない。つまり、地方も都市も、就労を通して、この国で「健康で文化的な最低限度の生活を営める」ためには、**最低賃金は全国一律で 1,500 円以上に引き上げなければならない**という結論である。

○地方・大分県内において、30 歳未満世帯での年収 300 万円未満の世帯は 53.4%と約半数（2017 年（平成 29 年）総務省「就業構造基本調査」）と、**若年世帯の約半数は、何らかの節約を強いられている**。

○若年者の教育機会は親の賃金の高低と相関している。**最低賃金が低く、一般労働者の平均賃金が高い都道府県ほど、教育の機会は奪われる傾向**にある。大学進学率は都市圏への大学集中という地理的条件とあわせて、今回の調査から明らかのように、生計費が大きく変わらないなかでは、**地方の労働者にとって教育費用は節約せざるをえない費用**になっていると考えられる。この他、節約しやすい**社会参加につながる費用**である社会保険・諸税の未納・滞納、医療・交際費等での節約が行われ、これらを補完する公助・共助の要素が少なくなれば、**「社会参加格差」は拡大**していく。

○調査に関わった学生からは「初任給大卒で 18 万円程度だが、必要なものを積み上げ計算して、18 万円では全く余裕がないことが分かった」、「地方での生活が不安」との声が上がり、生活費が可視化されることで問題点が見える教育効果もあった。

○地方では少子化の問題は、人口流失として語られてきた。本調査に加えて、別調査で明らかにした地方に住む若者のインタビュー調査結果（手取り 15 万円の壁（単身自立できる）、手取り 20 万円の壁（結婚を考えられる））もあわせて考えると、若者が世帯独立や結婚という選択肢を現実化できる経済的基盤がないため、地方の少子化は更なる加速化のなかにあると懸念される。

○コロナ禍は、個人の力ではどうしようもないことが明らかになっている。**いまこそ、公助の仕組み（所得再分配）を整備すべき。その一つとして最低賃金の引き上げも位置づけられる**。最低賃金は女性非正規に強く作用している。税制の問題もあるが、いまこそ、女性活躍社会＝男性活躍社会＝性によらない活躍社会を進める好機ととらえ、まずは地方の女性賃金を上げ、地方の女性進学率を向上させ、多様な分野で活躍する女性を増やすことで、教育・家事・育児・介護と両立可能になる労働社会の変革が進めるべき。最低賃金はこうしたことを進める重要な機能をもっていることを認識し、地方から変革を起こすことが必要。

県内若年単身者が最低生計費を得られないことで進む非婚・少子化

—大分県最低生計費調査(若者のひとり暮らし世帯)の分析より—

2021 年 7 月 16 日 推計：大分大学経済学部・石井まこと研究室

- 最低生計費を上回る生計費が確保できないことで、少子化が加速している。
- 大分県内では、**最低生計費まで到達できない若年者は単身年収 200 万円未満とすると 4.01 万人**（40 歳未満）いる。
- これらの層が最低生計費を獲得できるように 1 人 100 万円を配分するための費用は 401 億円（県内総生産約 0.9%、県予算約 5.7%）となる。
- その配分の結果は、**4.01 万人の半数の約 2 万人に婚姻行動が生まれ、この夫婦世帯のうち約 8 割程度が出産**へとつながると推計でき、少子化傾向を抑制させることが期待できる。
- そのために、最低賃金引上げはもとより、仕事・所得の地方への分配や県内での経済循環を整備すべき。
- また、最低生計費の節約は、男女共同社会にも暗い影を落としかねない。
- <以下、推計過程>
- 1 最低生計費を上回ると独立・結婚の可能性が認識される。（参考：「手取り 15 万円の壁（＝単身自立を考えられる）」「手取り 20 万円の壁（＝結婚を考えられる）」（石井 2021 参照））
 - 2 2017（平成 29）年総務省「就業構造基本調査」によれば、大分県内には 40 歳未満単身世帯の 6 割弱（58.7%）が年収 300 万円未満。うち半数である全体の 3 割強（35.4%）が年収 200 万円未満層となり、その人数は 1.74 万人である。
 - 3 この 200 万円未満層の若者が家族形成を考えられる年収 300 万円程度にするには最低 1 人 100 万円程度の生計費追加が必要。
 - 4 必要財源を計算すると、100 万円×1.74 万人＝174 億円（県内総生産 4 兆 6138 億円（2018 年度）の 0.4%、大分県予算（2021 年度）7027 億円の 2.5%）となる。
 - 5 また、親等と同居し、独立できていない若者の人数も試算してみる。2015 年「国勢調査」から、大分県の 20～39 歳の親等と同居者は約 6.4 万人（27.9%同居率）であった。単身世帯では 35.4%が 200 万円未満世帯なので、按分して同居者に占める 200 万円未満者を推計すると 6.4 万人×0.354＝2.27 万人となる。
 - 6 4（1.74 万人）と 5（2.27 万人）をあわせると 4.01 万人で同様に 1 人 100 万円追加とすると、計 401 億円（県内総生産約 0.9%、県予算約 5.7%）がこれら層の所得に回れば、独立・結婚・子育てに向けた選択肢が広がる。
 - 7 「就業構造基本調査」から、40 歳未満の世帯主で年収 200 万円未満の婚姻している世帯主は約 4.6%と低いが、年収 200 万円以上の婚姻している者の割合を算出すると約 51.0%と半数が婚姻世帯となる。この 40 歳未満年収 200 万円以上の婚姻世帯のうち、子どものいる世帯は 77.3%と、婚姻世帯の 3 分の 2 は子供のいる世帯である。ここから、400 億円分の所得配分が 200 万円未満世帯に配分されれば、婚姻・子育ての促進は大きく進む可能性が大きい。
 - 8 上記の試算で 200 万円未満層の 4.01 万人の若者に 100 万円の生計費が追加されれば、計算上ではあるが、51.0%が結婚、うち 77.3%が子どもを持つとすると婚姻が約 2 万件増加し、約 1 万組の夫婦とすると 8 千人程度の人口増と試算される。
 - 9 最低賃金の引き上げは非婚・少子化を抑制する効果が期待できる一方、中小企業経営にとっては深刻な影響を与えると懸念されている。しかし、中長期的な視点からみて、社会が何を優先すべきかの議論をする必要がある。最低生計費が獲得できなのは、最低賃金の低さだけでなく、生計費を捻出できる仕事が少ないこと、生計費不足を心配しないでよい生活保障制度がないことでもある。これら仕事の再分配や就労状態によらない生活保障も同時に追求しなければならない。
 - 10 一方、賃金の低さは教育投資にも影響している。低い賃金＝節約する生計費では、教育が節約され、県内の人材育成の格差は広がる。特に女性が低賃金の地域は女性の教育投資を抑制する傾向にあり、地方ほどその傾向にあり、大分は最も女性への教育投資が抑えられる地域であり、今後の男女共同社会にも影響しうる可能性が高い。

大分県最低生活費試算調査報告

発行元：大分県労働組合総連合（大分県労連）

分析：石井まこと（大分大学経済学部）・三好禎之（大分大学福祉健康科学部）

監修：中澤秀一（静岡県立大学短期大学部）

発行日：2023 年 7 月